

平成26年度

市政世論調査概要

第 6 8 集

和 歌 山 市

はじめに

昨年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が成立し、地方ではそれぞれの個性や特徴を活かしたまちづくりが求められています。本市では、賑わいや活力のある、きらりと輝く「元気和歌山市」を実現していくため、産業・まち・人を元気にするという「3つの重点施策」をスピード感とチャレンジ精神を持って推進してまいります。

さらに、今年は「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」が開催され、選手や監督をはじめとした大会関係者、そして観戦者など、県内外から大勢の来訪者が見込まれます。これは、和歌山市の素晴らしさをアピールする絶好の機会となりますので、「おもてなしの精神」で皆様をお迎えし、和歌山城をはじめとした歴史・文化、四季折々の新鮮な食材、そして海のリゾートなど、他の都市にはない地域資源に溢れた和歌山市の魅力を積極的に発信してまいります。

この冊子は、アンケート調査した結果を市政に最大限活用し、今後の施策や計画に反映させていただくことを目的とした貴重な資料であります。

ここに平成26年度市政世論調査概要（第68集）をとりまとめましたので、関係各位におかれましては、ご活用いただければ幸いと存じます。

終わりに、この調査を実施するにあたり、ご協力いただきました市民の皆様には厚くお礼申し上げます。

平成27年3月

和歌山市長 尾花正啓



和歌山市き章（明治42年制定）

和歌山市は三方山に囲まれ、西は紀伊水道をへだてて、淡路島、四国が見える風光明媚な温暖の地である。

その和歌山市の力強い発展をき章が表している。

すなわち、山の形の印は、和歌山市は三方山に囲まれているので、その地形を表し、白い矢印は和歌山市発展の勢いを表す（三方の山を貫く市民の力）。

○ はワカ山のカ（カタカナ文字）を図案化したもの。

和 は和カヤマの和を表している。

（色は決まっていない。）

市民憲章（昭和41年11月3日制定）

わたくしたちは、和歌山市民であることに誇りをもち、平和で豊かなまちをつくるため、市民の心がまえを定めます。

- ① 自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
- ② 互いにたすけあい、希望にみちたまちをつくりましょう。
- ③ きめごとを守り、人に迷惑をかけない市民になりましょう。
- ④ 仕事に誇りをもち、たくましい市民になりましょう。
- ⑤ 教養を高め、視野の広い市民になりましょう。

目次

I. 調査の概要	5
1. 調査の目的.....	5
2. 調査の内容.....	5
3. 調査の方法.....	5
4. 集計区分.....	6
5. 回答者の属性.....	7
6. 回答者の家族環境.....	10
II. 調査の結果	15
1. 市政一般について.....	15
2. 防火対策について.....	16
3. 災害対策について.....	23
4. 防犯対策について.....	42
5. 消費者意識について.....	49
6. 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会について.....	55
7. 男女共生について.....	61
8. 健康について.....	63
9. スポーツについて.....	78
10. 日常の買い物環境について.....	83
11. 市民公益活動について.....	85
12. 水道について.....	91
13. 和歌山市の広報について.....	96
14. 市政運営について.....	102
15. 和歌山市の取り組みに対する満足度・重要度について.....	105
16. 和歌山市の市政について（自由意見）.....	119
III. 調査票	129

※報告書利用にあたって

- 図および表中の比率は、小数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。
- 複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が100%を超えています。
- 図中の「n」とは、質問別の該当対象者数を示し、比率は「n」を100%として表示しています。「n」が調査母数の場合は表示していません。今年度は「896」となっています。
- 年齢層別クロス集計について、18～19歳は回答数が少ないため、本調査の結果が和歌山市における当該年齢層の傾向と異なる可能性があることをご理解の上、調査結果をご覧ください。

調査の概要

I. 調査の概要

1. 調査の目的

和歌山市では毎年「市政世論調査」を行い、市民の希望や意識について調査し、市政運営のための基礎資料として活用している。

2. 調査の内容

- 市政一般について
- 防火対策について
- 災害対策について
- 防犯対策について
- 消費者意識について
- 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会について
- 男女共生について
- 健康について
- スポーツについて
- 日常の買い物環境について
- 市民公益活動について
- 水道について
- 和歌山市の広報について
- 市政運営について
- 和歌山市の取り組みに対する満足度・重要度について
- 和歌山市の市政について（自由意見）

3. 調査の方法

- ◆ 調査区域 和歌山市全域
- ◆ 調査対象 和歌山市に居住する満 18 歳以上の男女を等間隔無作為抽出
- ◆ 調査方式 郵送による配布・回収
- ◆ 調査期間 平成 26 年 7 月 18 日(金)～同年 8 月 3 日(日)
- ◆ 回収率 発送数 2,000 人
 回収数 896 人
 回収率 44.8%
- ◆ 調査機関 和歌山市広報広聴課（対象者の抽出およびアンケートの策定）
 (株)エム・アールビジネス（配布・回収・集計・取りまとめ）

4. 集計区分

居住区は全市内 42 地区で調査したが、下表のとおり 6 地域にとりまとめ集計した。

1. 中心部

本町・城北・広瀬・雄湊・大新・新南・吹上・砂山・今福・高松・芦原・宮前・中之島・宮北

2. 南部

雑賀・雑賀崎・和歌浦・名草・田野

3. 東部

四箇郷・宮・西和佐・和佐・小倉

4. 東南部

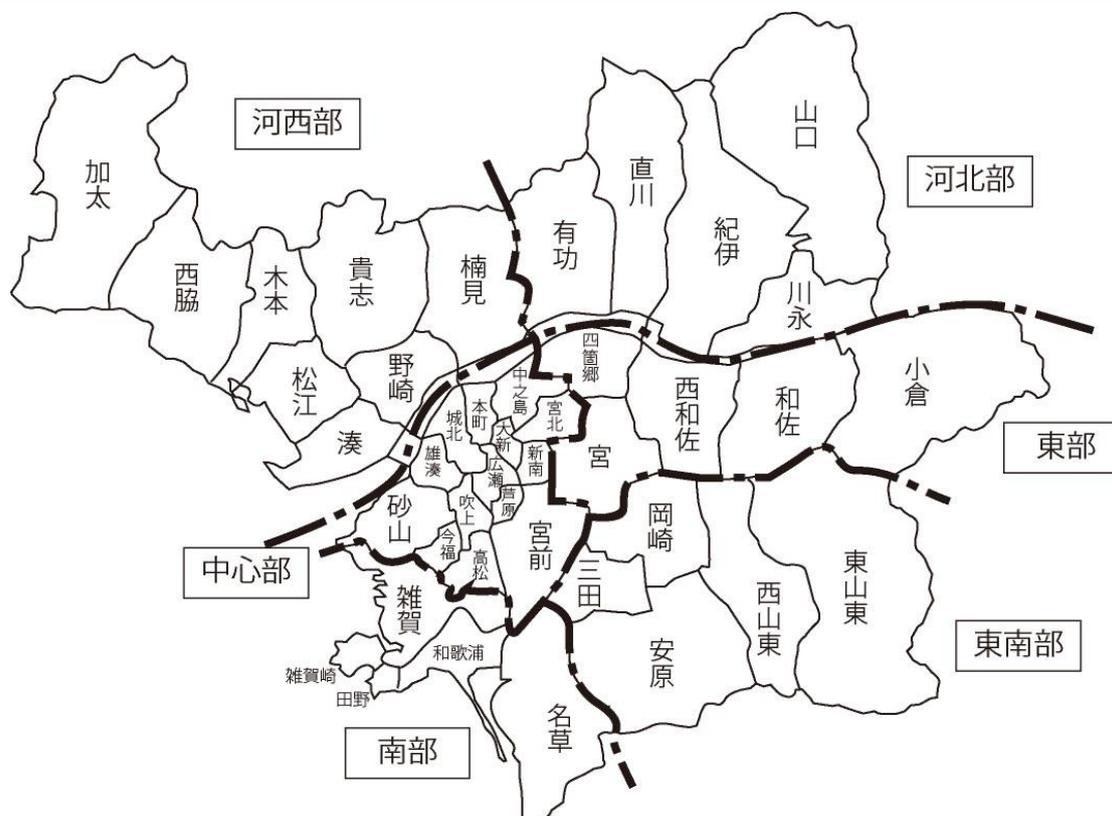
岡崎・三田・安原・西山東・東山東

5. 河西部

野崎・湊・松江・楠見・貴志・木本・西脇・加太

6. 河北部

有功・直川・紀伊・川永・山口



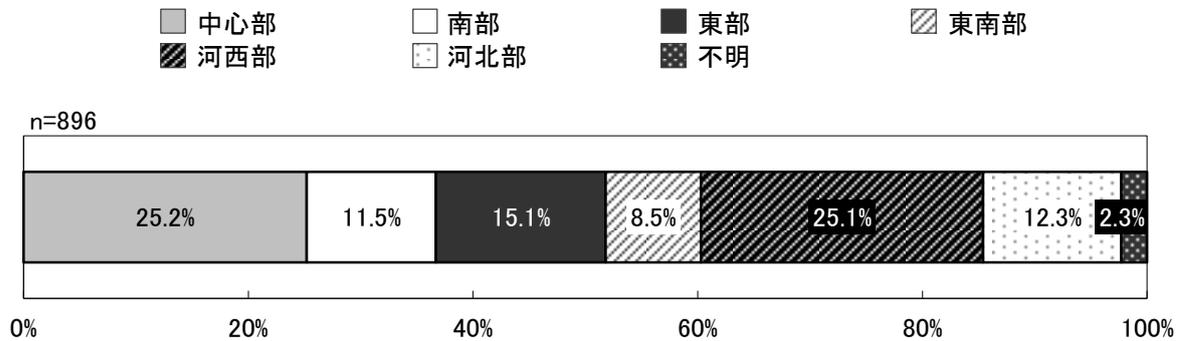
5. 回答者の属性

回答者の属性について、アンケートの問1～問5の結果を集計した。

区分		総数	18歳 ～ 19歳	20歳 代	30歳 代	40歳 代	50歳 代	60歳 代	70歳 代	80歳 以上	不明
総数		896	6	56	104	140	127	215	198	36	14
地域別	中心部	226	1	14	27	33	37	56	50	5	3
	南部	103	0	5	13	20	19	23	17	4	2
	東部	135	1	9	15	19	17	31	33	9	1
	東南部	76	0	4	9	13	11	19	17	2	1
	河西部	225	2	19	24	40	23	56	46	9	6
	河北部	110	2	5	13	10	19	25	30	5	1
	不明	21	0	0	3	5	1	5	5	2	0
性別	男性	393	3	31	36	58	58	97	94	14	2
	女性	476	3	25	67	81	67	114	95	20	4
	不明	27	0	0	1	1	2	4	9	2	8
職業別	会社員	196	1	25	38	54	43	26	9	0	0
	自営業	58	0	0	6	6	14	16	13	2	1
	農林水産業	8	0	0	0	2	1	1	3	1	0
	公務員	36	0	6	11	9	9	1	0	0	0
	パート・アルバイト	125	0	8	16	32	28	31	9	0	1
	専業主婦	189	0	3	24	28	20	59	49	4	2
	学生	14	4	10	0	0	0	0	0	0	0
	無職	231	0	3	7	6	9	70	106	28	2
	その他	27	0	1	2	3	3	10	7	1	0
	不明	12	1	0	0	0	0	1	2	0	8
居住年数別	1年未満	12	0	1	3	5	0	0	3	0	0
	1～3年未満	18	0	4	9	1	1	0	3	0	0
	3～5年未満	16	0	4	6	3	1	1	1	0	0
	5～10年未満	22	0	2	8	6	1	2	3	0	0
	10～20年未満	58	6	7	6	21	9	5	3	1	0
	20～30年未満	102	0	38	9	21	21	8	5	0	0
	30年以上	660	0	0	63	83	94	199	180	35	6
	不明	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8

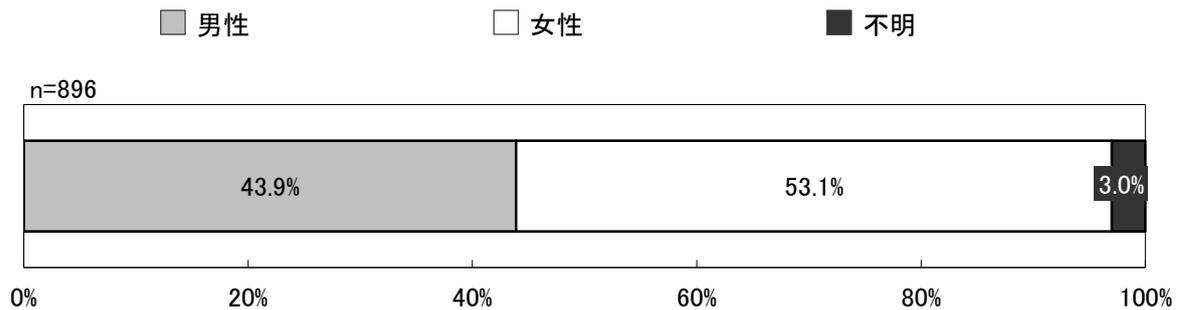
【居住区】

居住区構成は、「中心部」(25.2%)が最も多く、次いで「河西部」(25.1%)、「東部」(15.1%)の順となっている。



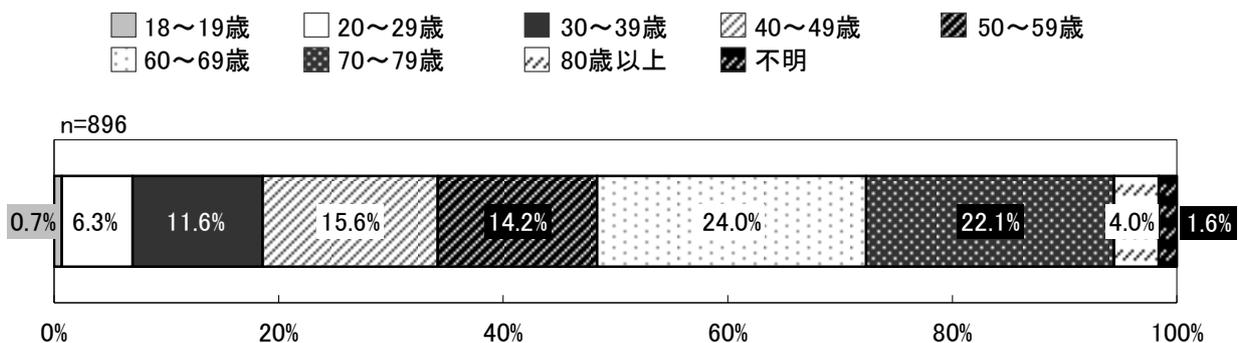
【性別】

男女別構成は「女性」(53.1%)、「男性」(43.9%)で、女性が男性を上回っている。



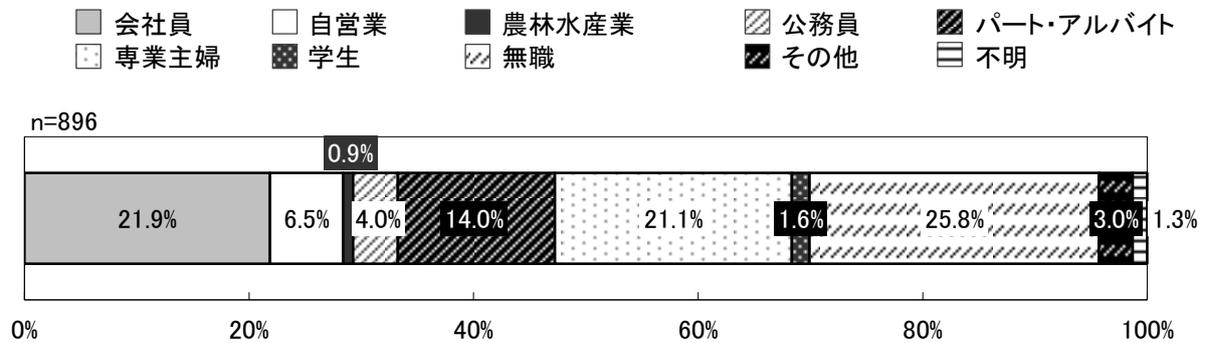
【年齢】

年齢構成は「60～69歳」(24.0%)が最も多く、次いで「70～79歳」(22.1%)となっている。60歳以上の比率が50.1%を占める。



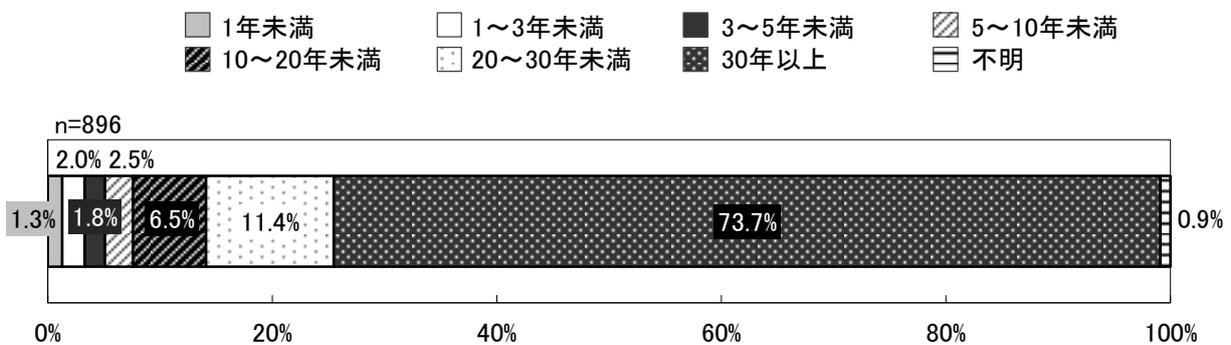
【職業】

職業構成は「無職」(25.8%)、「会社員」(21.9%)、「専業主婦」(21.1%)、「パート・アルバイト」(14.0%)の順となっている。



【居住年数】

和歌山市の居住年数構成は「30年以上」が73.7%で最も多く、次いで「20～30年未満」(11.4%)が続く。「5年未満計」は5.1%となっている。



6. 回答者の家族環境

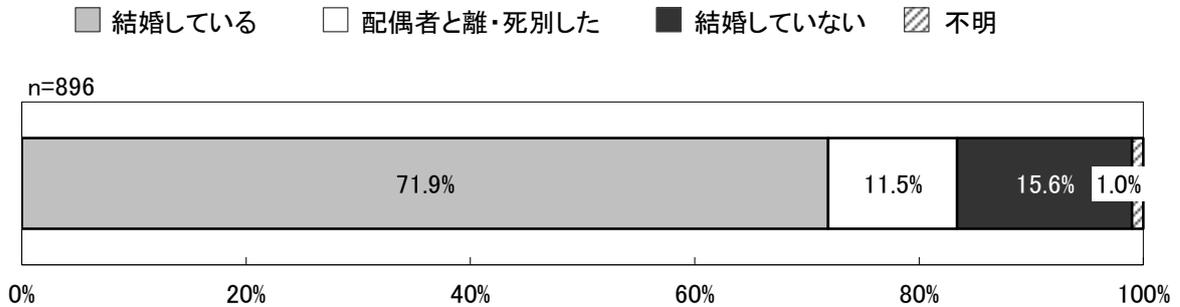
回答者の家族環境について、アンケートの問6～問7の結果を集計した。

問 6. 結婚

問 6 あなたは現在、結婚をしていますか？

1. 結婚している 2. 配偶者と離・死別した 3. 結婚していない

未既婚の構成は、「結婚している」は71.9%、「結婚していない」は15.6%である。「配偶者と離・死別した」は11.5%となっている。



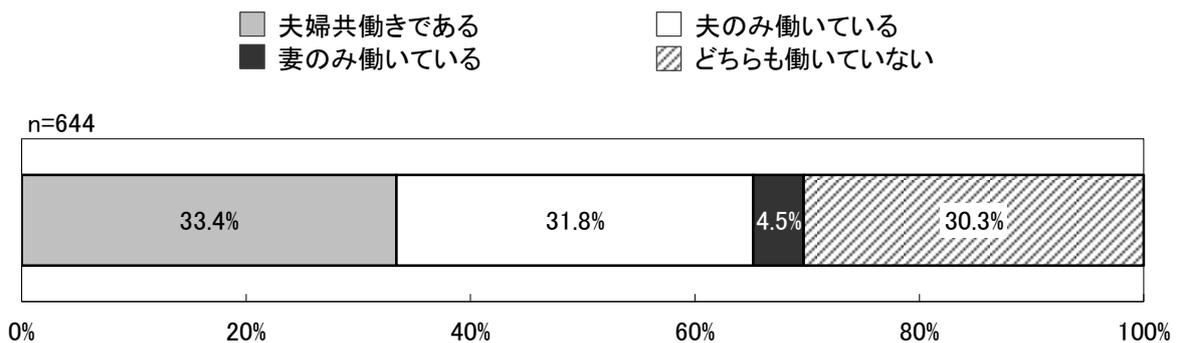
問 6-1. 共働き

問 6-1 問 6 で「1. 結婚している」と回答された方のみお答えください。

夫婦ともに働いていますか？

1. 夫婦共働きである 3. 妻のみ働いている
2. 夫のみ働いている 4. どちらも働いていない

問 6 で「結婚している」と回答した 644 人のうち、「夫婦共働きである」が 33.4%で最も多く、「夫のみ働いている」(31.8%)をやや上回る。「どちらも働いていない」は 30.3%となっている。

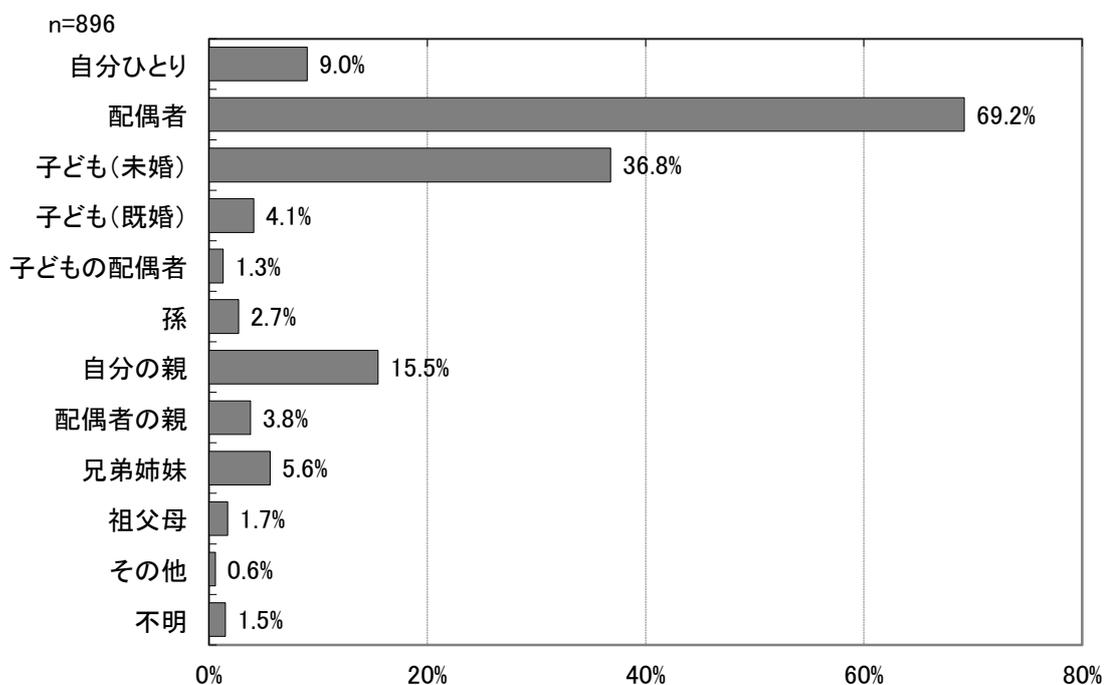


問7 家族構成

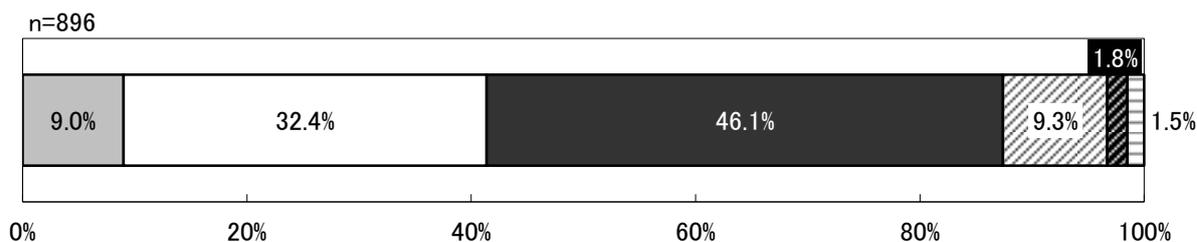
問7 あなたは現在、どなたと一緒に住まいますか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|------------|----------|
| 1. 自分ひとり | 7. 自分の親 |
| 2. 配偶者 | 8. 配偶者の親 |
| 3. 子ども（未婚） | 9. 兄弟姉妹 |
| 4. 子ども（既婚） | 10. 祖父母 |
| 5. 子どもの配偶者 | 11. その他 |
| 6. 孫 | () |

同居人は「配偶者」が69.2%と最も多く、次いで「子ども（未婚）」（36.8%）、「自分の親」（15.5%）となっている。回答により家族構成を分類すると「2世代世帯」が46.1%と最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」（32.4%）、「3,4世代世帯」（9.3%）、「単独世帯」（9.0%）の順となっている。



単独世帯
 夫婦のみ世帯
 2世代世帯
 3,4世代世帯
 その他
 不明



調査の結果

Ⅱ. 調査の結果

1. 市政一般について

問8 ご自身の状況や考え方について

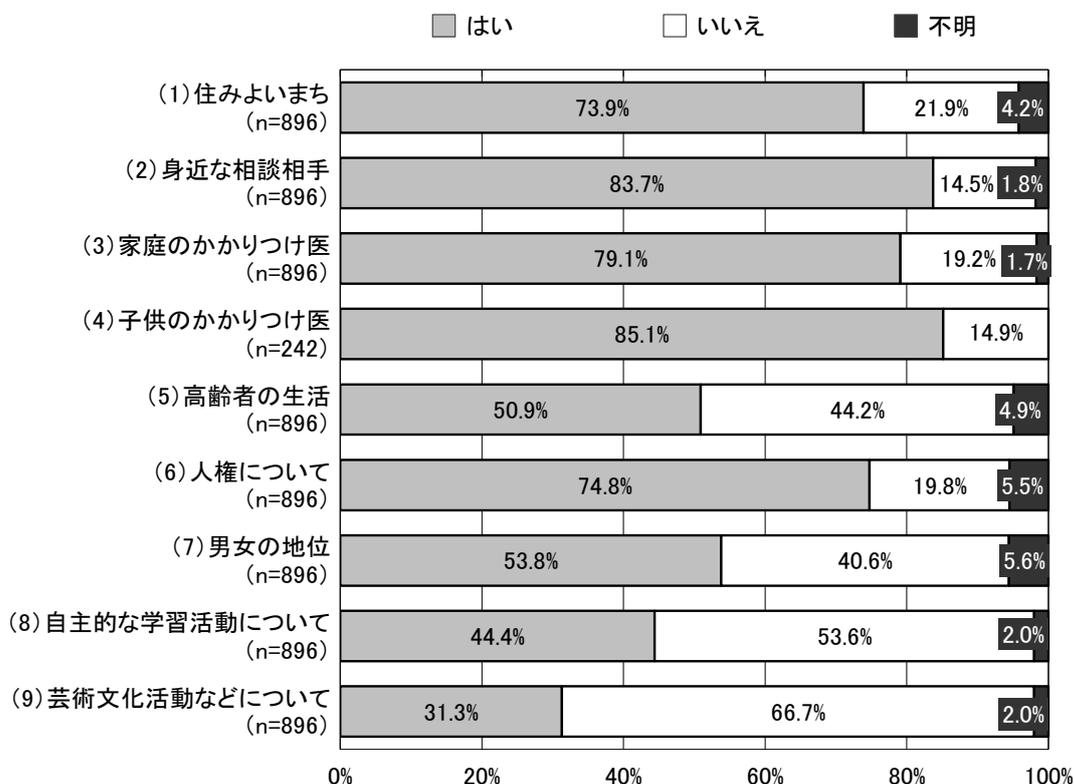
問8 あなたご自身の状況やお考えについてお答えください。

- (1) 和歌山市が住みよいまちだと感じていますか？
- (2) 身近に相談したり、助けてもらえる人がいますか？
- (3) ご家庭のかかりつけ医はありますか？
- (4) お子様のご家庭のかかりつけ医はありますか？（0～14歳のお子様がいいらっしゃる方のみ）
- (5) 高齢者が住み慣れた地域で充実した生活を送れていると思いますか？
- (6) あなたの身の回りで人権が守られていると思いますか？
- (7) あなたの身の回りで男女の地位が平等になっていると思いますか？
- (8) 日頃から趣味や関心のあるテーマについて、自主的に学習活動を行っていますか？
- (9) 日頃から芸術文化活動を行い、又は鑑賞する機会をもっていますか？

1. はい

2. いいえ

自身の状況や考え方について、「はい」の比率が最も高いのは「お子様のご家庭のかかりつけ医はありますか」で85.1%となっている。「はい」が70%を超えるのは、「身近に相談したり、助けてもらえる人がいますか」（83.7%）、「ご家庭のかかりつけ医はありますか」（79.1%）、「あなたの身の回りで人権が守られていると思いますか」（74.8%）、「和歌山市が住みよいまちだと感じていますか」（73.9%）」の3項目である。



2. 防火対策について

問9 「住宅用火災警報器」の設置について

問9 あなたは、ご自宅に「住宅用火災警報器」（煙式・熱式）を設置していますか？

1. 設置している

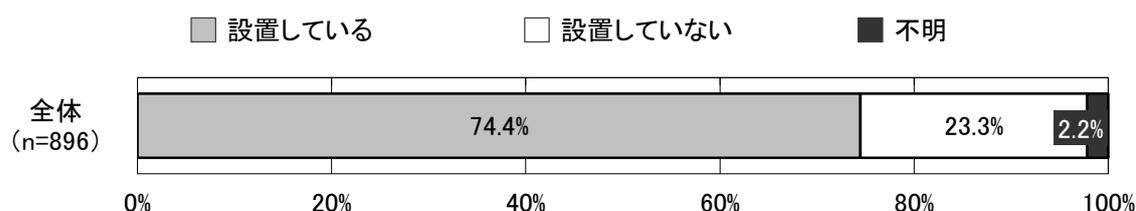
2. 設置していない

(共同住宅等で自動火災報知設備が設置されている場合は、設置していると回答してください。)

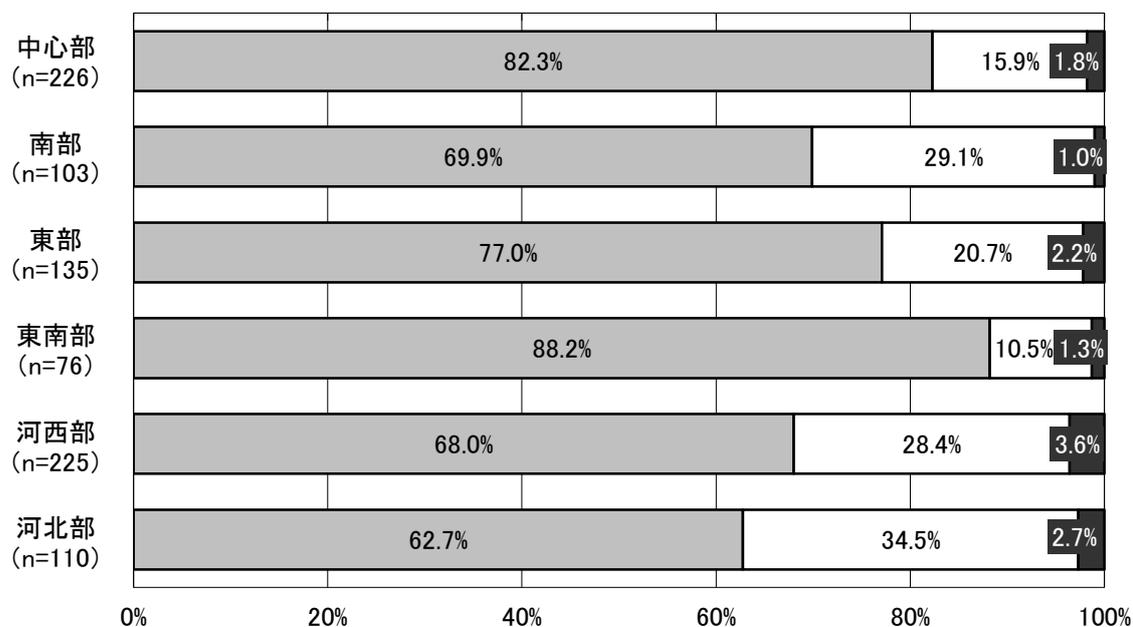
※ 「住宅用火災警報器」とは、火災が発生したときの煙や熱を自動的に感知して、警報音や音声などで火災を知らせてくれるものです。

「住宅用火災警報器」の設置状況は、「設置している」は74.4%、「設置していない」は23.3%となっている。

地域別にみると、「設置している」は「東南部」(88.2%)が最も高く、次いで「中心部」(82.3%)、「東部」(77.0%)の順になっている。



<地域別>



問 10 自宅の防火対策の実施について

問 10 あなたは自宅の防火対策を実施していますか？

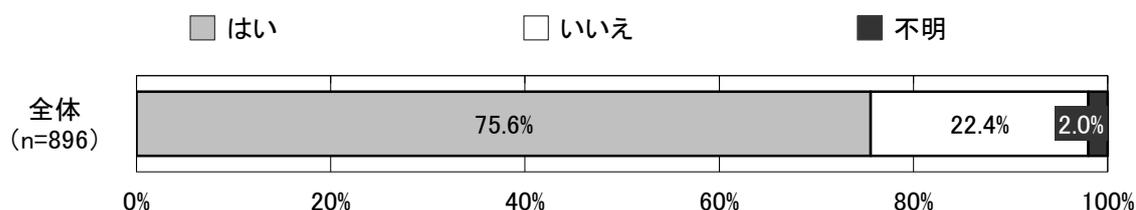
1. はい

2. いいえ

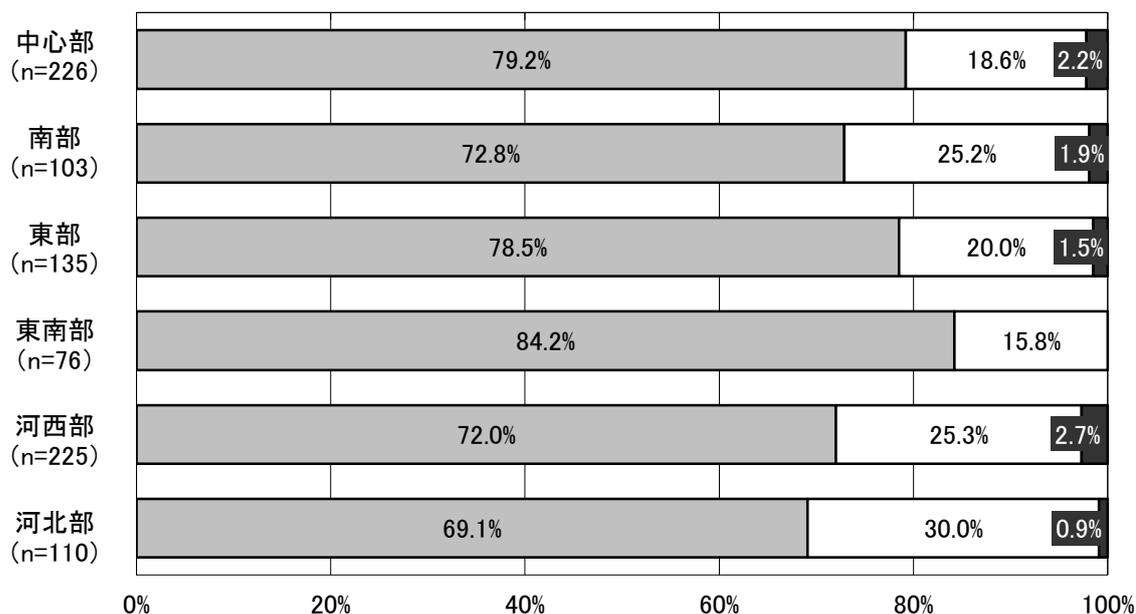
自宅の防火対策の実施は「はい」が75.6%、「いいえ」が22.4%となっている。

地域別にみると、実施率は「東南部」(84.2%)が最も高い。「河北部」(69.1%)を除く全ての居住区で実施率が70%を超えている。

年代別にみると、実施率は「60～69歳」(82.8%)が最も高い。30歳以上で実施率が70%を超えている。

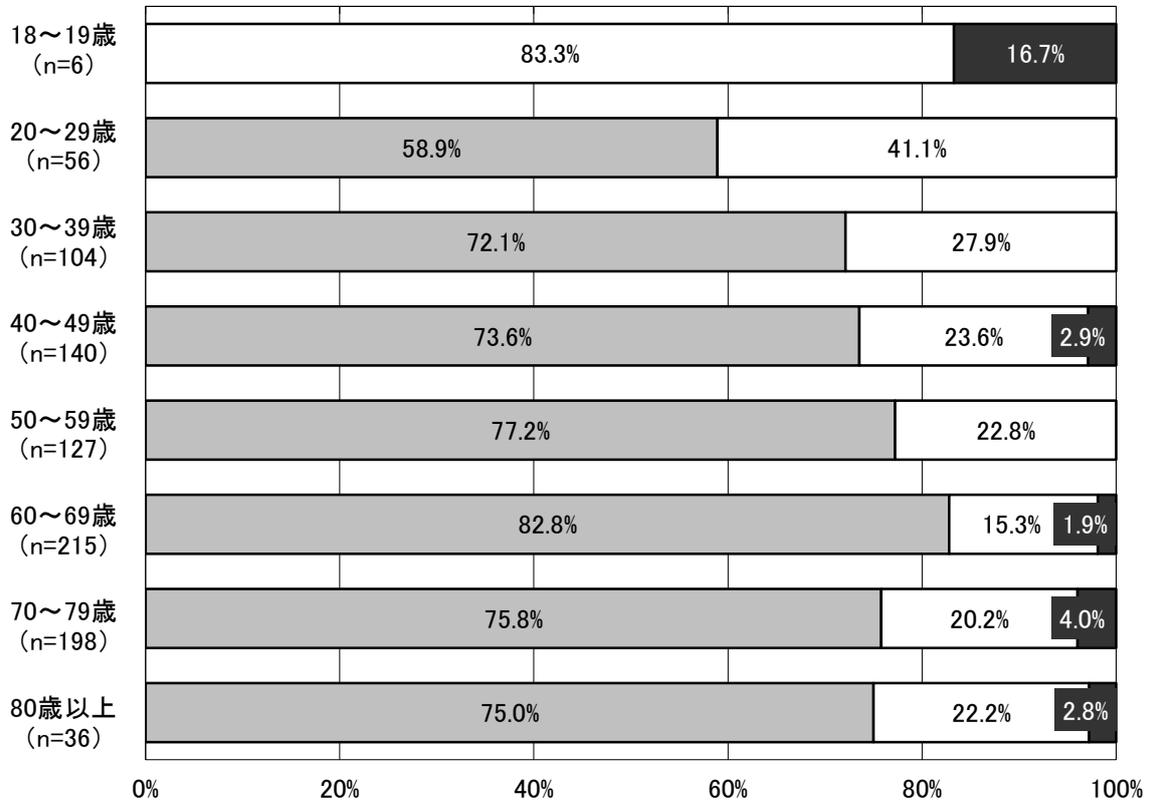


<地域別>



■ はい □ いいえ ■ 不明

<年代別>



問 10-1 実施している防火対策

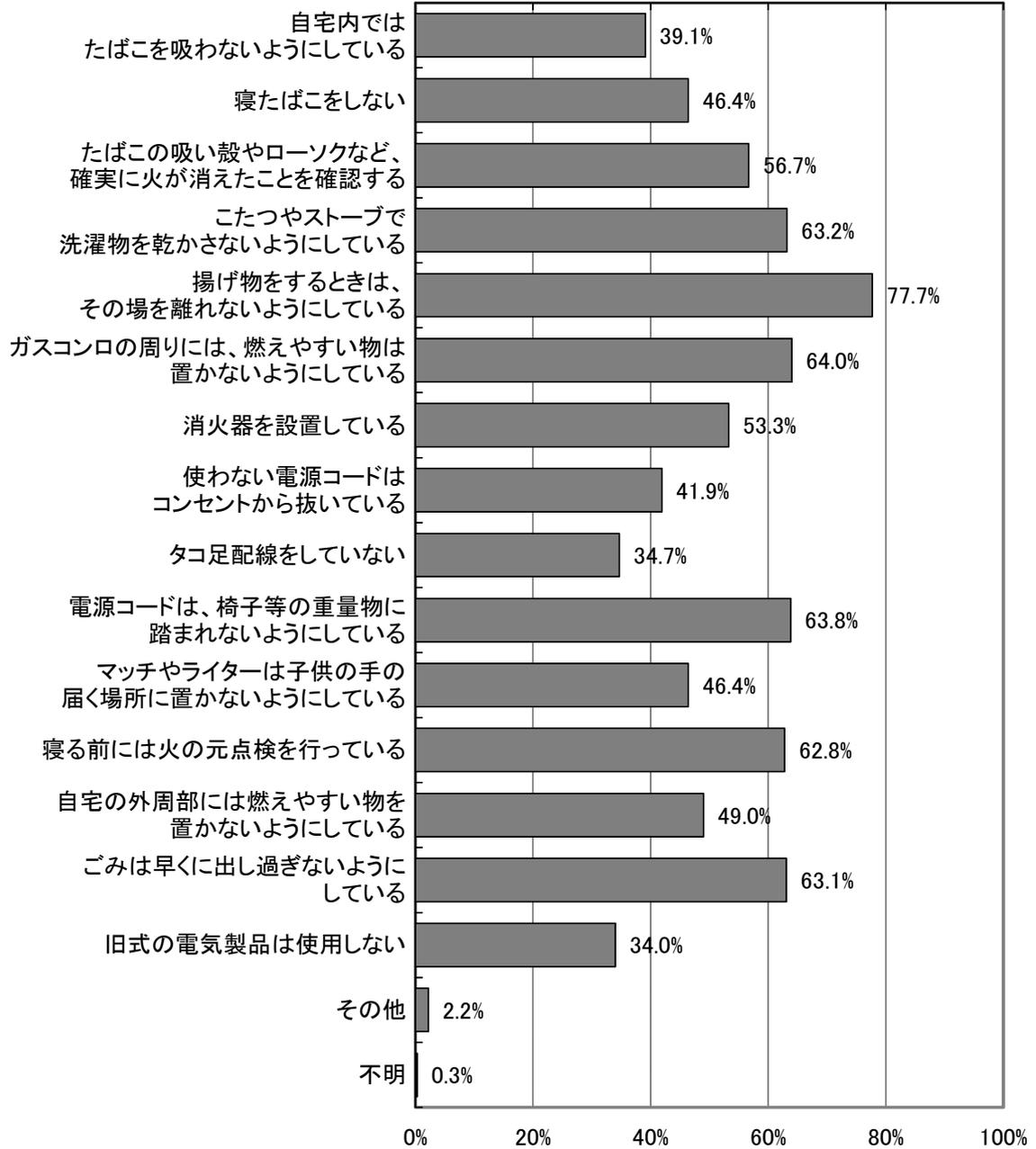
問 10-1 問 10 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。

どのような防火対策を実施していますか？あてはまるものをすべてお選びください。

1. 自宅内ではたばこを吸わないようにしている
2. 寝たばこをしない
3. たばこの吸い殻やローソクなど、確実に火が消えたことを確認する
4. こたつやストーブで洗濯物を乾かさないようにしている
5. 揚げ物をするときには、その場を離れないようにしている
6. ガスコンロの周りには、燃えやすい物は置かないようにしている
7. 消火器を設置している
8. 使わない電源コードはコンセントから抜いている
9. タコ足配線をしていない
10. 電源コードは、椅子等の重量物に踏まれないようにしている
11. マッチやライターは子供の手の届く場所に置かないようにしている
12. 寝る前には火の元点検を行っている
13. 自宅の外周部には燃えやすい物を置かないようにしている
14. ごみは早くに出し過ぎないようにしている
15. 旧式の電気製品は使用しない
16. その他 ()

実施率が 50%を超える防火対策は「揚げ物をするときには、その場を離れないようにしている」(77.7%)、「ガスコンロの周りには、燃えやすい物は置かないようにしている」(64.0%)、「電源コードは、椅子等の重量物に踏まれないようにしている」(63.8%)、「こたつやストーブで洗濯物を乾かさないようにしている」(63.2%)、「ごみは早くに出し過ぎないようにしている」(63.1%)、「寝る前には火の元点検を行っている」(62.8%)、「たばこの吸い殻やローソクなど、確実に火が消えたことを確認する」(56.7%)、「消火器を設置している」(53.3%)の 8 項目である。

n=677



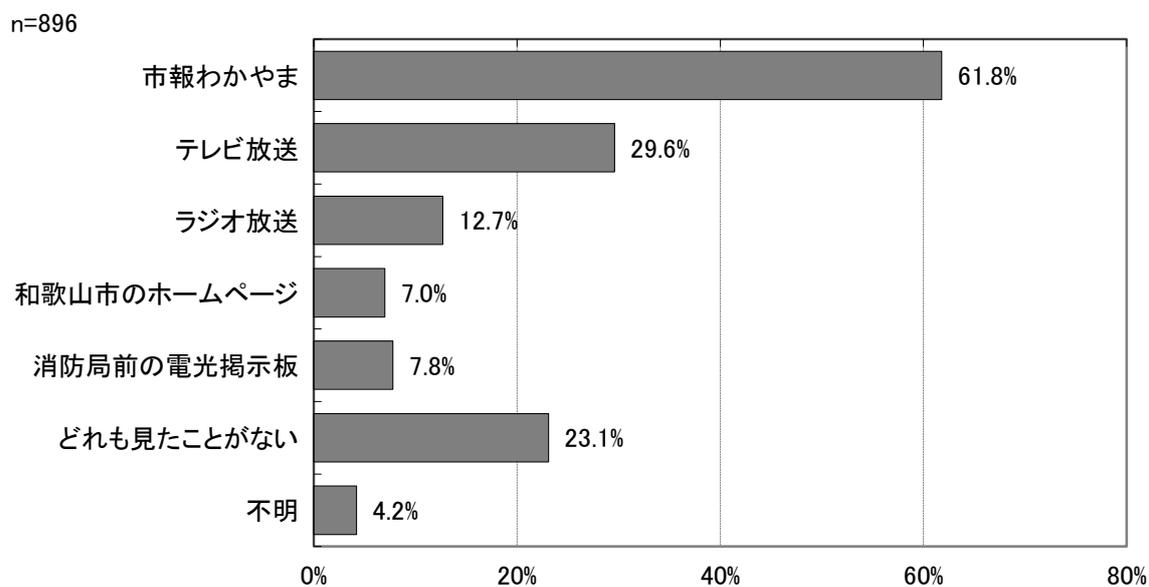
その他：「オール電化にした」、「元栓を締める」、「防災カーテンの設置」など

問 11 和歌山市消防局の広報媒体接触状況

問 11 和歌山市消防局では、火災の件数を減らすため、つぎに挙げるメディアを利用し広報を実施していますが、今まで一度でも見たことや聞いたことがあるものはどれですか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | | |
|-----------|----------------|---------------|
| 1. 市報わかやま | 3. ラジオ放送 | 5. 消防局前の電光掲示板 |
| 2. テレビ放送 | 4. 和歌山市のホームページ | 6. どれも見たことがない |

和歌山市消防局からの広報の接触媒体は「市報わかやま」(61.8%)が最も高く、「テレビ放送」(29.6%)が続く。「どれも見たことがない」は23.1%となっている。



3. 災害対策について

問 12 災害への備え

問 12. あなたは現在、災害に対し、備えを行っていますか？

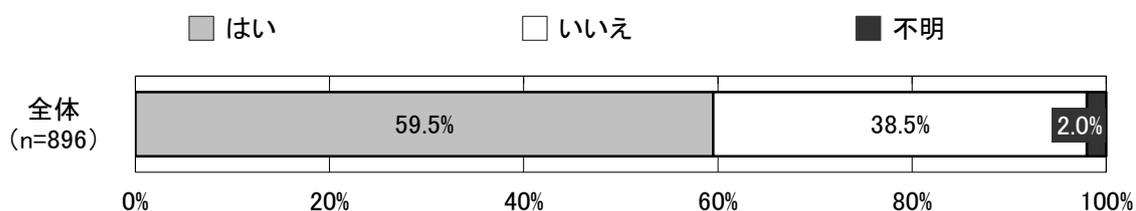
1. はい

2. いいえ

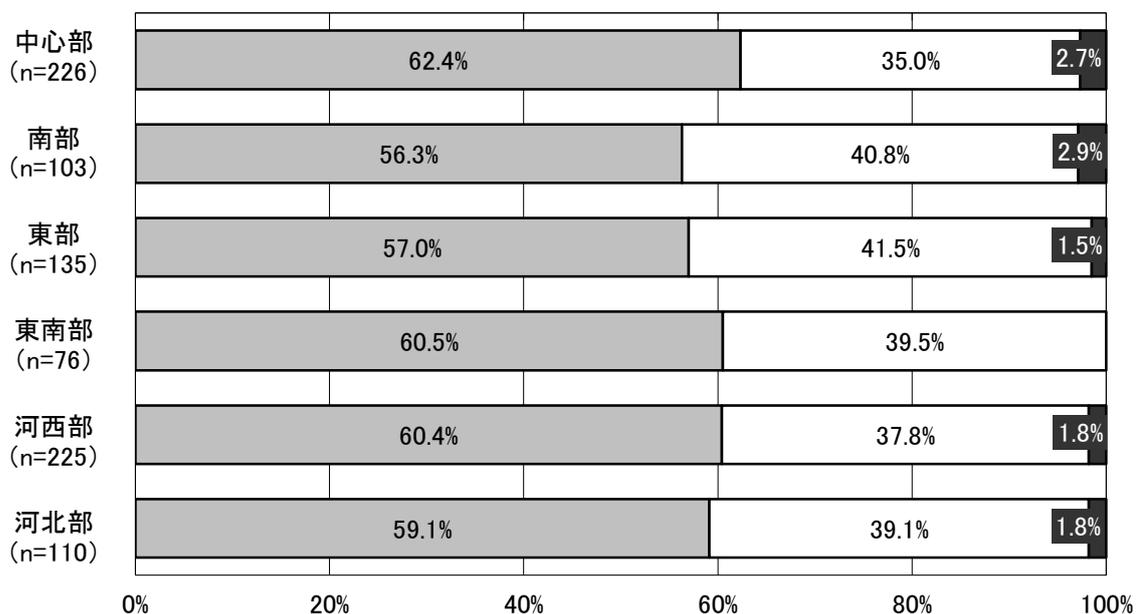
災害に対する備えの実施は、「はい」が 59.5%、「いいえ」が 38.5%となっている。

地域別にみると、実施率は「中心部」(62.4%)が最も高く、他の地域も 6 割前後となっている。

年代別にみると、実施率は「60～69 歳」(63.3%)が最も高い。20 歳から 79 歳までは実施率が 50%を超えるが、「18～19 歳」(33.3%)と「80～89 歳」(44.4%)は低くなっている。



<地域別>

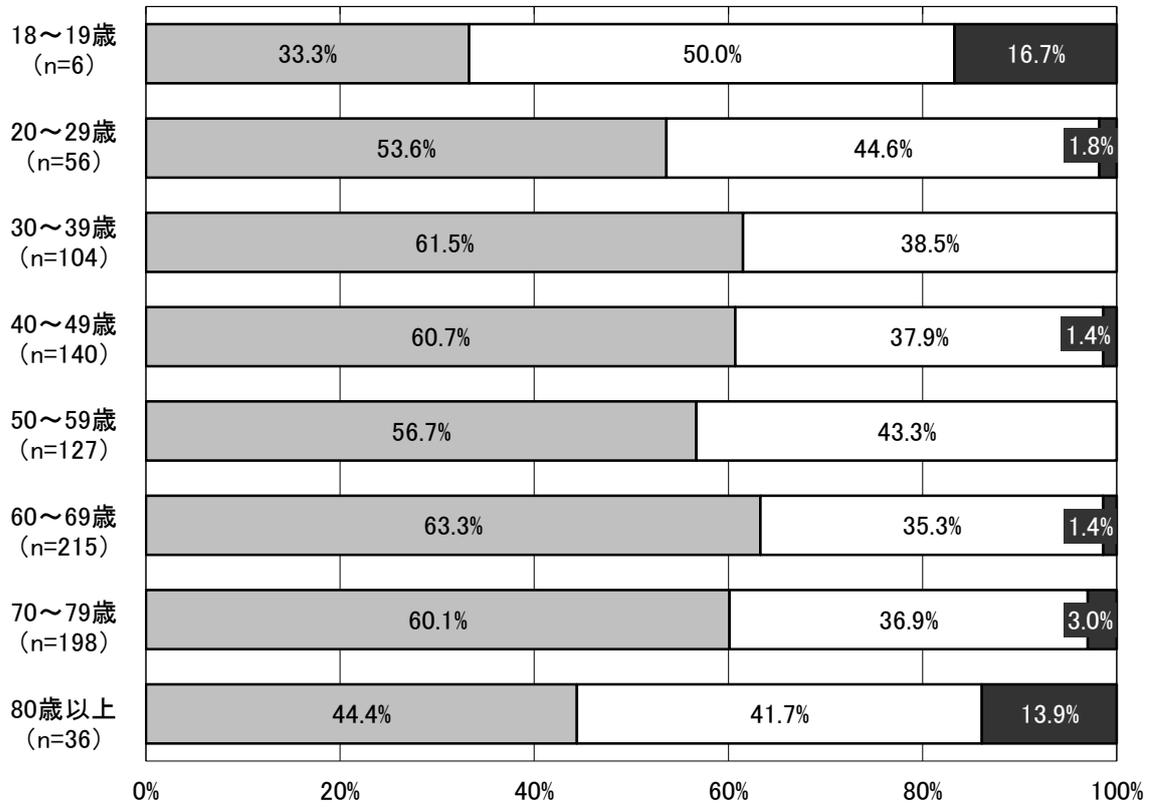


■ はい

□ いいえ

■ 不明

<年代別>



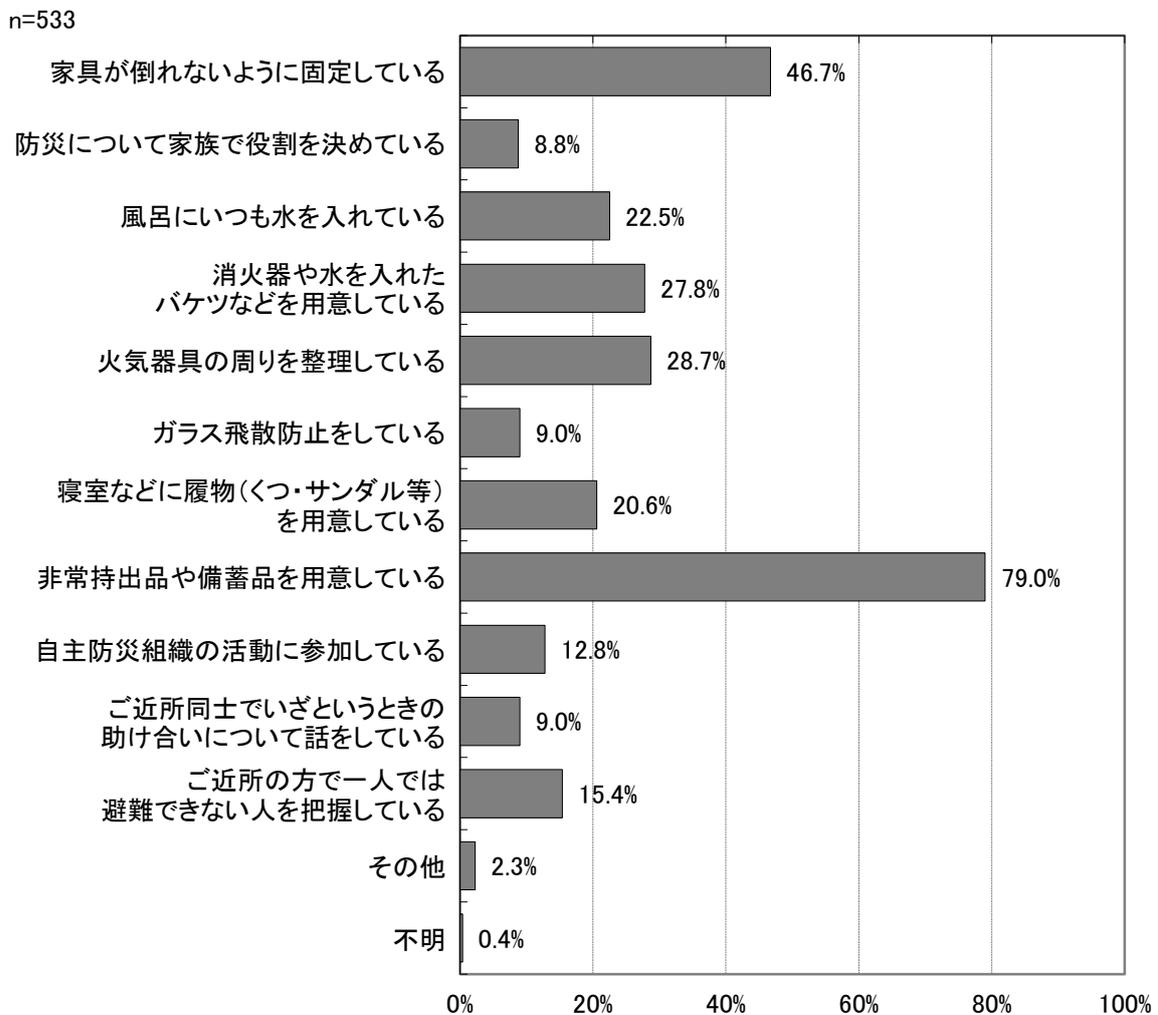
問 12-1 災害に備えること

問 12-1 問 12 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。

災害の発生に備えてどのようなことをしていますか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 家具が倒れないように固定している | 8. 非常持出品や備蓄品を用意している |
| 2. 防災について家族で役割を決めている | 9. 自主防災組織の活動に参加している |
| 3. 風呂にいつも水を入れている | 10. ご近所同士でいざというときの
助け合いについて話をしている |
| 4. 消火器や水を入れたバケツなどを用意している | 11. ご近所の方で一人では
避難できない人を把握している |
| 5. 火気器具の周りを整理している | 12. その他 |
| 6. ガラス飛散防止をしている | () |
| 7. 寝室などに履物（くつ・サンダル等）
を用意している | |

災害に備えていることは、「非常持出品や備蓄品を用意している」(79.0%) が最も高く、次いで「家具が倒れないように固定している」(46.7%)、「火気器具の周りを整理している」(28.7%)、「消火器や水をいれたバケツなどを用意している」(27.8%) の順となっている。



その他：「集合場所を決める」、「家具を別場所に保管」、「簡易トイレの購入」など

問 12-2 家具を固定していない理由

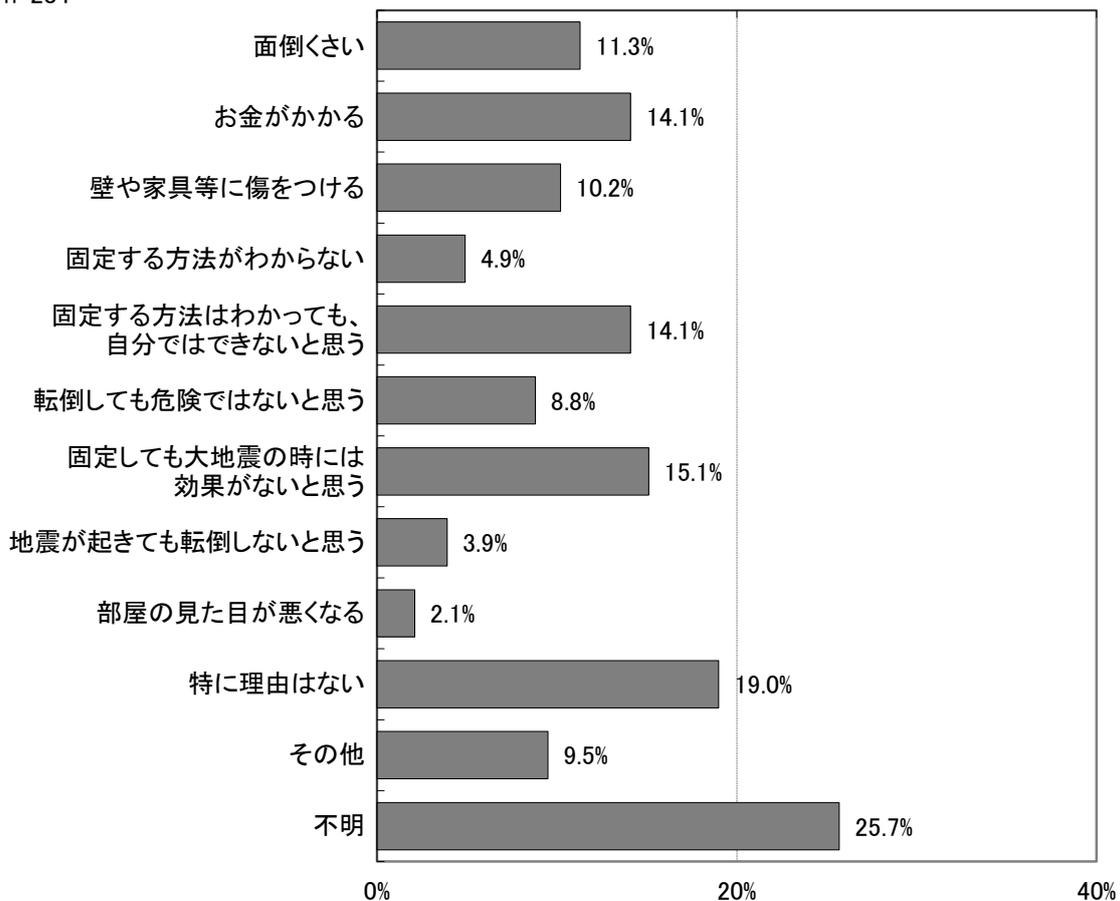
問12-2 問12-1で「1. 家具が倒れないように固定している」を回答されていない方のみお答えください。

家具を固定していない理由は何ですか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|---------------------------------|-------------------------|
| 1. 面倒くさい | 7. 固定しても大地震の時には効果がないと思う |
| 2. お金がかかる | 8. 地震が起きても転倒しないと思う |
| 3. 壁や家具等に傷をつける | 9. 部屋の見た目が悪くなる |
| 4. 固定する方法がわからない | 10. 特に理由はない |
| 5. 固定する方法はわかっても、
自分ではできないと思う | 11. その他 |
| 6. 転倒しても危険ではないと思う | () |

問12-1で「家具を固定している」を選択しなかった284人について、家具を固定していない理由は、「固定しても大地震の時には効果がないと思う」が15.1%で最も高く、次いで「お金がかかる」(14.1%)、「固定する方法はわかっても、自分ではできないと思う」(14.1%)の順となっている。「特に理由はない」は19.0%となっている。

n=284



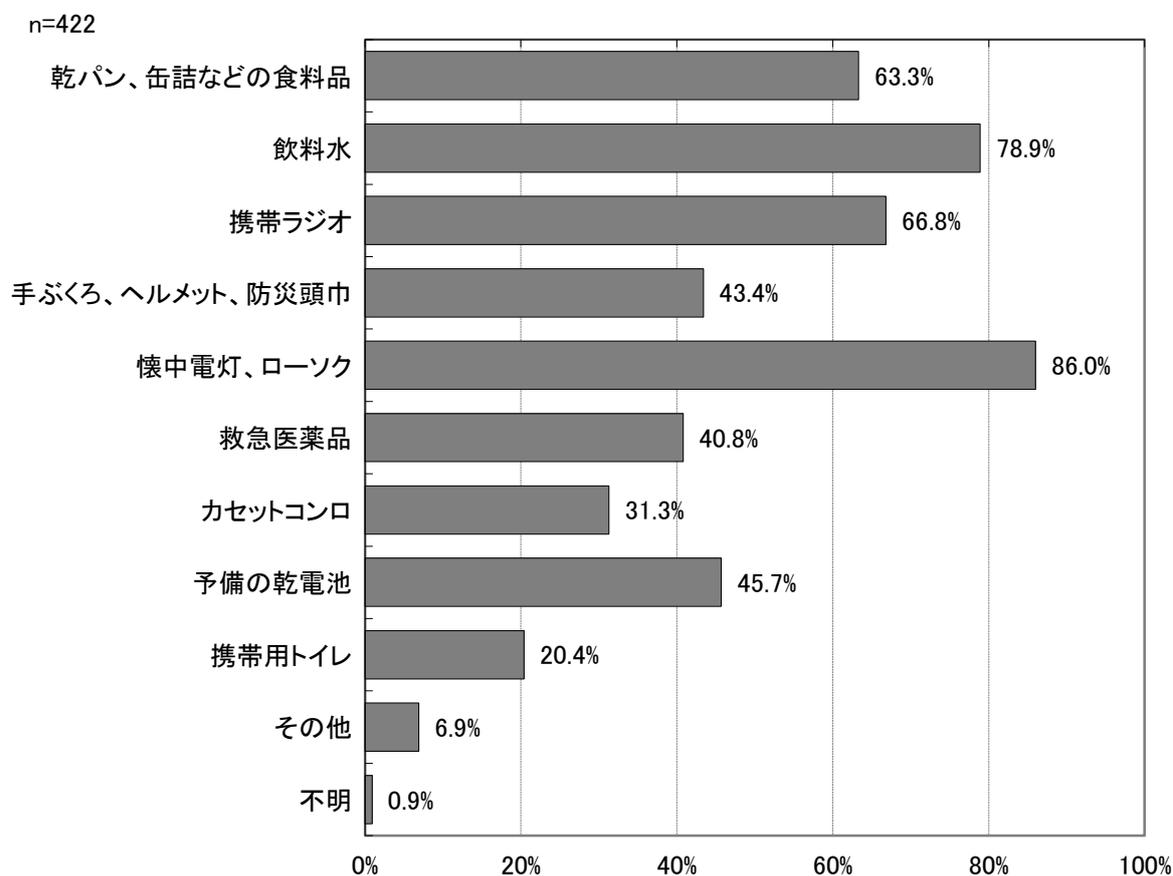
その他：「背の高い家具は置いていない」、「家具は一部屋にまとめている」、「天井がやわらかいため効果がない」、「固定する物を用意しているが、まだできていない」など

問 12-3 用意している非常持出品や備蓄品

問 12-3 問 12-1 で「8. 非常持出品や備蓄品を用意している」と回答された方のみお答えください。
あなたは、どのようなものを用意していますか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 乾パン、缶詰などの食料品 | 6. 救急医薬品 |
| 2. 飲料水 | 7. カセットコンロ |
| 3. 携帯ラジオ | 8. 予備の乾電池 |
| 4. 手ぶくろ、ヘルメット、防災頭巾 | 9. 携帯用トイレ |
| 5. 懐中電灯、ローソク | 10. その他 () |

問 12-1 で「非常持出品や備蓄品を用意している」を選択した 422 人について、用意しているものは「懐中電灯、ローソク」が 86.0%と最も高く、次いで「飲料水」(78.9%)、「携帯ラジオ」(66.8%)、「乾パン、缶詰などの食料品」(63.3%)の順となっている。



その他：「タオル」、「肌着」、「生理用品」、「トイレットペーパー」など

問13 防災に関する取り組み

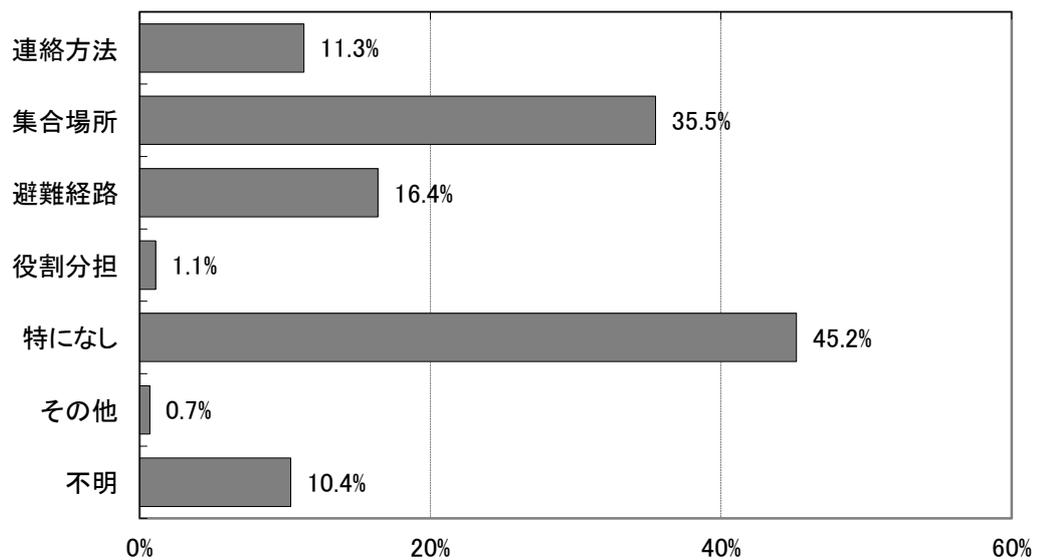
問13 家族や近所の方と防災に関して取り決めていることはありますか？

あてはまるものをすべてお選びください。

- | | | |
|---------|---------|------------|
| 1. 連絡方法 | 3. 避難経路 | 5. 特になし |
| 2. 集合場所 | 4. 役割分担 | 6. その他 () |

防災に関して家族や近所の方と取り決めていることは、「集合場所」が35.5%、「避難経路」が16.4%。「特になし」は45.2%となっている。

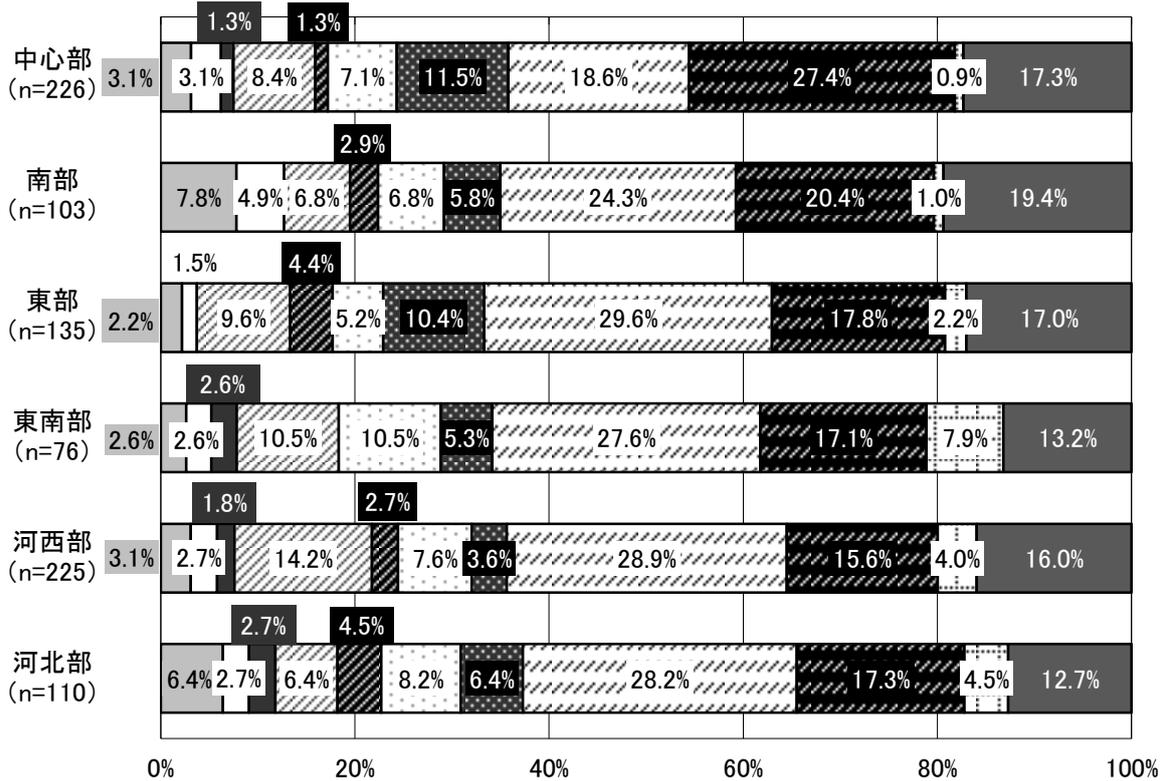
n=896



その他：「寝室の場所」など

- すでに耐震診断を受けている
- すでに耐震改修を行った
- 耐震診断を受けたが、耐震改修はしていない
- ▨ 耐震診断を受ける気持ちはあるが、まだ受けていない
- ▩ 耐震診断の制度を知らなかった、ぜひ受けてみたい
- 耐震診断を受けるつもりはない
- 賃貸なのでわからない、または勝手にできない
- ▨ 昭和57以降に建てられた木造住宅である
- 木造住宅ではない
- その他
- 不明

<地域別>



その他：「新築のため、対象外」、「両親に任せている」、「引っ越し予定なので必要ない」など

問 15 避難場所の認知

問 15 あなたは、お住まいの地域の避難場所を知っていますか？

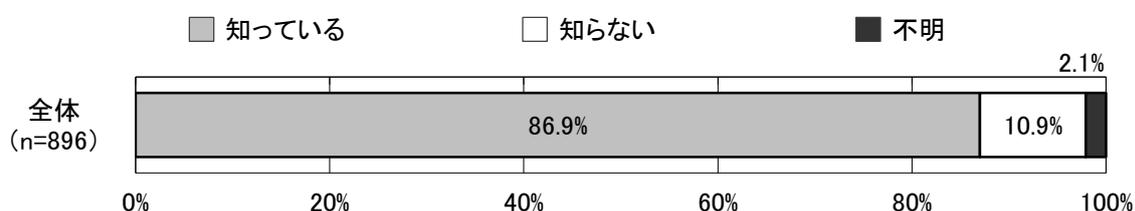
1. 知っている

2. 知らない

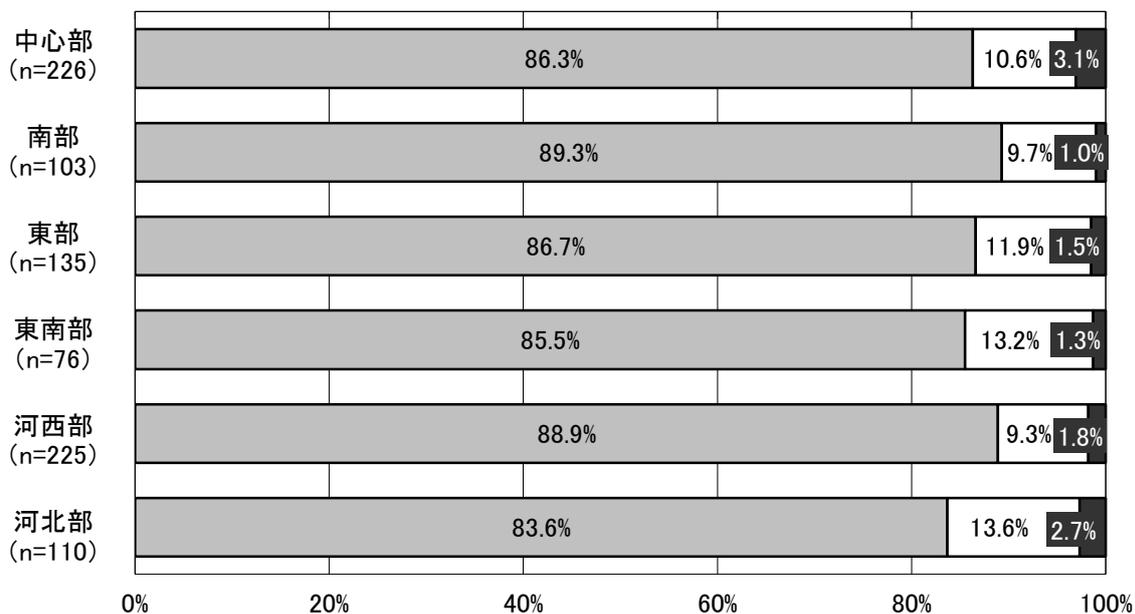
避難場所については「知っている」が86.9%、「知らない」が10.9%となっている。

地域別にみると、全ての地域で「知っている」が80%を超えており、南部が89.3%と最も高くなっている。

年代別にみると、79歳までは「知っている」が80%を超えているが、80歳以上は66.7%となっている。

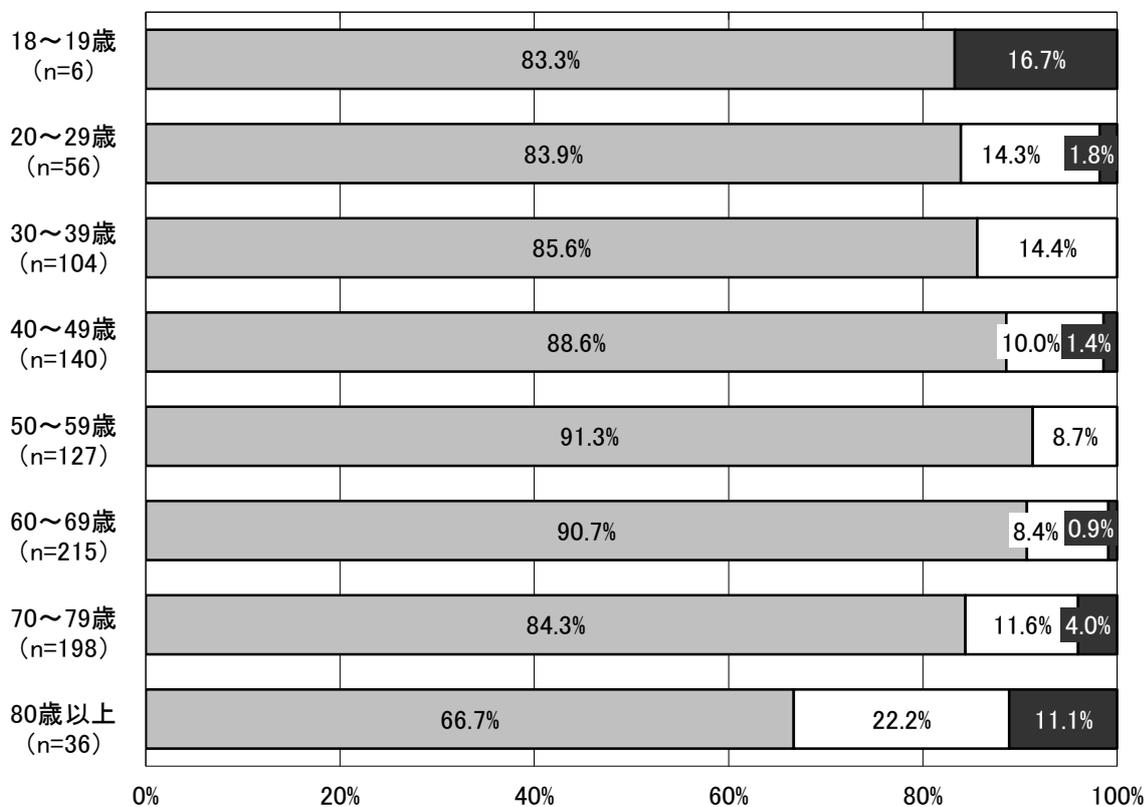


<地域別>



知っている
 知らない
 不明

<年代別>



問 16 避難所開設のタイミング

問 16 あなたは、避難所が開設されるタイミングを知っていますか？

1. 知っている

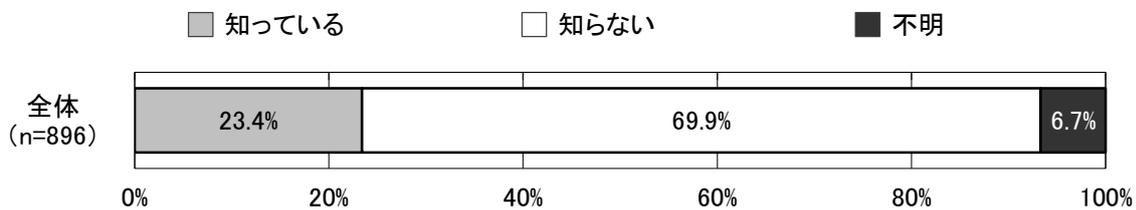
2. 知らない

※ 開設のタイミングは、災害が発生し、または二次災害が発生するおそれがあり、避難者の収容を必要と認めるときや、災害が発生し自主的な避難があったときなどです。

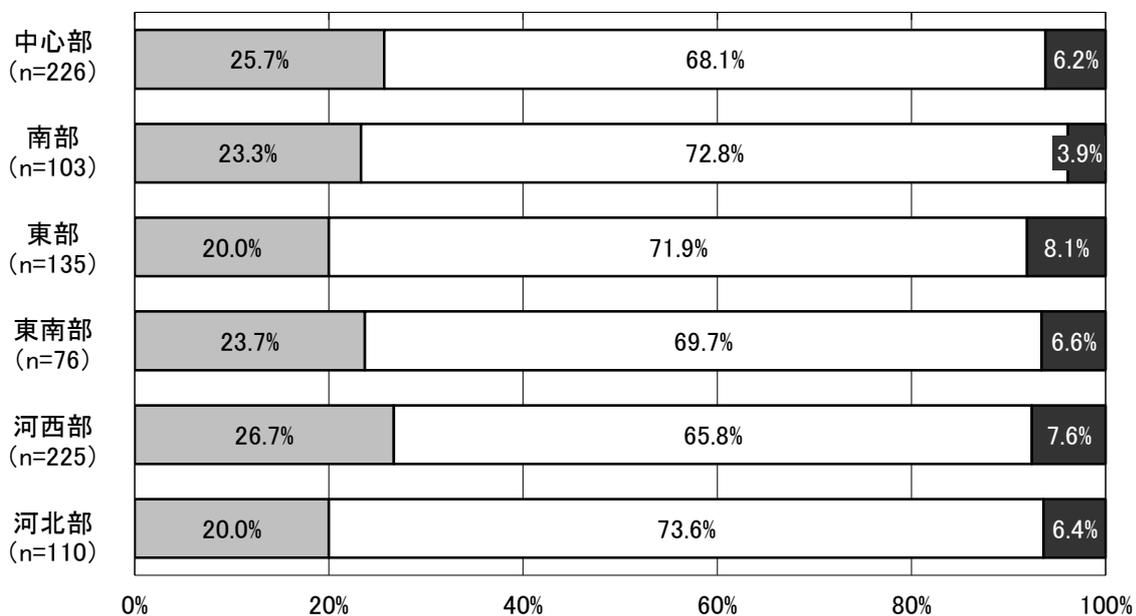
避難所開設のタイミングは、「知っている」が 23.4%、「知らない」が 69.9%となっている。

地域別にみると、「知らない」は河北部が 73.6%で最も高くなっている。

年代別にみると、「知らない」は 18～19 歳が 100%と最も高く、次いで 20～29 歳が 87.5%で、40～49 歳（80.7%）、30～39 歳（76.9%）の順となっている。

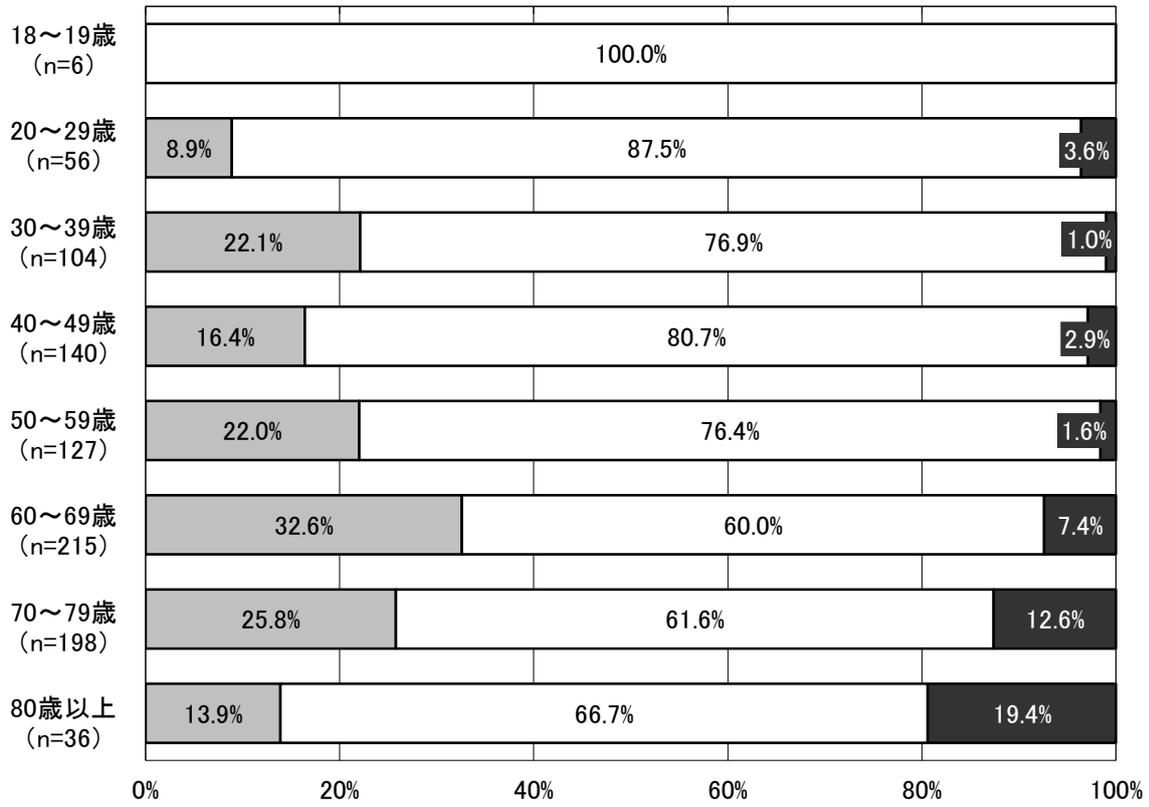


<地域別>



■ 知っている □ 知らない ■ 不明

<年代別>

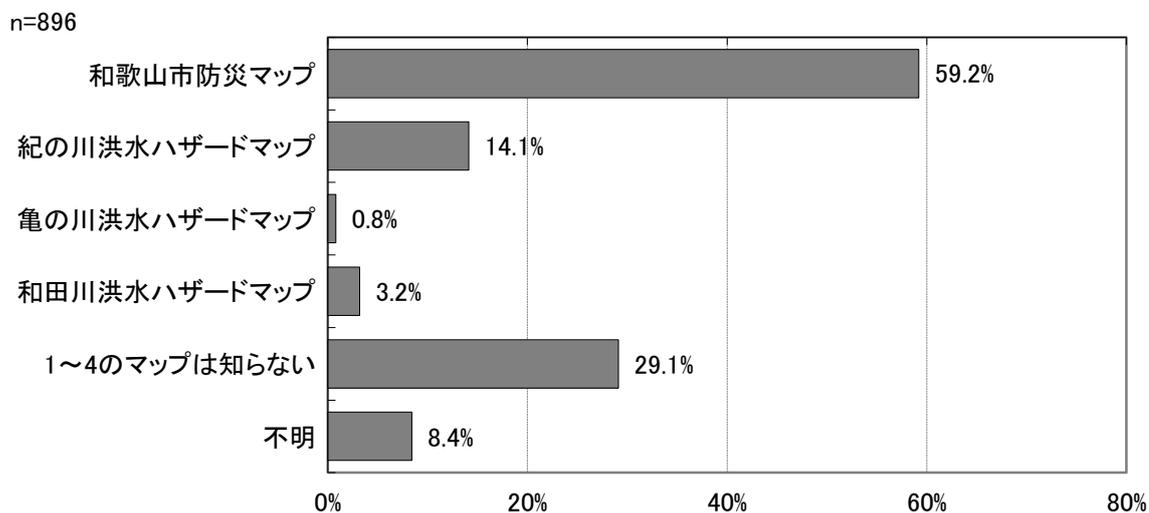


問 17 ハザードマップの認知度

問 17 あなたは、和歌山市が作成しているハザードマップを知っていますか？
あてはまるものをすべてお選びください。

1. 和歌山市防災マップ
2. 紀の川洪水ハザードマップ
3. 亀の川洪水ハザードマップ
4. 和田川洪水ハザードマップ
5. 1～4のマップは知らない

ハザードマップの認知度は、「和歌山市防災マップ」が 59.2%で最も高くなっている。「1～4 のマップは知らない」は 29.1%となっている。



問 18 津波への対処

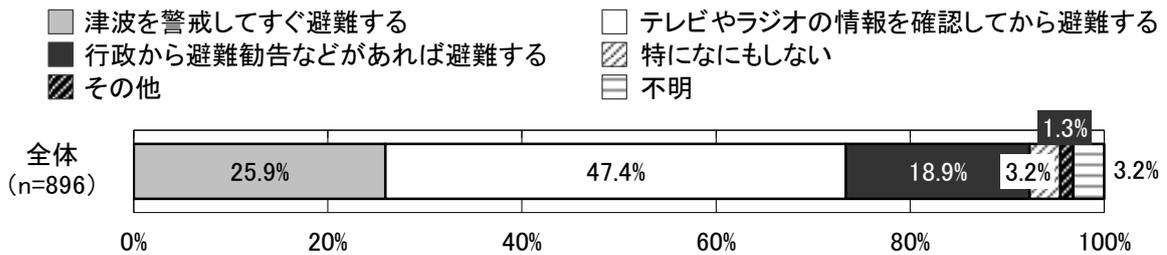
問 18 あなたは、地震の大きな揺れを感じたら、津波に備えてどう行動しますか？
沿岸地域にいる場合を想定して、あてはまるものを1つお選びください。

- 1. 津波を警戒してすぐ避難する
- 2. テレビやラジオの情報を確認してから避難する
- 3. 行政から避難勧告などがあれば避難する
- 4. 特になにもしない
- 5. その他 ()

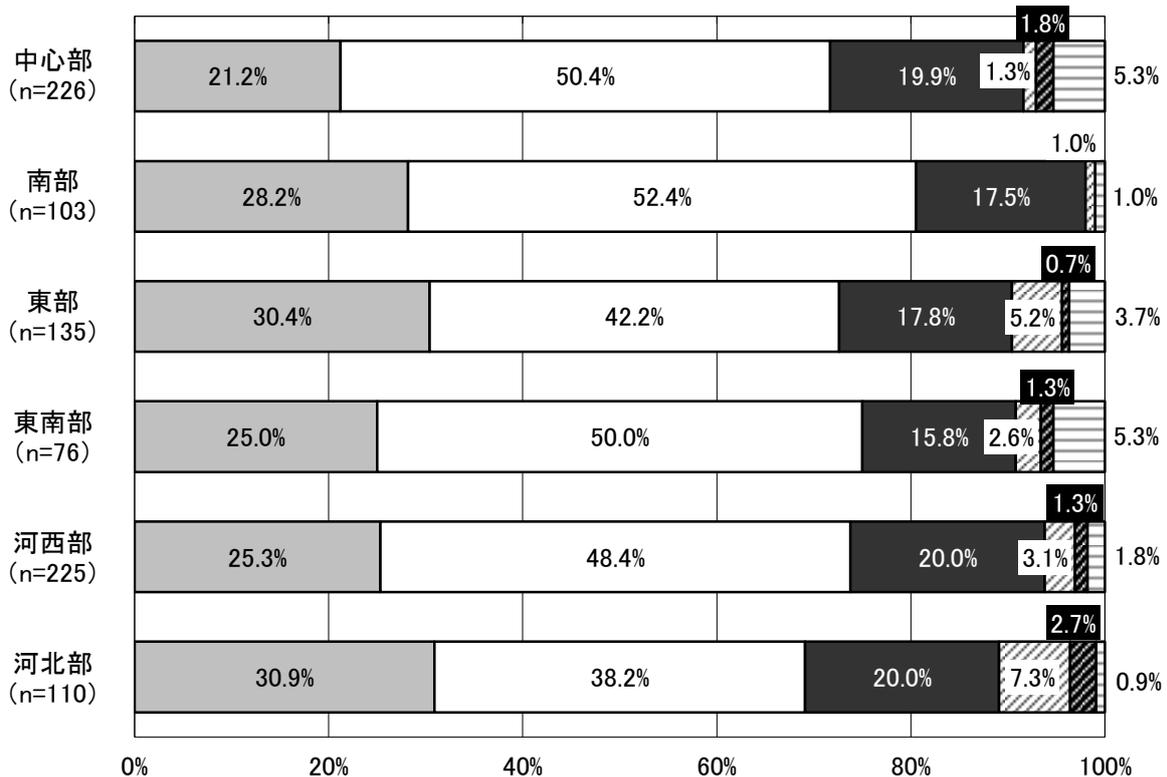
津波への対処については、「テレビやラジオの情報を確認してから避難する」が47.4%で最も高く、次いで「津波を警戒してすぐ避難する」(25.9%)となっている。

地域別にみると、「テレビやラジオの情報を確認してから避難する」は南部が52.4%で最も高く、「津波を警戒してすぐ避難する」は河北部が30.9%で最も高くなっている。

年代別にみると、「テレビやラジオの情報を確認してから避難する」は18~19歳が83.3%と最も高く、「津波を警戒してすぐ避難する」は30~39歳が31.7%で最も高くなっている。

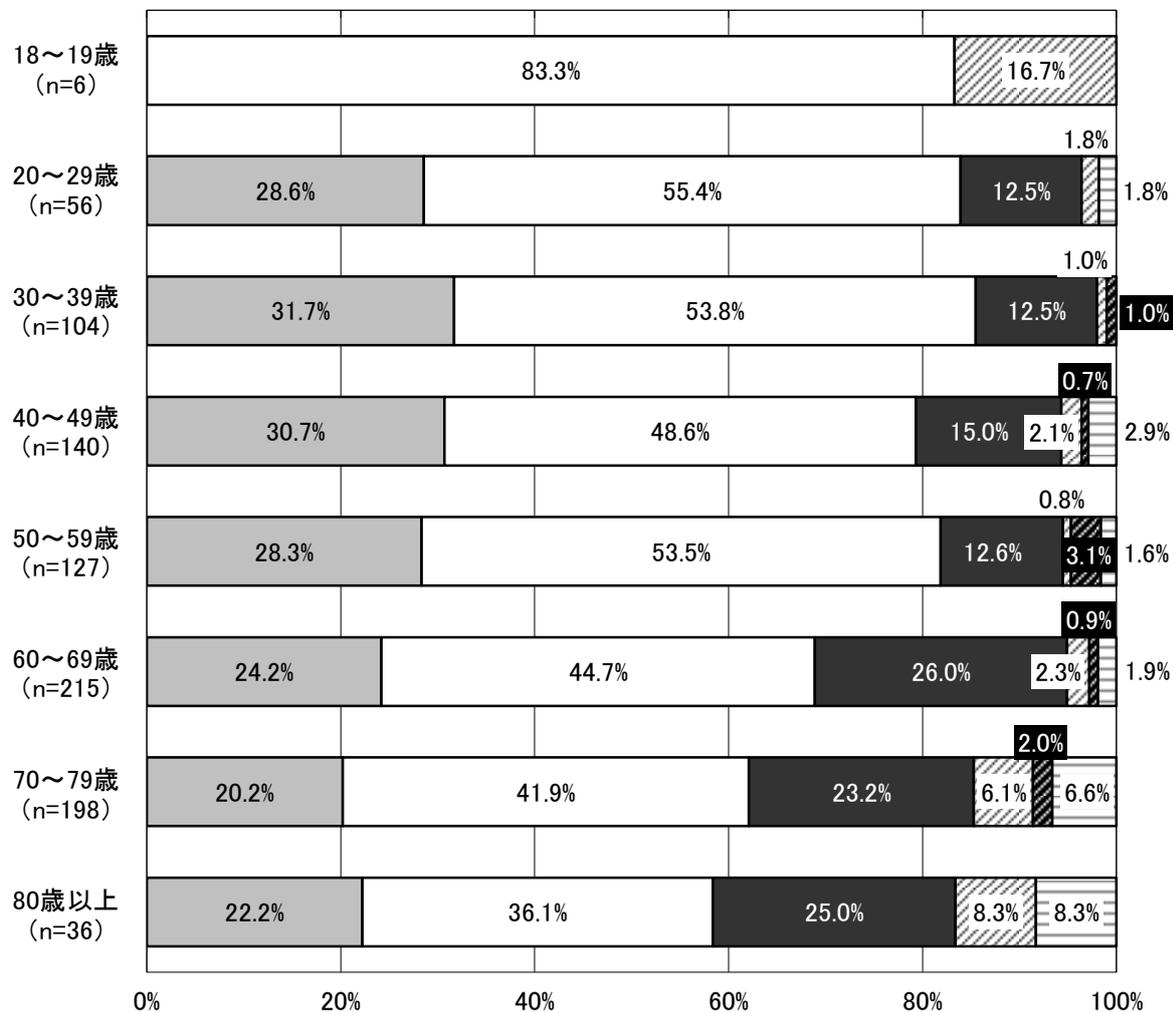


<地域別>



- 津波を警戒してすぐ避難する
- 行政から避難勧告などがあれば避難する
- その他
- テレビやラジオの情報を確認してから避難する
- ▨ 特になにもしない
- ▨ 不明

<年代別>



その他：「マンション最上階に行く」、「ツイッターなどSNS利用」など

問 19 自主防災組織への参加意向

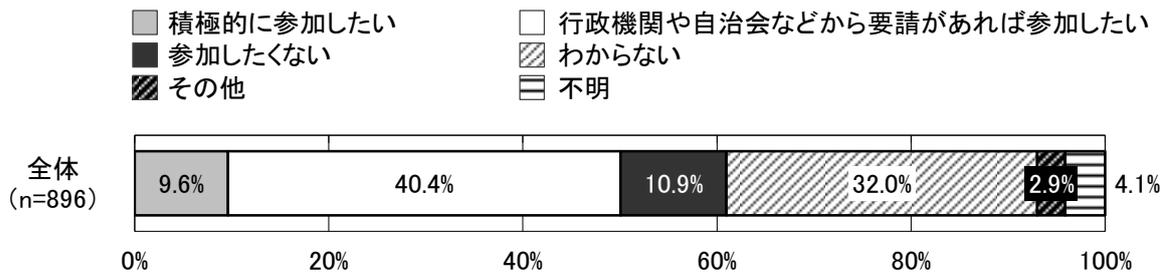
問 19 和歌山市では、災害から「わが家わが町を守るため」地域の人々が結成した自主防災組織の育成を推進しています。あなたは災害発生に備え、地域の自主防災組織に参加したいと思いますか？

- 1. 積極的に参加したい
- 2. 行政機関や自治会などから要請があれば参加したい
- 3. 参加したくない
- 4. わからない
- 5. その他 ()

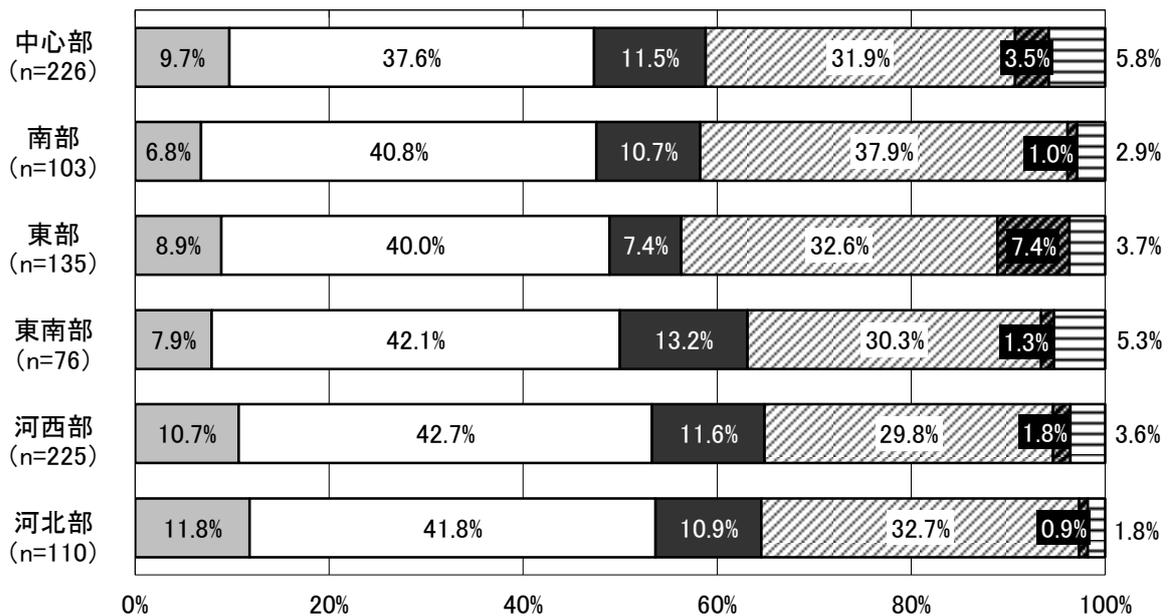
自主防災組織については、「積極的に参加したい」(9.6%)と「行政機関や自治会などから要請があれば参加したい」(40.4%)を合わせた50.0%が「参加したい」意向があり、「参加したくない」は10.9%となっている。

地域別にみると、「参加したい」意向は河北部(53.6%)、河西部(53.4%)、東南部(50.0%)が50%を超えている。

年代別にみると、「参加したい」意向は60~69歳(56.7%)が最も高く、「参加したくない」は18~19歳(33.3%)が最も高くなっている。

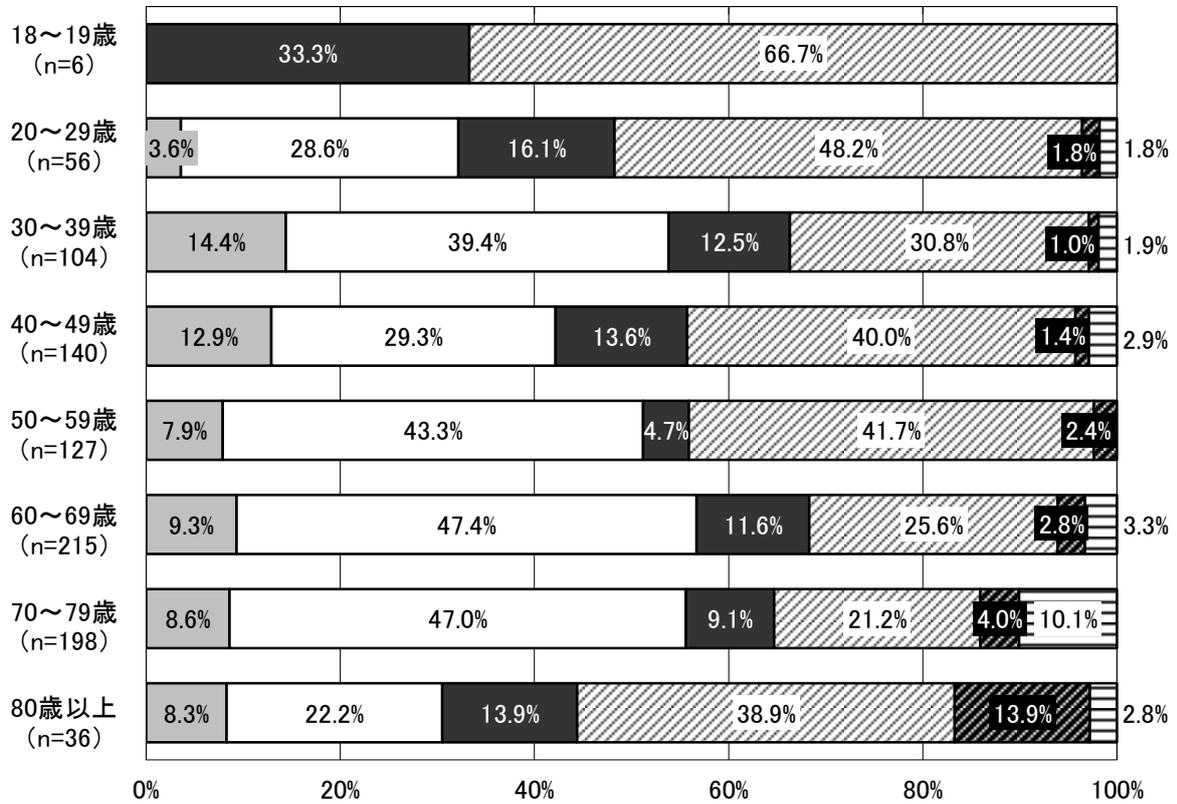


<地域別>



- 積極的に参加したい
- 参加したくない
- その他
- 行政機関や自治会などから要請があれば参加したい
- ▨ わからない
- ▨ 不明

<年代別>



その他：「高齢で参加できない」、「病気がちの為参加しにくい」、「業務の都合により厳しい」など

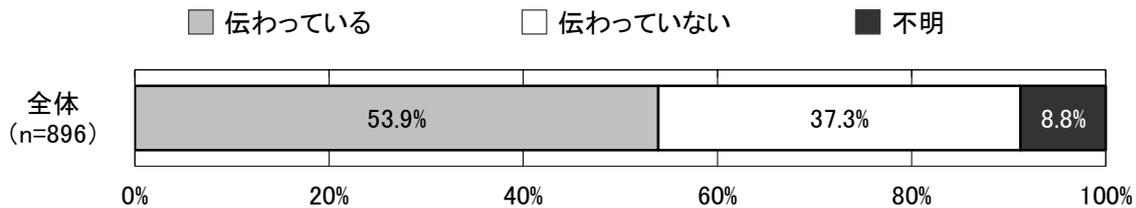
問 20 防災行政無線からの情報伝達

問 20 災害発生時や災害が発生するおそれがある時、防災行政無線等によって市から情報を発信していますが、その情報はあなたに伝わっていますか？

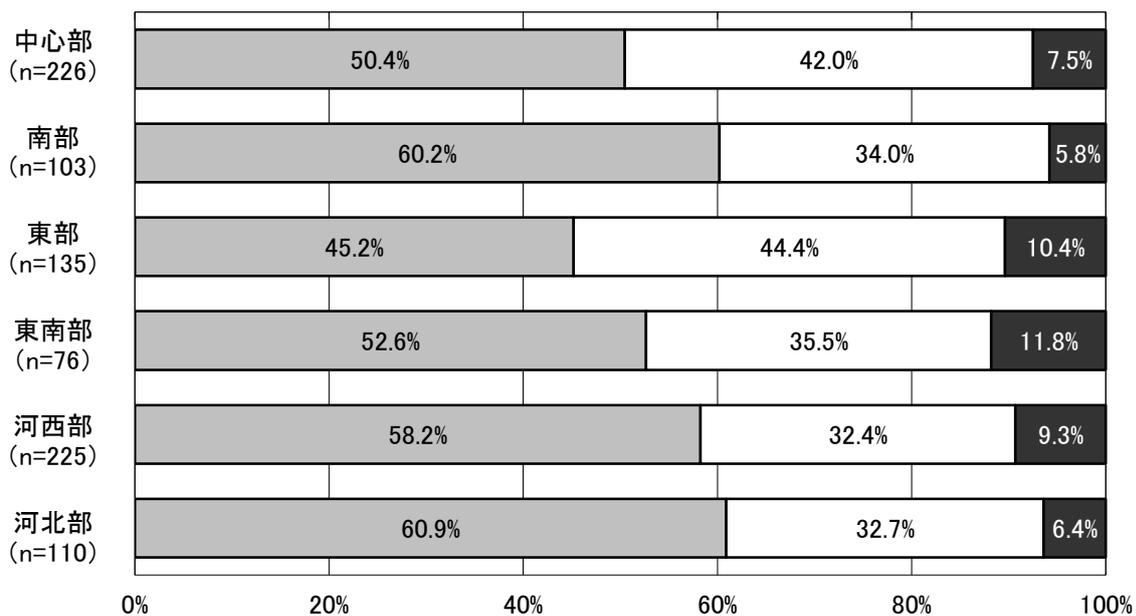
1. 伝わっている
2. 伝わっていない【理由： 】

防災行政無線からの情報伝達は、「伝わっている」が 53.9%、「伝わっていない」は 37.3%となっている。

地域別にみると、「伝わっていない」は東部で 44.4%と最も高く、次いで中心部（42.0%）となっている。



<地域別>



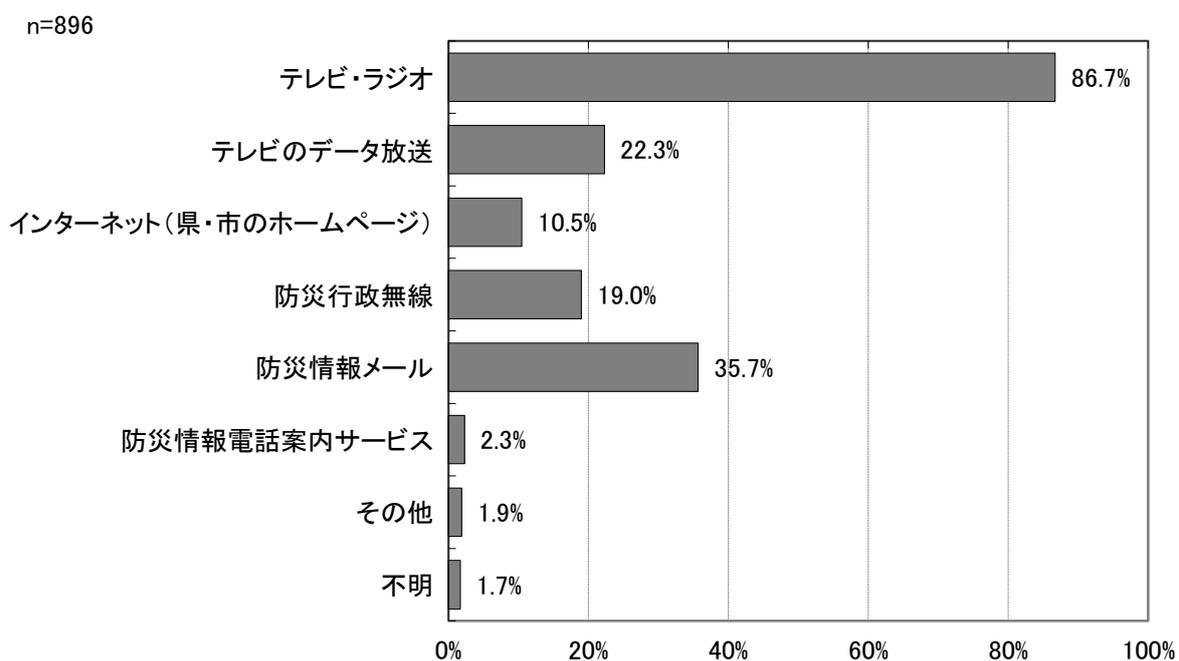
伝わっていない理由：「室内に居ると聞こえにくい」、「近くに防災行政無線の設備（スピーカー）がない」、「情報を聞いた事がない」、「具体的にどのように発信しているのかがわからない」など

問 21 災害時の情報源

問 21 あなたは、災害発生時や災害が発生するおそれがある時、その情報をどこから得ていますか？

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. テレビ・ラジオ | 5. 防災情報メール |
| 2. テレビのデータ放送 | 6. 防災情報電話案内サービス |
| 3. インターネット(県・市のホームページ) | 7. その他 |
| 4. 防災行政無線 | () |

災害時の情報源は「テレビ・ラジオ」が86.7%で最も高く、次いで「防災情報メール」(35.7%)、「テレビのデータ放送」(22.3%)「防災行政無線」(19.0%)の順となっている。



その他：「スマートフォン」、「ツイッター」、「自治会」など

4. 防犯対策について

問 22 和歌山市の治安状況

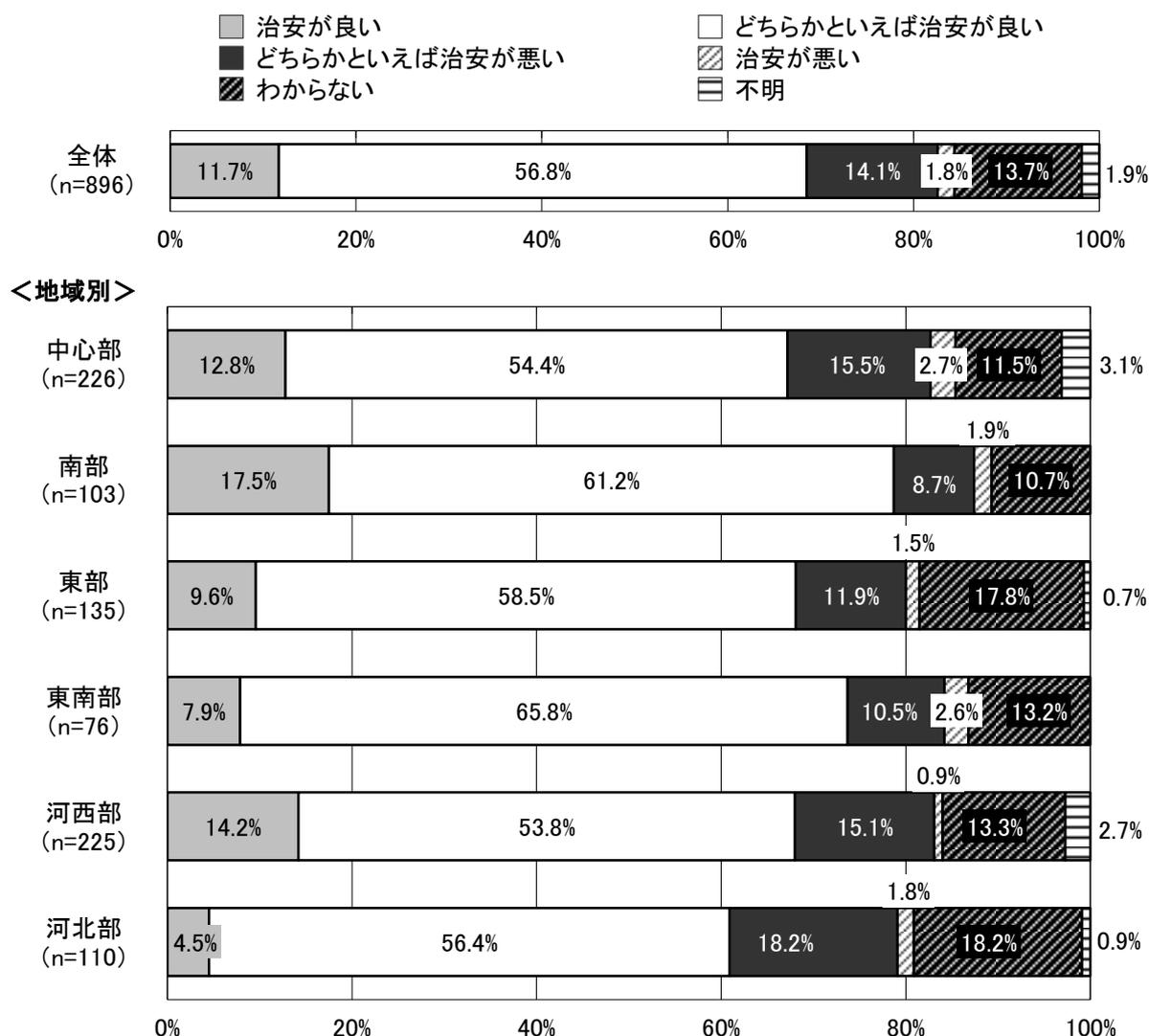
問 22 あなたは、和歌山市の治安状況についてどう感じていますか？

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 治安が良い | 3. どちらかといえば治安が悪い |
| 2. どちらかといえば治安が良い | 4. 治安が悪い |
| | 5. わからない |

和歌山市の治安状況については、「治安が良い」(11.7%)と「どちらかといえば治安が良い」(56.8%)をあわせた68.5%は治安が良いと感じている。「どちらかといえば治安が悪い」(14.1%)と「治安が悪い」(1.8%)を合わせた15.9%が治安は悪いと感じている。

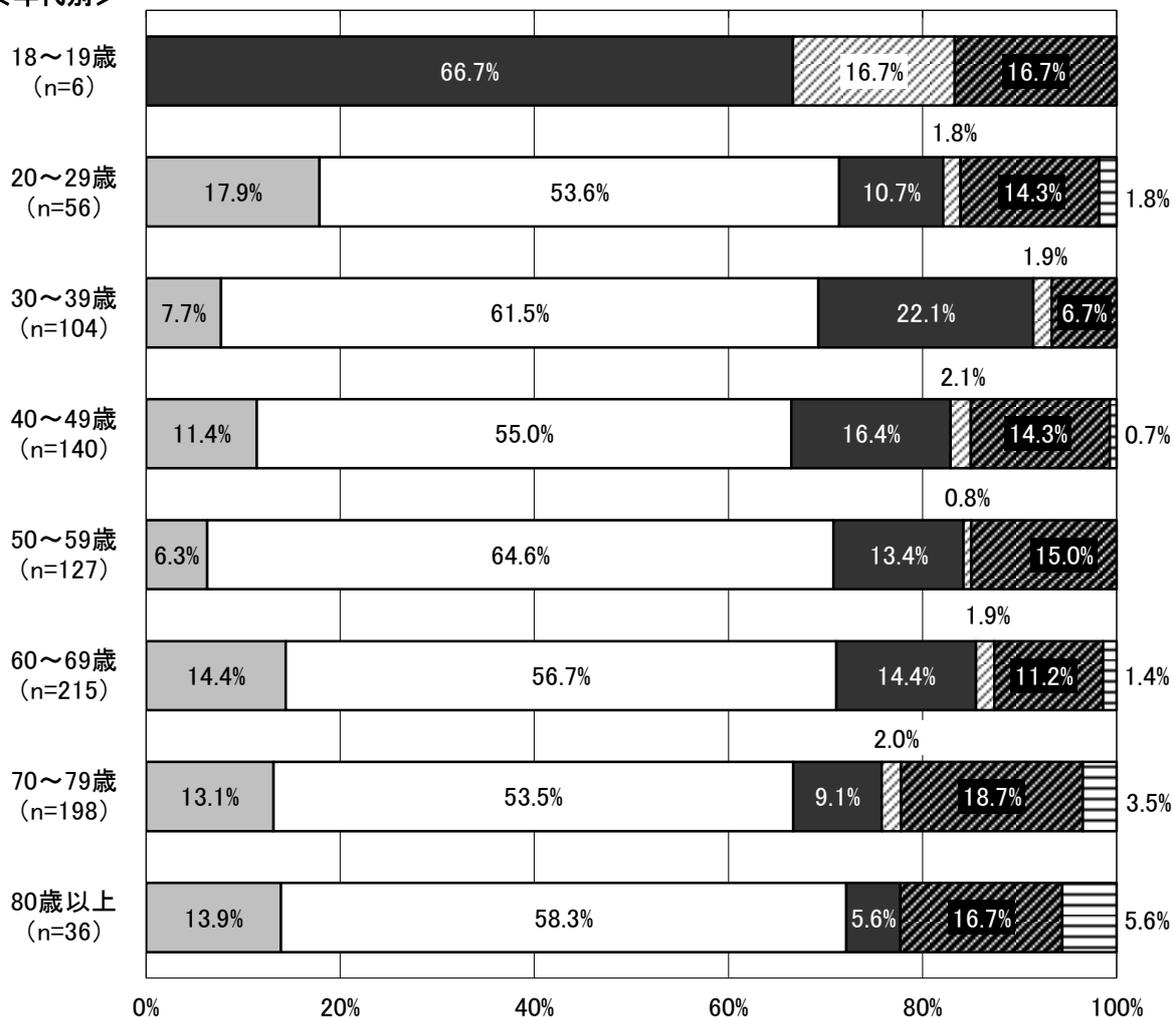
地域別にみると、治安が良いと感じている比率は南部(78.7%)が最も高く、治安が悪いと感じている比率は河北部(20.0%)が最も高くなっている。

年代別にみると、治安が良いと感じている比率は80歳以上(72.2%)が最も高く、治安が悪いと感じている比率は18~19歳(83.4%)が最も高くなっている。





<年代別>



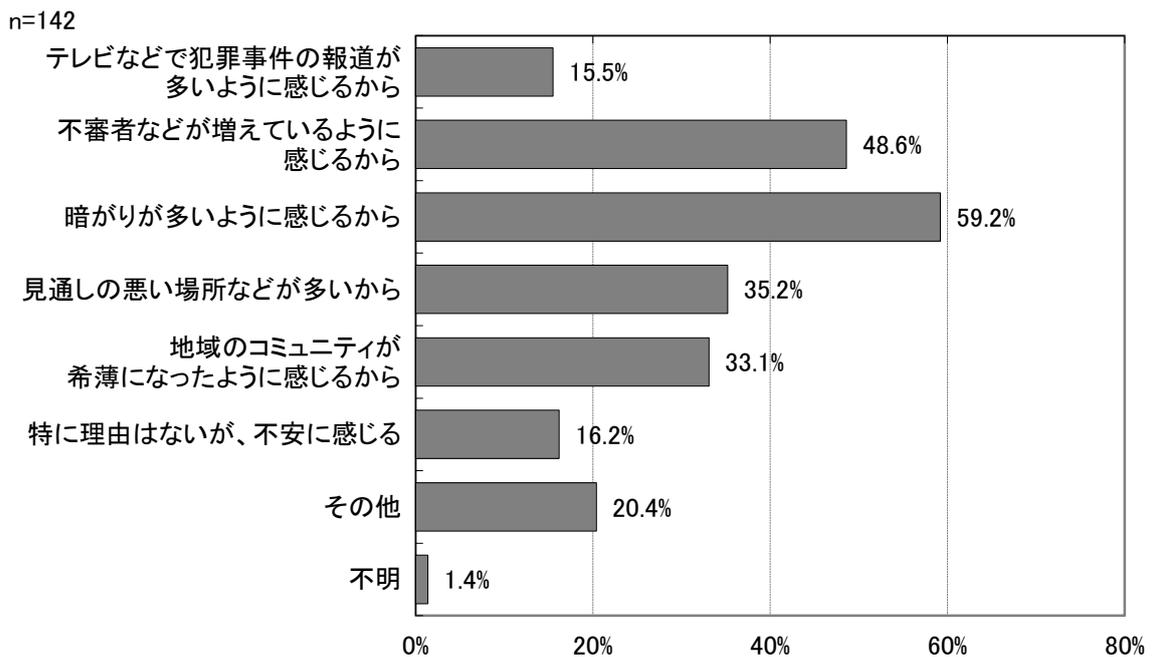
問 22-1 治安が悪いと感じる理由

問 22-1 問 22 で「3. どちらかといえば治安が悪い」「4. 治安が悪い」とお答えの方のみお答えください。

あなたが、治安が悪いと感じる理由は何ですか。つぎからあてはまるものをすべてお選びください。

1. テレビなどで犯罪事件の報道が多いように感じるから
2. 不審者などが増えているように感じるから
3. 暗がりが多いように感じるから
4. 見通しの悪い場所などが多いから
5. 地域のコミュニティが希薄になったように感じるから
6. 特に理由はないが、不安を感じる
7. その他 ()

問 22 で「どちらかといえば治安が悪い」「治安が悪い」と回答した 142 人について、治安が悪いと感じる理由は「暗がりが多いように感じるから」が 59.2%で最も高く、次いで「不審者などが増えているように感じるから」(48.6%)、「見通しの悪い場所などが多いから」(35.2%)の順となっている。



その他：「近くで盗難が多く犯人が捕まらない」、「自動車や自転車にイタズラされたり、盗まれたりする」、「夜間に暴走族、改造車の音が頻繁に聞こえる」など

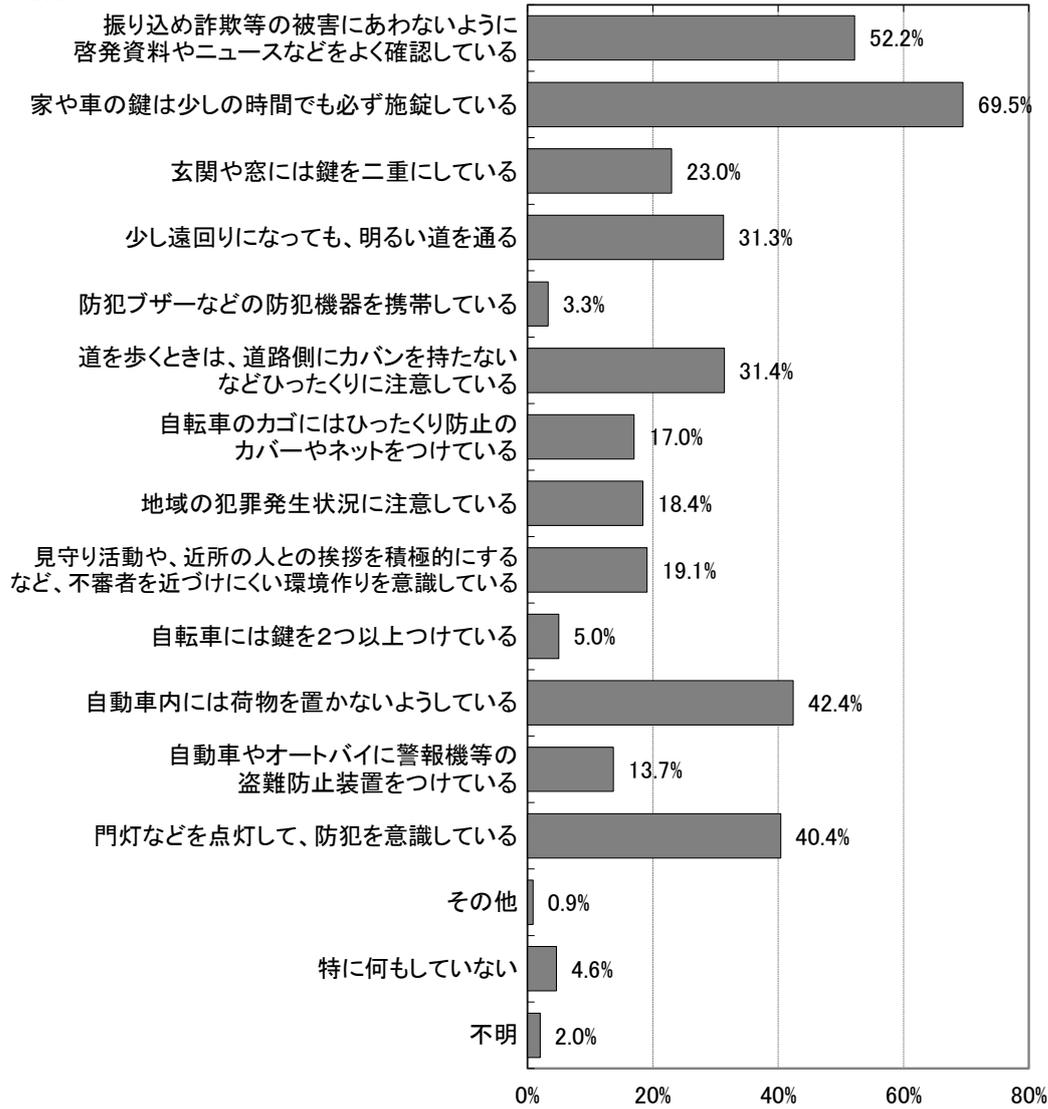
問 23 犯罪被害に遭わないための心がけ

問 23 犯罪被害を防止するためには、日常生活において市民一人ひとりが防犯について意識することが大切です。あなたが犯罪の被害にあわないために、日常生活で心がけていることは何ですか。つぎの中からあてはまるものをすべて選んでください。

1. 振り込め詐欺等の被害にあわないように啓発資料やニュースなどをよく確認している
2. 家や車の鍵は少しの時間でも必ず施錠している
3. 玄関や窓には鍵を二重にしている
4. 少し遠回りになっても、明るい道を通る
5. 防犯ブザーなどの防犯機器を携帯している
6. 道を歩くときは、道路側にカバンを持たないなどひったくりに注意している
7. 自転車のカゴにはひったくり防止のカバーやネットをつけている
8. 地域の犯罪発生状況に注意している
9. 見守り活動や、近所の人との挨拶を積極的にするなど、
不審者を近づけにくい環境作りを意識している
10. 自転車には鍵を2つ以上つけている
11. 自動車内には荷物を置かないようしている
12. 自動車やオートバイに警報機等の盗難防止装置をつけている
13. 門灯などを点灯して、防犯を意識している
14. その他 ()
15. 特に何もしていない

犯罪被害にあわないために心がけていることは、「家や車の鍵は少しの時間でも必ず施錠している」が69.5%で最も高く、次いで「振り込め詐欺等の被害にあわないように啓発資料やニュースなどをよく確認している」(52.2%)、「自動車内には荷物を置かないようしている」(42.4%)、「門灯などを点灯して、防犯を意識している」(40.4%)の順となっている。

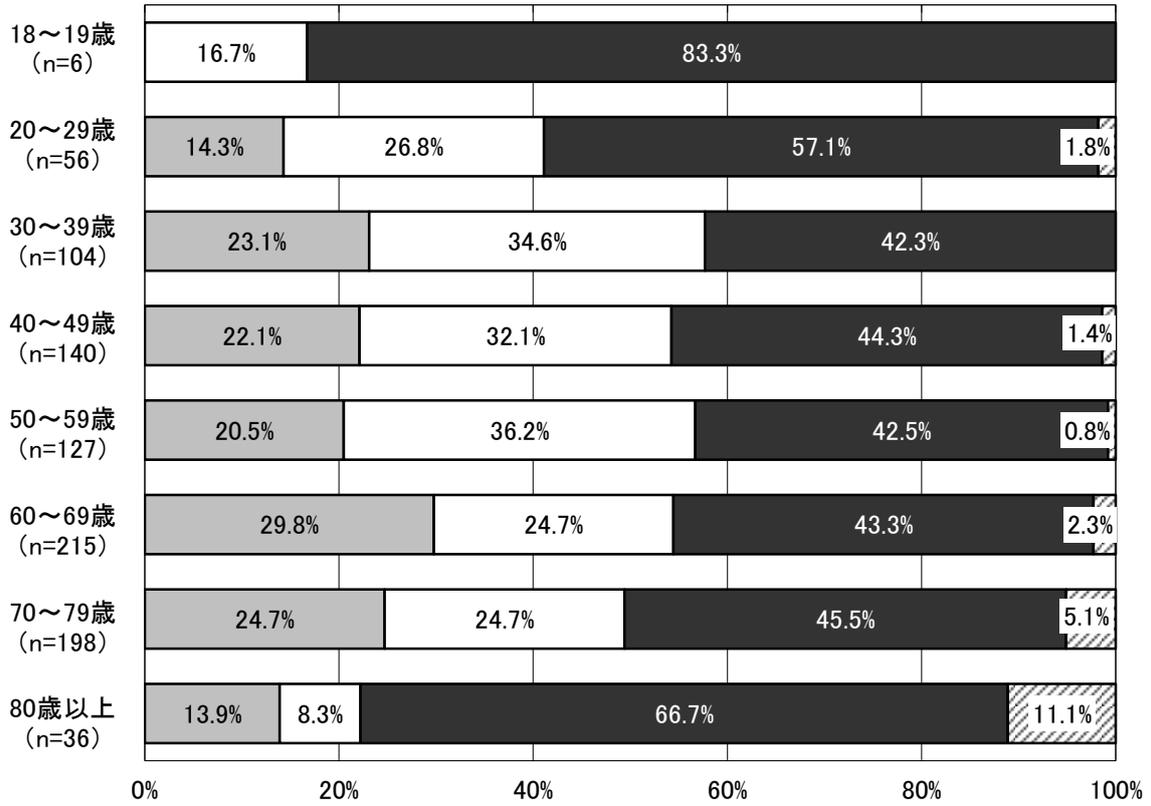
n=896



その他：「防犯カメラを設置した」、「近所の方と空き家は注意している」、「夜、歩くときは携帯音楽プレーヤー、スマートフォンはしない」など

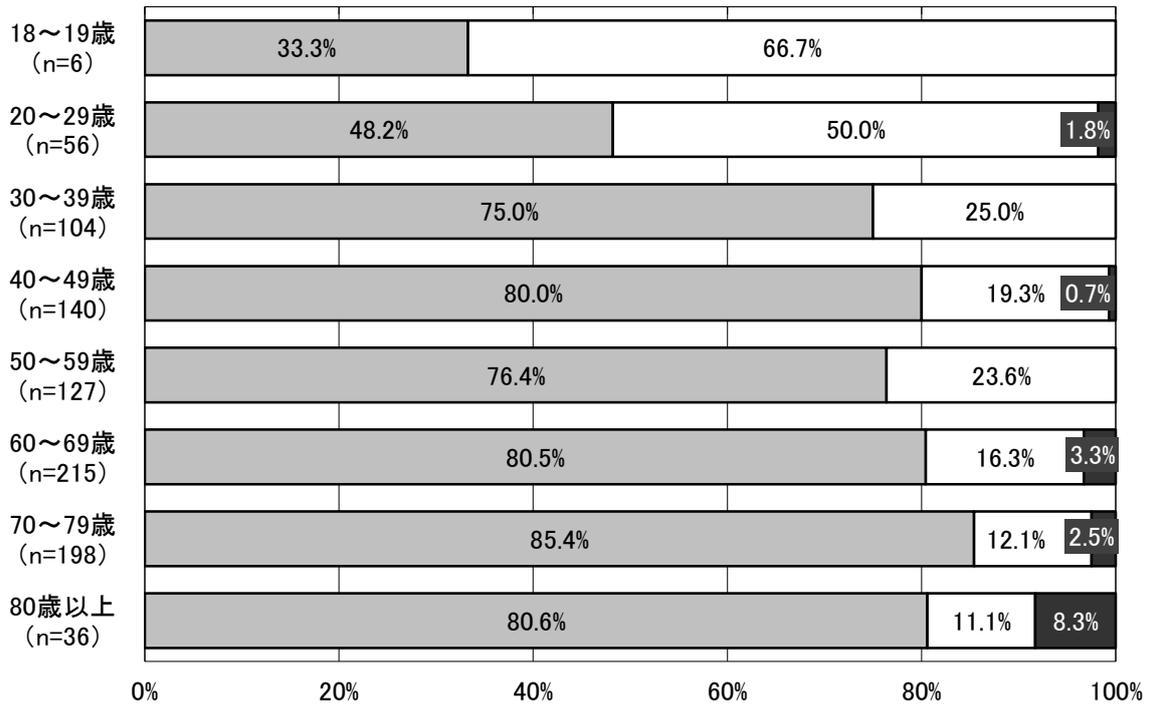
知っている
 なんとなく知っている
 知らない
 不明

<年代別>



■ はい □ いいえ ■ 不明

<年代別>



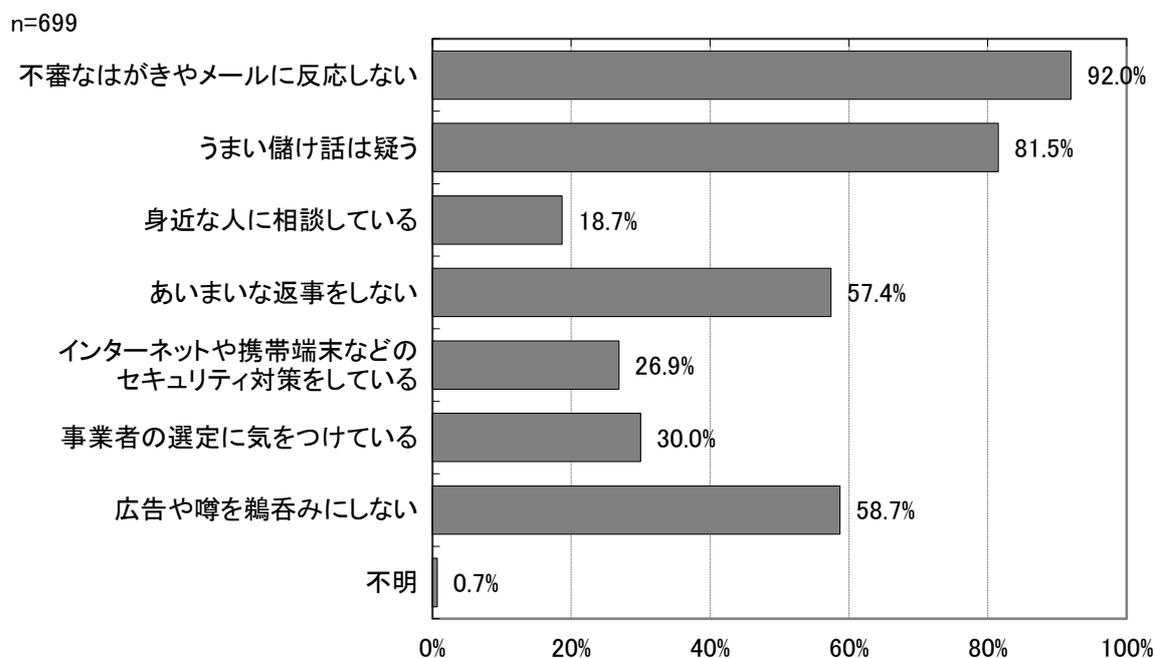
問 25-1 悪質商法の被害にあわないために気をつけている事柄

問 25-1 問 25 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。

悪質商法の被害にあわないために日頃から気をつけていることは何ですか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|---------------------|-------------------------------------|
| 1. 不審なはがきやメールに反応しない | 5. インターネットや携帯端末などの
セキュリティ対策をしている |
| 2. うまい儲け話は疑う | 6. 事業者の選定に気をつけている |
| 3. 身近な人に相談している | 7. 広告や噂を鵜呑みにしない |
| 4. あいまいな返事をしない | |

問 25 で「はい」を選択した 699 人について、悪質商法の被害にあわないために気をつけていることは、「不審なはがきやメールに反応しない」が 92.0%で最も高く、次いで「うまい儲け話は疑う」(81.5%)、「広告や噂を鵜呑みにしない」(58.7%)「あいまいな返事をしない」(57.4%)の順となっている。



問 26 悪質商法の被害状況

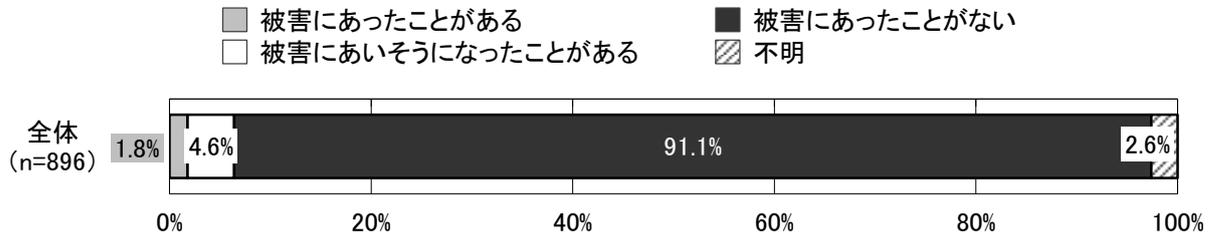
問 26 この3年間（平成 23～25 年）で悪質商法などの被害にあったことがありますか？つきからお選びください。

- 1. 被害にあったことがある
- 2. 被害にあいそうになったことがある
- 3. 被害にあったことがない

悪質商法の被害状況は、「被害にあったことがある」（1.8%）、「被害にあいそうになったことがある」（4.6%）、「被害にあったことがない」（91.1%）となっている。

性別にみると、「被害にあったことがある」が男性で1.5%、女性で2.1%となっている。

年代別でみると、「被害にあったことがある」は20歳以上で経験があり、80歳以上で2.8%と最も高くなっている。

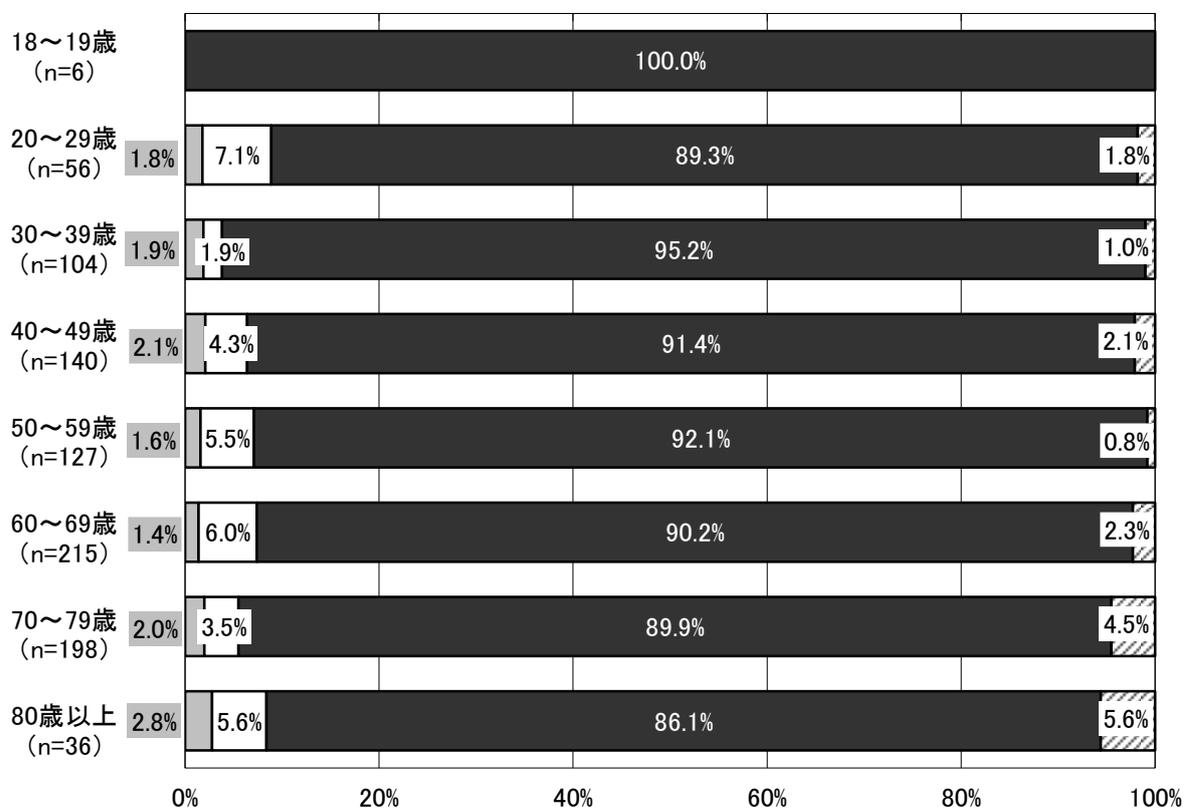


<性別>



被害にあったことがある
 被害にあったことがない
 被害にあいそうになったことがある
 不明

<年代別>



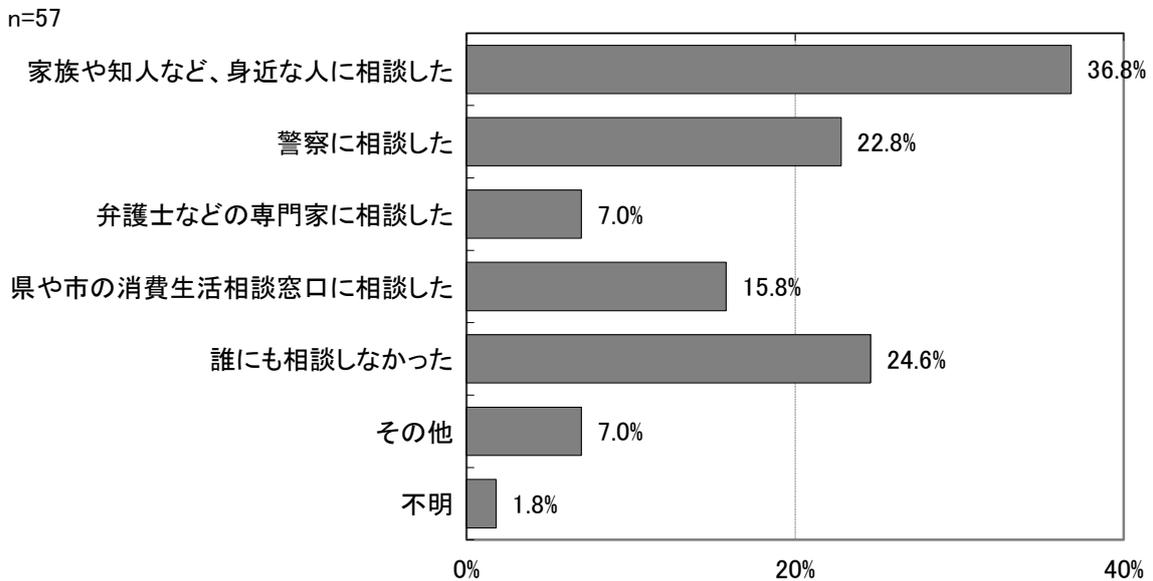
問 26-1 悪質商法への対応

問 26-1 問 26 で「1. 被害にあったことがある」または「2. 被害にあいそうになったことがある」を選んだ方のみお答えください。

その被害について、誰かに相談したりしましたか？あてはまるものをすべてお選びください。その他の場合は、具体的に記載してください。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 家族や知人など、身近な人に相談した | 4. 県や市の消費生活相談窓口相談した |
| 2. 警察に相談した | 5. 誰にも相談しなかった |
| 3. 弁護士などの専門家に相談した | 6. その他 () |

問 26 で「被害にあったことがある」、「被害にあいそうになったことがある」を選択した 57 人について、被害への対応は、「家族や知人など、身近な人に相談した」(36.8%)、「誰にも相談しなかった」(24.6%)、「警察に相談した」(22.8%) の順となっている。



その他：「インターネットで調べた」

6. 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会について

問 27 国民体育大会の認知度

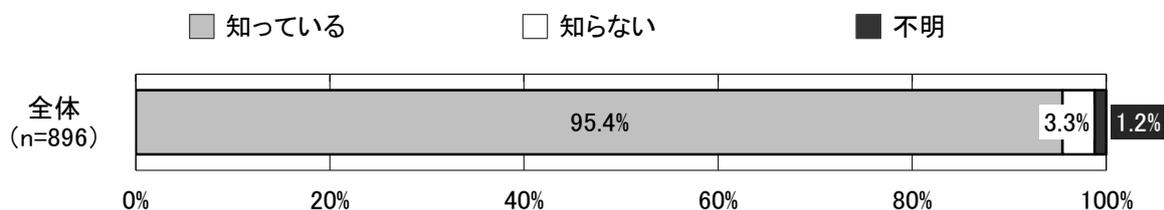
問 27 あなたは、2015 年（平成 27 年）に和歌山県において、第 70 回国民体育大会（紀の国わかやま国体）が開催されるのを知っていますか？

1. 知っている 2. 知らない

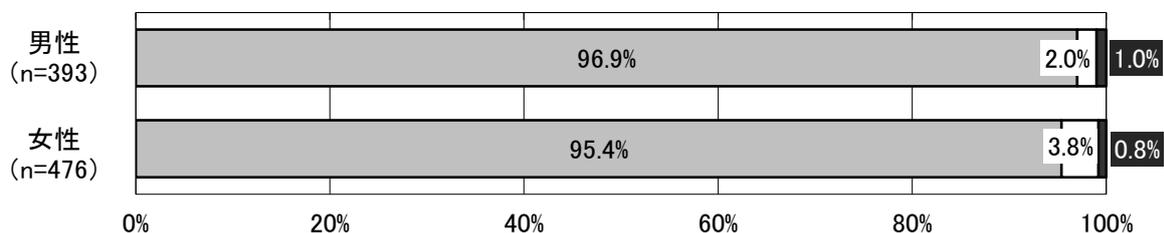
国民体育大会については、「知っている」が 95.4%、「知らない」が 3.3%となっている。

性別では、「知っている」は男性が 96.9%、女性が 95.4%となっており、性別による大きな差はみられない。

年代別では、「知っている」は 50～59 歳が 100%と最も高く、20 歳から 79 歳までが 90%を超えている。

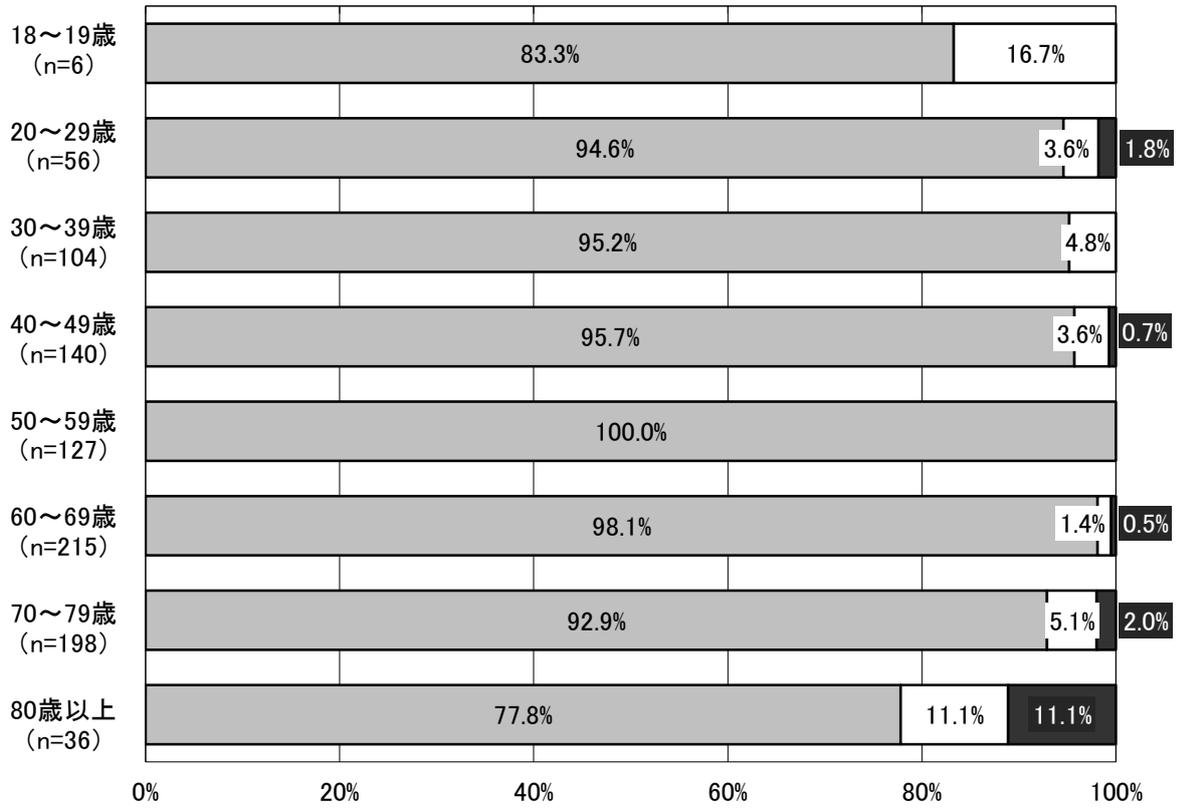


<性別>



■ 知っている □ 知らない ■ 不明

<年代別>

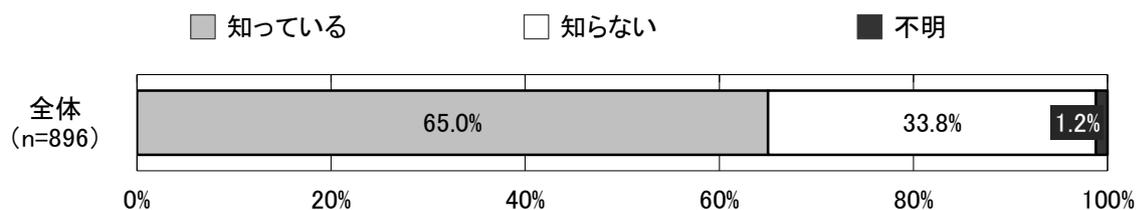


問 28 全国障害者スポーツ大会の認知度

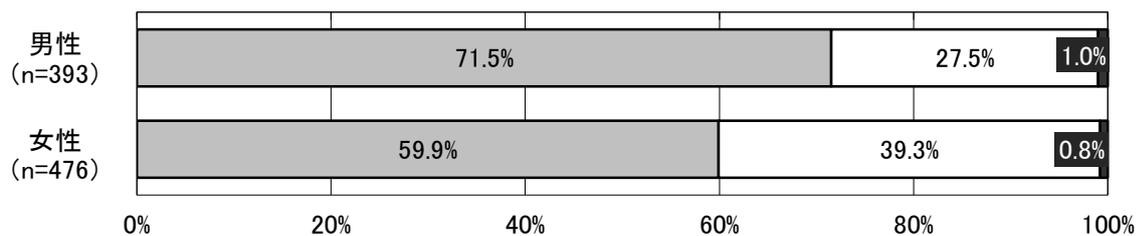
問 28 紀の国わかやま国体終了後に、引き続き第 15 回全国障害者スポーツ大会（紀の国わかやま大会）が開催されるのを知っていますか？

1. 知っている 2. 知らない

全国障害者スポーツ大会については、「知っている」が 65.0%、知らないが 33.8%となっている。性別では、「知っている」は男性が 71.5%、女性が 59.9%で男性が 11.6 ポイント上回っている。年代別では、「知っている」は 50～59 歳が 70.9%で最も高く、20～29 歳が 53.6%で最も低くなっている。

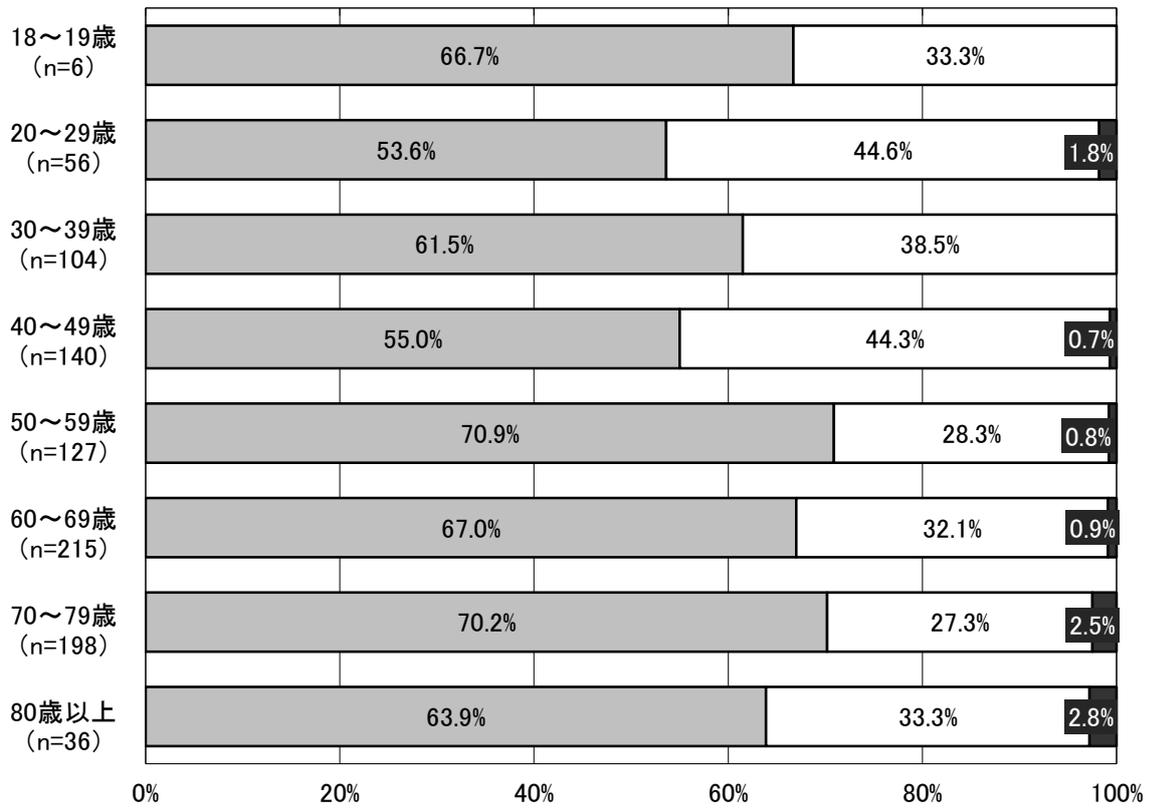


<性別>



■ 知っている □ 知らない ■ 不明

<年代別>



問 29 ボランティア活動への参加の意向

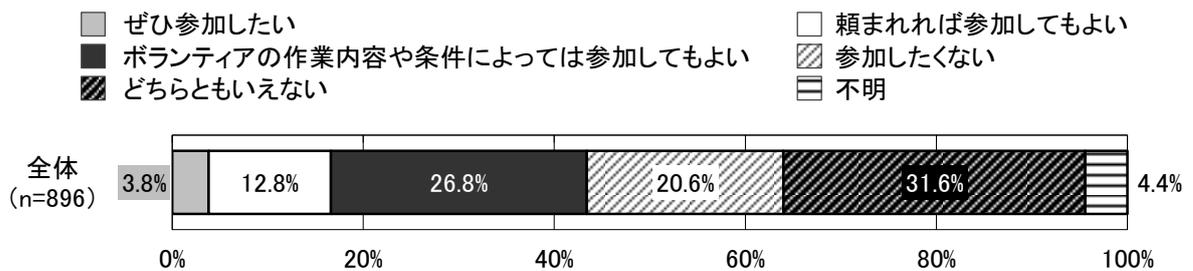
問 29 県外から来られた選手たちを温かくおもてなしするために、多くのボランティアが必要となります。あなたは、ボランティア活動に参加されることについてどう考えますか？

- 1. ぜひ参加したい
- 2. 頼まれれば参加してもよい
- 3. ボランティアの作業内容や条件によっては参加してもよい
- 4. 参加したくない
- 5. どちらともいえない

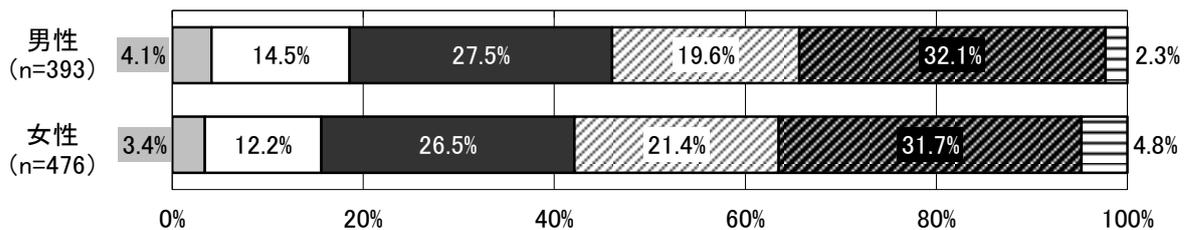
ボランティア活動への参加については、「ぜひ参加したい」(3.8%)、「頼まれれば参加してもよい」(12.8%)、「ボランティアの作業内容や条件によっては参加してもよい」(26.8%)を合わせた43.4%が参加意向があり、「参加したくない」は20.6%となっている。

性別でみると、参加意向は男性が46.1%、女性が42.1%となっている。

年代別でみると、参加意向は40～49歳(52.2%)と20～29歳(50.0%)が50%以上となっている。

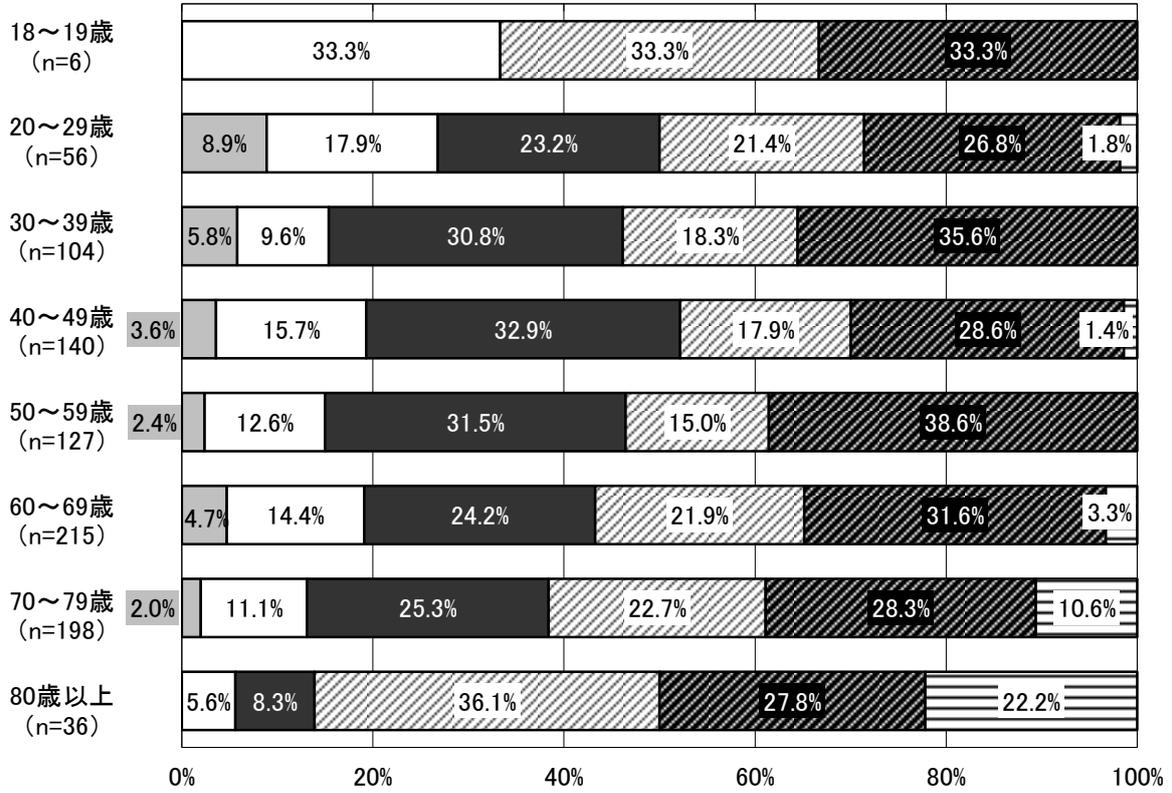


<性別>



- ぜひ参加したい
- ボランティアの作業内容や条件によっては参加してもよい
- どちらともいえない
- 頼まれれば参加してもよい
- ▨ 参加したくない
- ▤ 不明

<年代別>



7. 男女共生について

問 30 「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方について

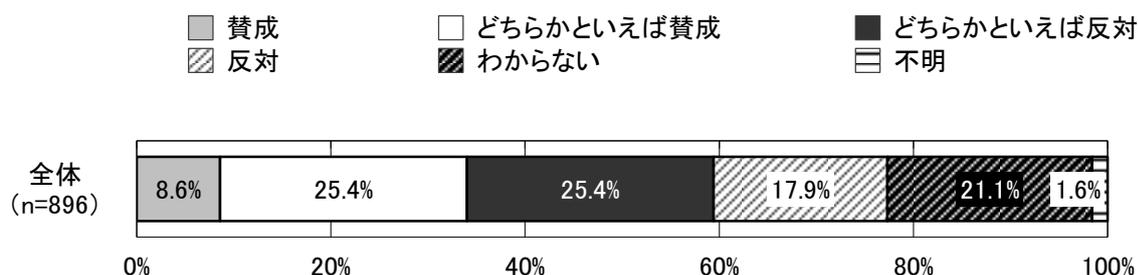
問 30 あなたは、「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方についてどのように思いますか？つぎの中から1つお選びください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 賛成 | 3. どちらかといえば反対 |
| 2. どちらかといえば賛成 | 4. 反対 |
| | 5. わからない |

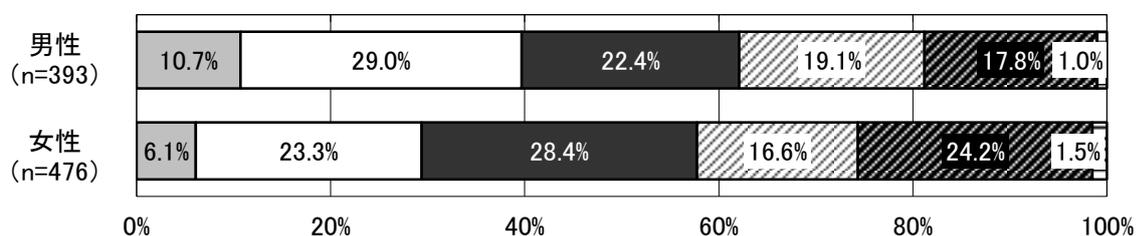
「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方について、「賛成」(8.6%)、「どちらかといえば賛成」(25.4%)をあわせた賛成計は34.0%、「どちらかといえば反対」(25.4%)、「反対」(17.9%)を合わせた反対計は43.3%となっている。

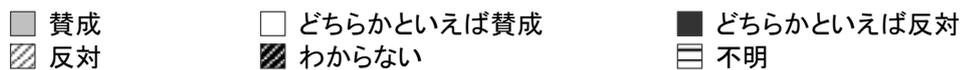
性別にみると、賛成計は男性が39.7%、女性が29.4%で男性が10.3ポイント上回っている。

年代別にみると、60歳代以下は反対計が賛成計を上回っているが、70歳代以上は賛成計が反対計を上回っている。

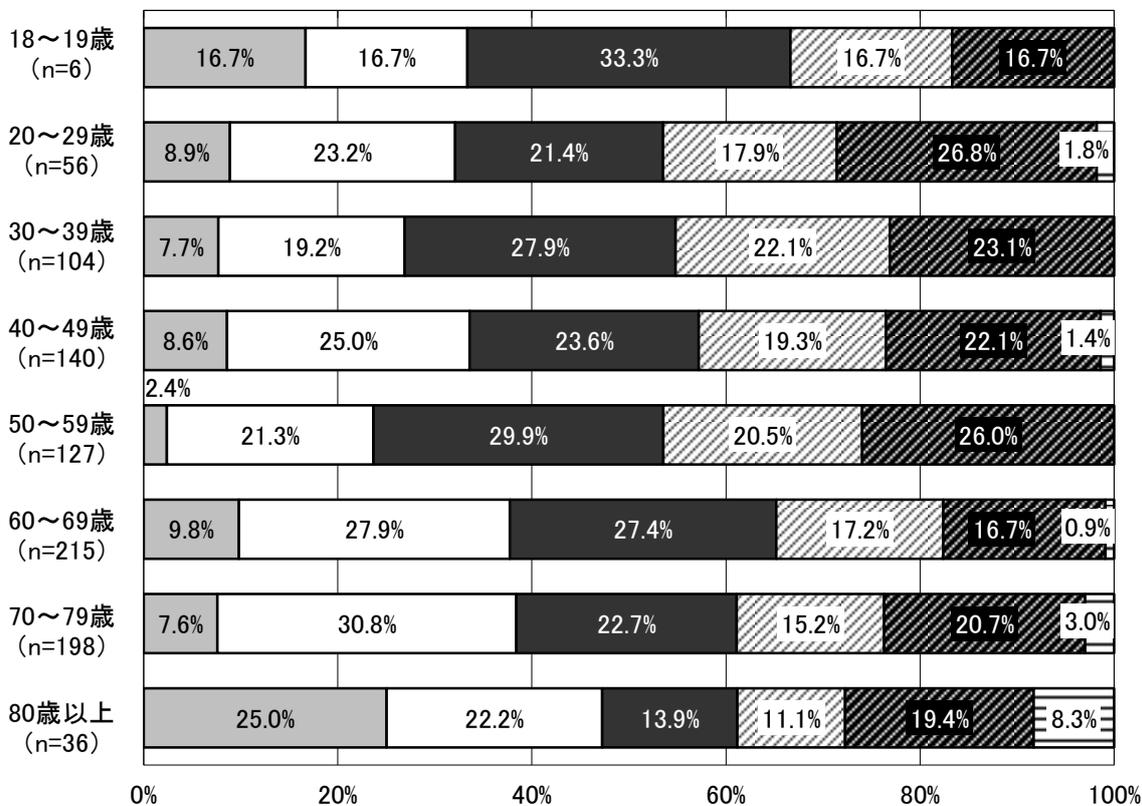


<性別>





<年代別>



8. 健康について

問 31 健康状態

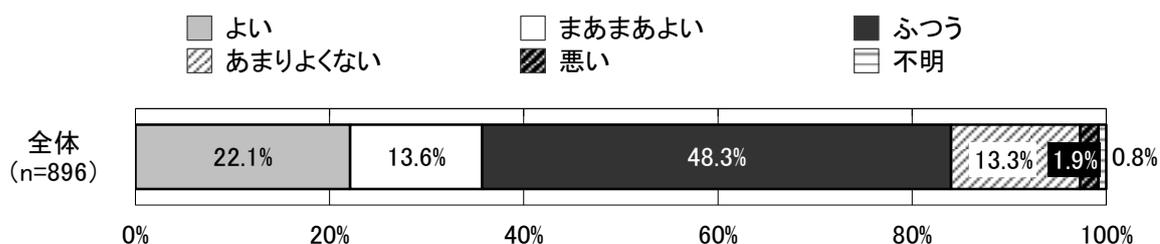
問 31 あなたの健康状態はいかがですか？

- | | | |
|-----------|--------|------------|
| 1. よい | 3. ふつう | 4. あまりよくない |
| 2. まあまあよい | 5. 悪い | |

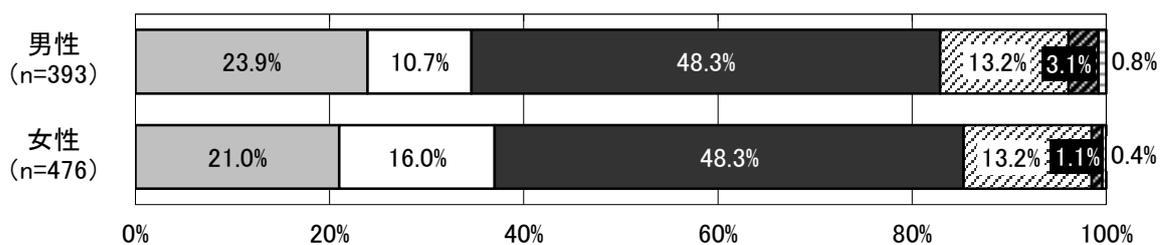
健康状態は、「よい」(22.1%)と「まあまあよい」(13.6%)を合わせたよい計は35.7%、「あまりよくない」(13.3%)と「悪い」(1.9%)を合わせた悪い計は15.2%、「ふつう」は48.3%となっている。

性別による大きな差はみられない。

年代別にみると、「よい」と「まあまあよい」を合わせたよい計は18~19歳(66.7%)が最も高く、「あまりよくない」と「悪い」を合わせた悪い計は80歳以上が30.6%と最も高くなっている。

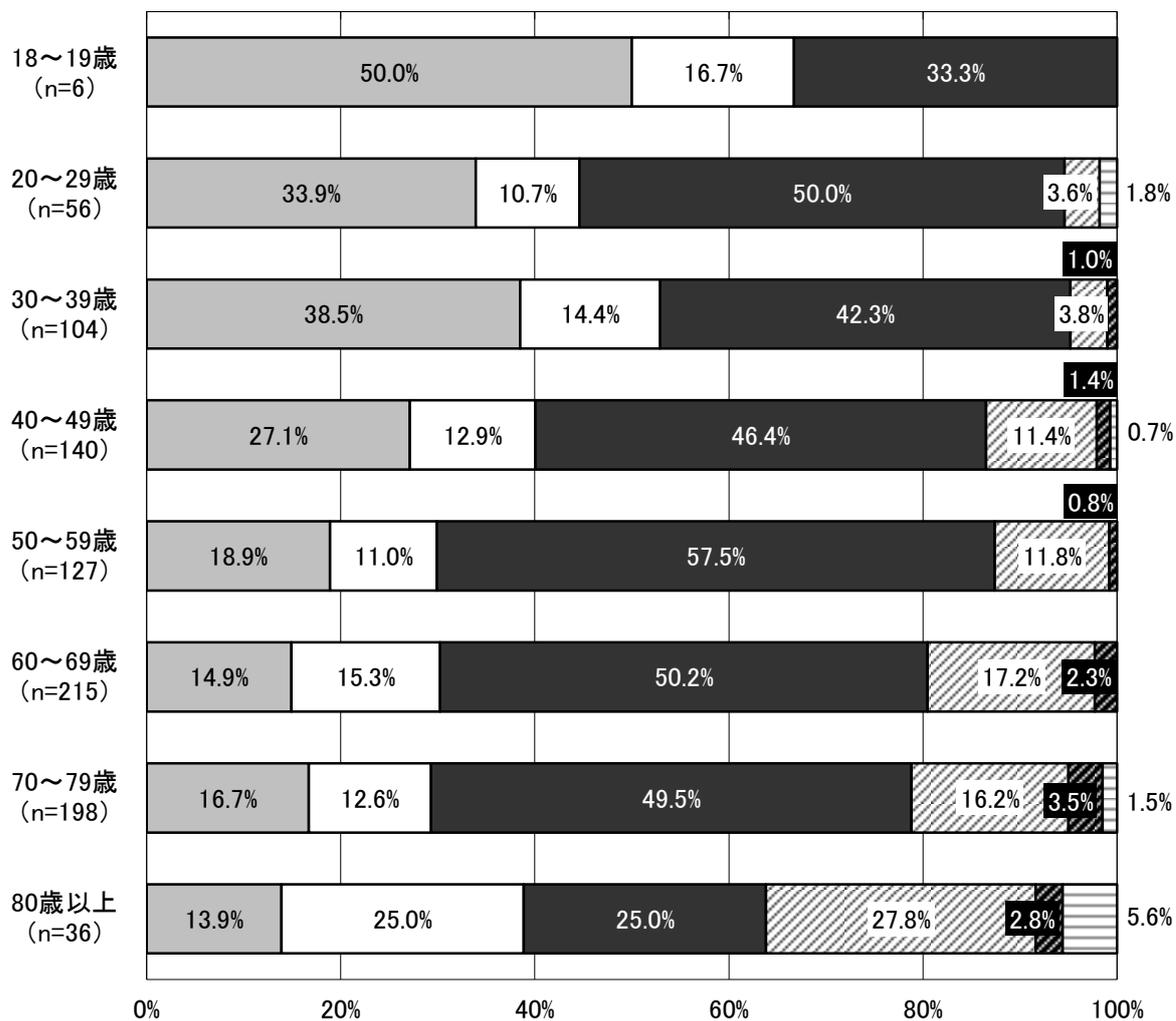


<性別>





<年代別>



問 32 健康づくりへの意識的な取組

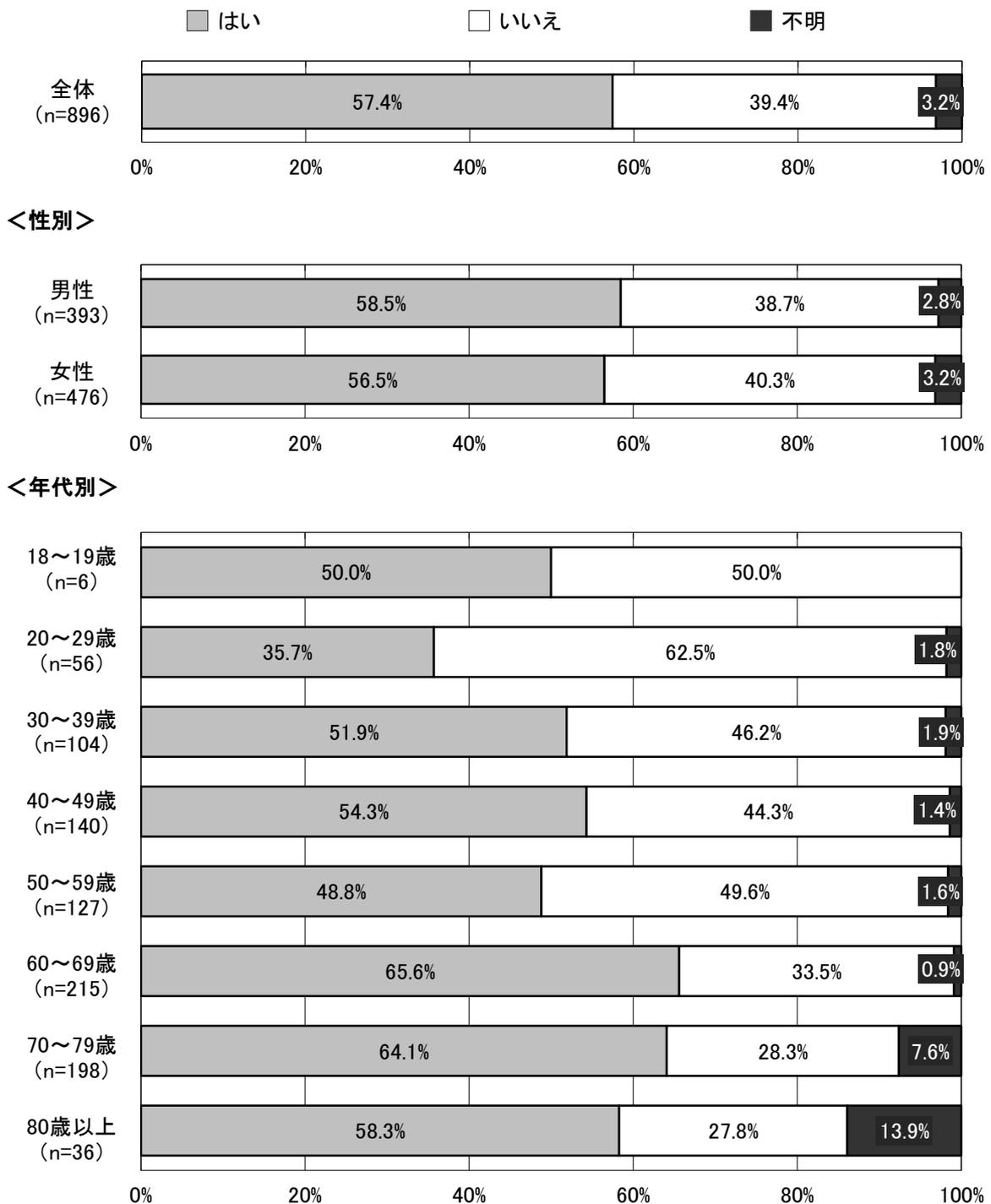
問 32 あなたは、意識的に健康づくりに取り組んでいますか？

1. はい 2. いいえ

意識的に健康づくりに取り組んでいるかどうかについては、「はい」が57.4%、「いいえ」が39.4%となっている。

性別にみると、「はい」は男性が58.5%、女性が56.5%となっている。

年代別にみると、「はい」は60～69歳が65.6%と最も高く、20～29歳が35.7%で最も低くなっている。



問 33 飲酒状況

問 33～問 34－2 までは 20 歳以上の方のみお答えください

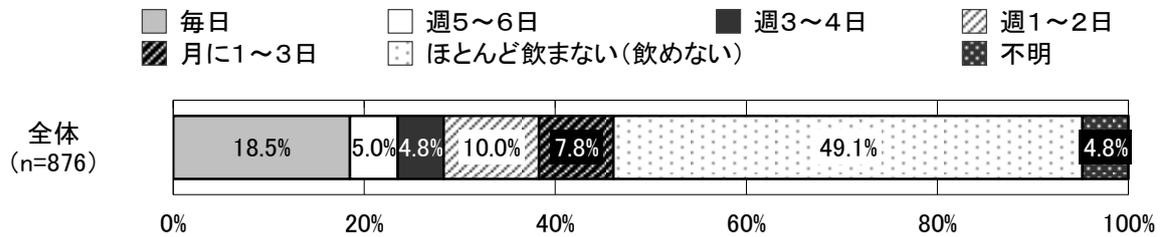
問 33 あなたは週に何日位お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲みますか？

- 1. 毎日
- 2. 週 5～6 日
- 3. 週 3～4 日
- 4. 週 1～2 日
- 5. 月に 1～3 日
- 6. ほとんど飲まない（飲めない）

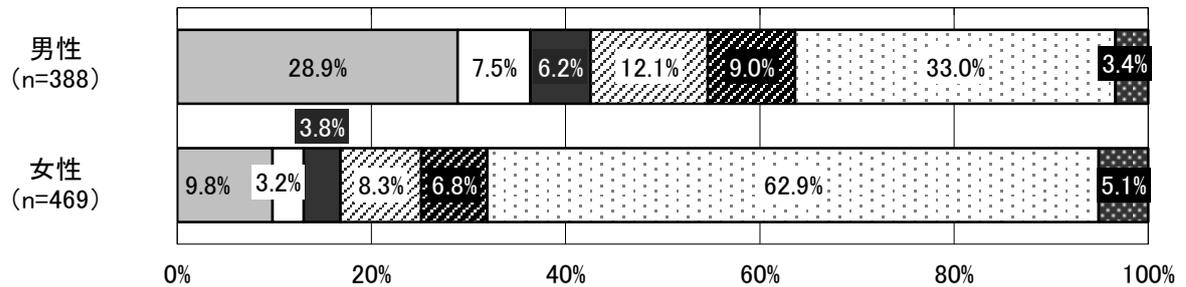
飲酒頻度は、「ほとんど飲まない（飲めない）」が 49.1%で最も高く、次いで「毎日」が 18.5%、「週 1～2 日」10.0%、「月に 1～3 日」が 7.8%となっている。

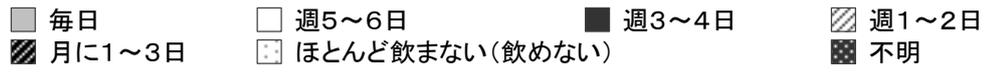
性別にみると、「毎日」は男性が 28.9%、女性が 9.8%で男性が 19.1 ポイント上回っている。

年代別にみると、「毎日」は 50～59 歳が 28.3%で最も高く、20～29 歳は 0%となっている。

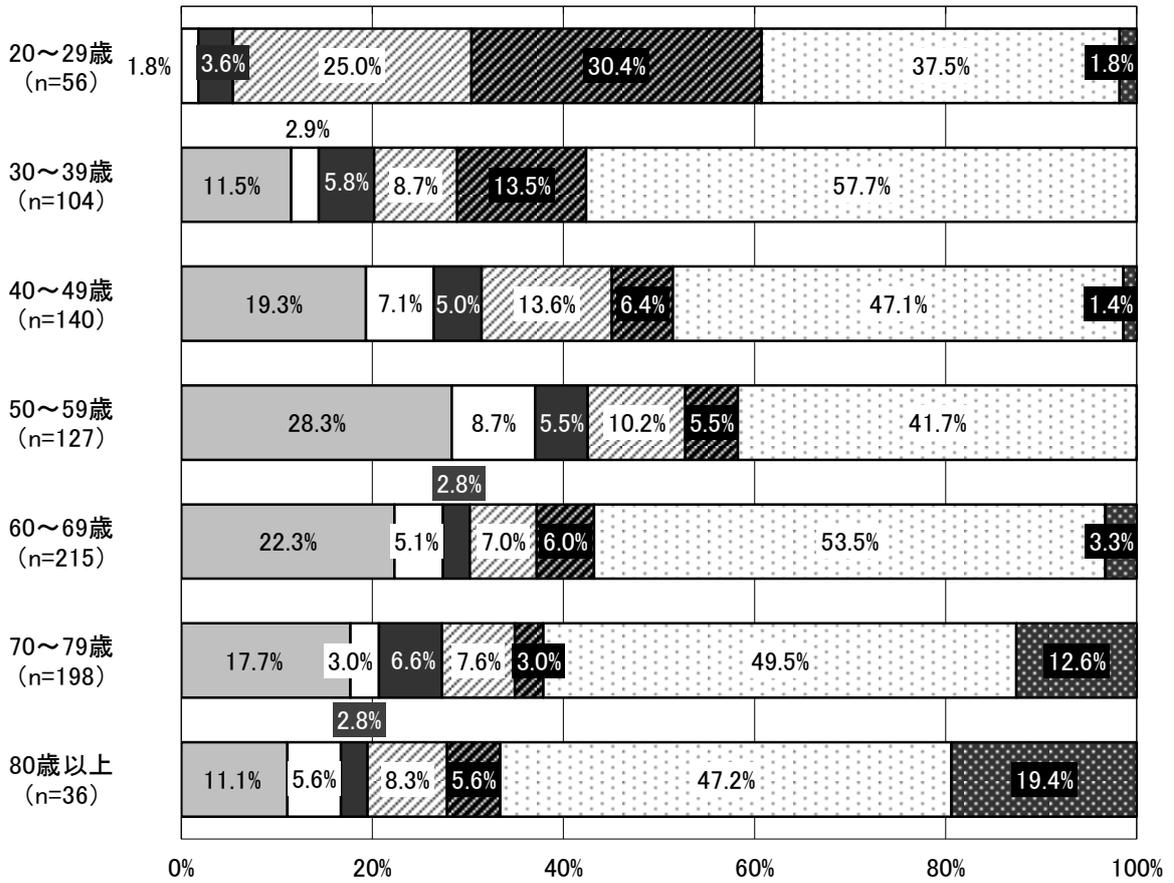


<性別>





<年代別>



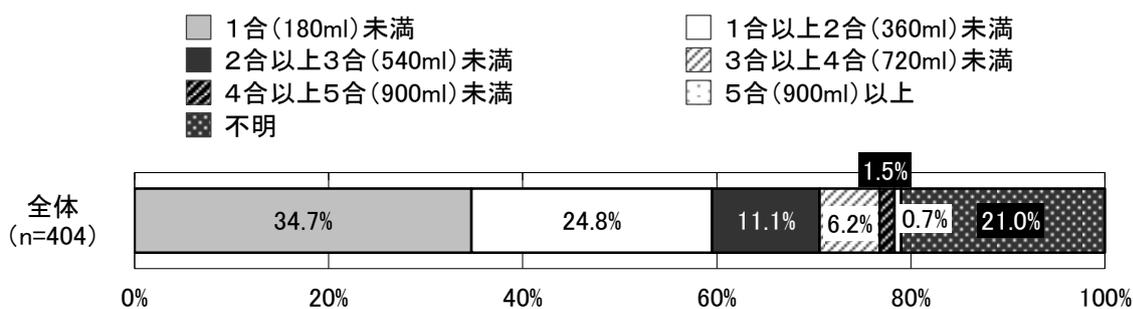
問 33-1 飲酒量

問 33-1 問 33 で「6. ほとんど飲まない（飲めない）」以外を回答された方のみお答えください。
 お酒を飲む日は1日あたり、どれくらいの量を飲みますか。清酒に換算し、あてはまるものを1つお選
 びください。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 1合（180ml）未満 | 4. 3合以上4合（720ml）未満 |
| 2. 1合以上2合（360ml）未満 | 5. 4合以上5合（900ml）未満 |
| 3. 2合以上3合（540ml）未満 | 6. 5合（900ml）以上 |

※ 清酒1合（180ml）は、つぎの量にほぼ相当します。
 ビール・発泡酒中瓶1本（約500ml）、焼酎20度（135ml）、焼酎25度（110ml）、焼酎35度（80ml）
 チュウハイ7度（350ml）、ウイスキーダブル1杯（60ml）ワイン2杯（240ml）

問 33 で「ほとんど飲まない（飲めない）」以外を回答した404人のうち、飲酒量は、「1合（180ml）
 未満」が34.7%で最も高く、次いで「1合以上2合（360ml）未満」（24.8%）、「2合以上3合（540ml）
 未満」（11.1%）となっている。



問 34 喫煙状況

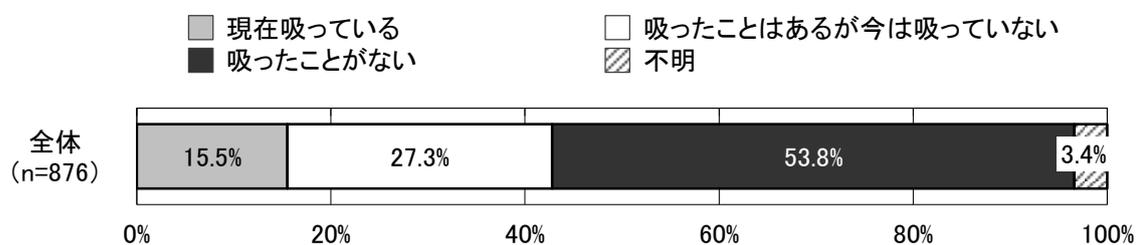
問 34 あなたは、タバコを吸っていますか？

1. 現在吸っている
2. 吸ったことはあるが今は吸っていない
3. 吸ったことがない

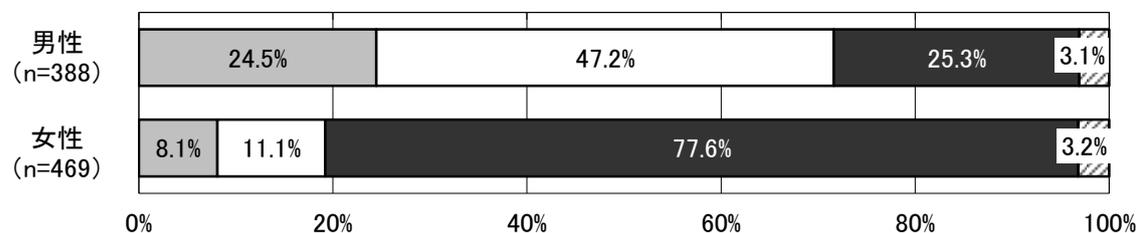
喫煙状況は、「現在吸っている」が15.5%、「吸ったことはあるが今は吸っていない」が27.3%、「吸ったことがない」が53.8%となっている。

性別にみると、「現在吸っている」は男性が24.5%、女性が8.1%で男性が16.4ポイント上回っている。

年代別にみると、「現在吸っている」は50～59歳が22.0%で最も高く、「吸ったことはあるが今は吸っていない」は70～79歳が32.3%で最も高くなっている。

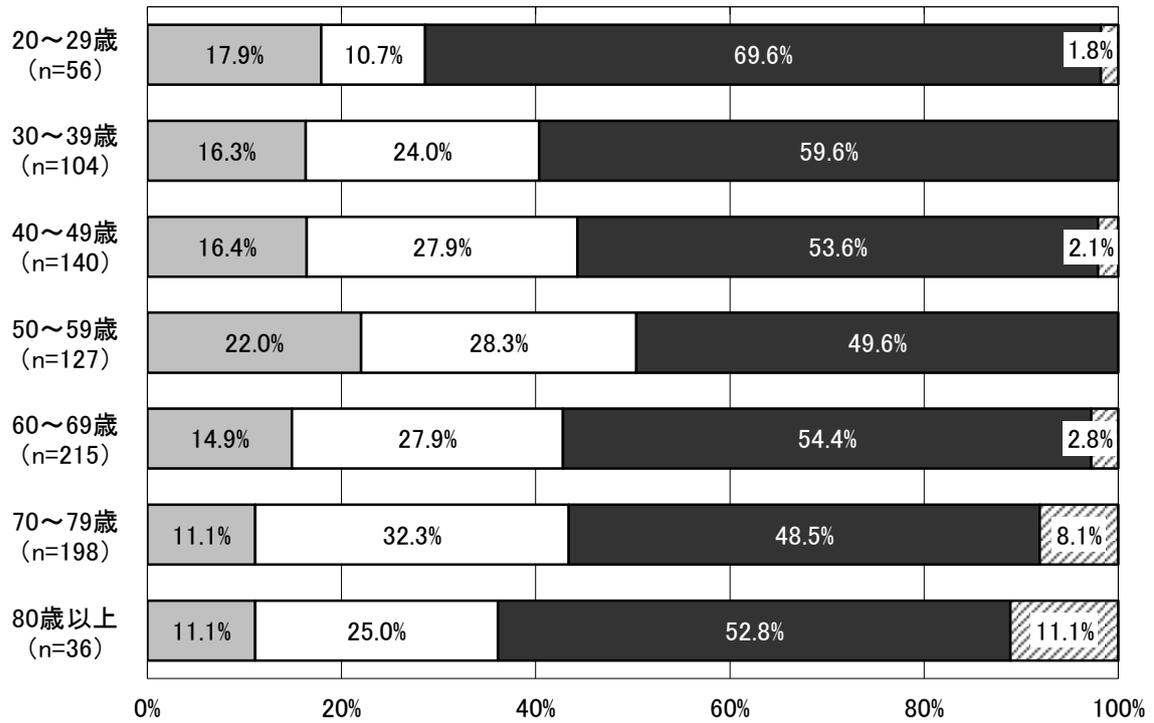


<性別>



現在吸っている
 吸ったことはあるが今は吸っていない
 吸ったことがない
 不明

<年代別>



問 34-1 喫煙本数・喫煙期間

問 34-1 問 34 で「1. 現在吸っている」又は「2. 吸ったことはあるが今は吸っていない」と回答された方のみお答えください。

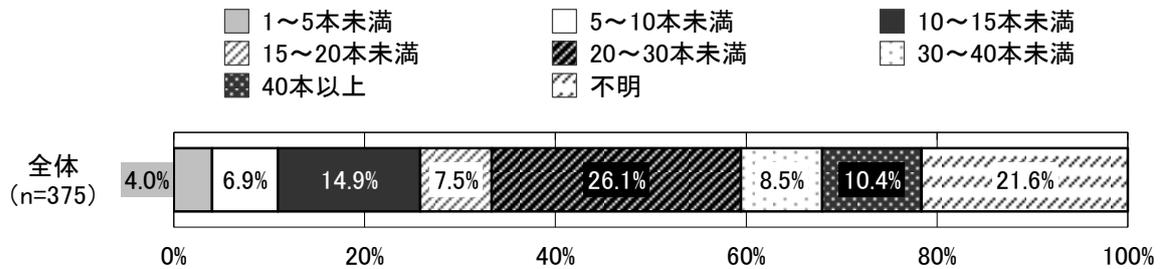
「一日の平均喫煙本数」は何本ですか () 本

「喫煙期間」は何年ですか () 年

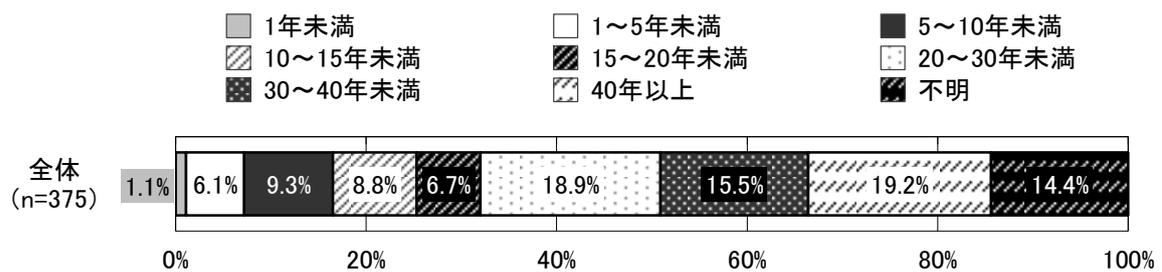
問 34 で「現在吸っている」または「吸ったことはあるが今は吸っていない」と回答した 375 人のうち、一日の平均喫煙本数は「20～30 本未満」(26.1%) が最も高く、次いで「10～15 本未満」(14.9%) となっている。

喫煙期間は「40 年以上」が 19.2% と最も高く、次いで「20～30 年未満」(18.9%)、「30～40 年未満」(15.5%) となっている。

【一日の平均喫煙本数】



【喫煙期間】



問 34-2 喫煙をやめない理由

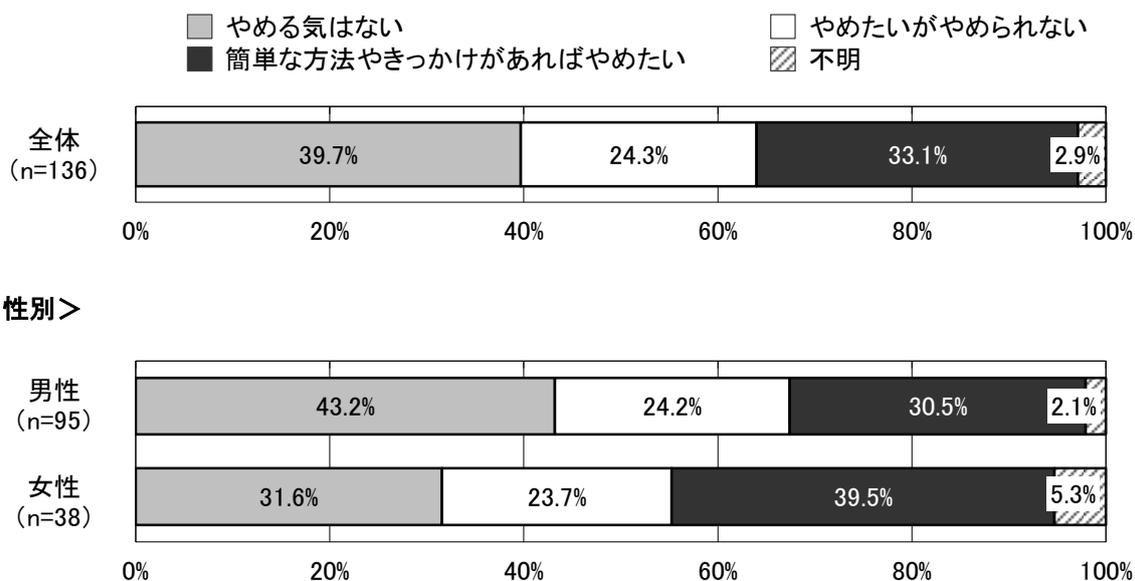
問 34-2 問 34 で「1. 現在吸っている」と回答された方のみお答えください。
最もあてはまるものを1つお選びください。

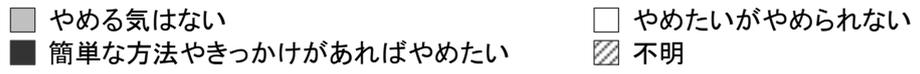
1. やめる気はない
2. やめたいがやめられない
3. 簡単な方法やきっかけがあればやめたい

問 34 で「現在吸っている」と回答した 136 人について、「やめる気はない」が 39.7%と最も高く、次いで「簡単な方法やきっかけがあればやめたい」(33.1%)、「やめたいがやめられない」(24.3%)の順となっている。

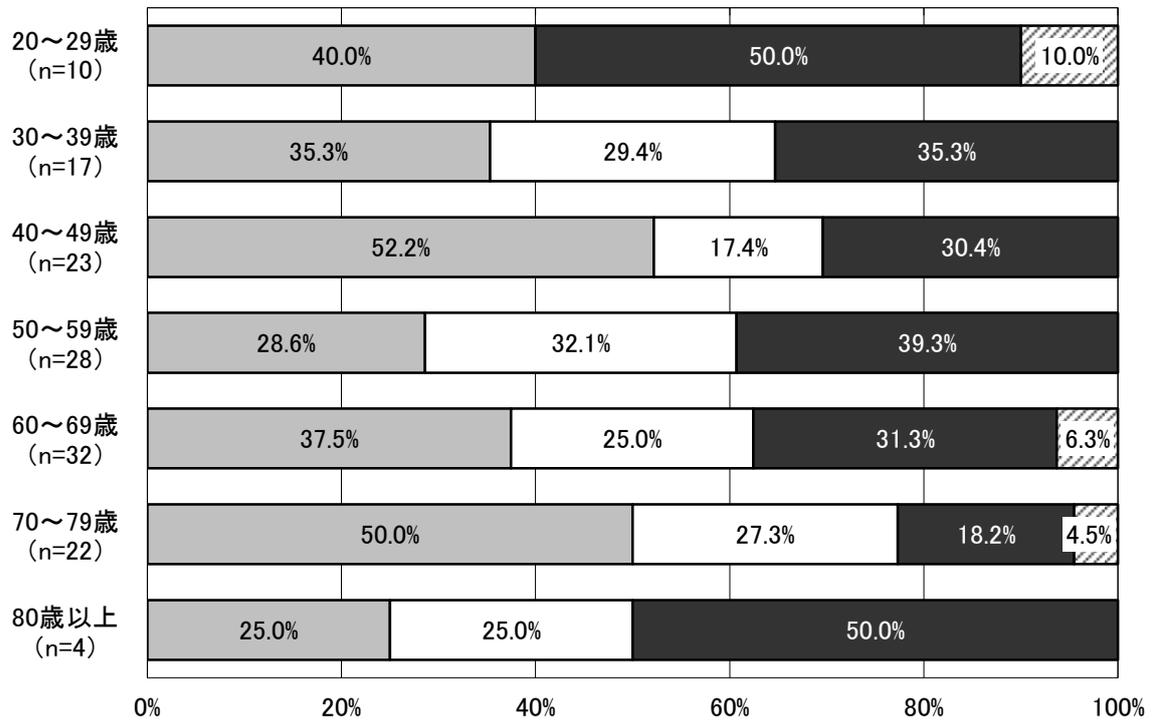
性別にみると、「やめる気はない」は男性が 43.2%、女性 31.6%と、男性が 11.6 ポイント上回っている。

年代別にみると、20～29 歳と 80 歳以上は「簡単な方法やきっかけがあればやめたい」が 50.0%と他の項目より高く、40～49 歳と 70～79 歳は、「やめる気はない」が 50%以上となっている。





<年代別>

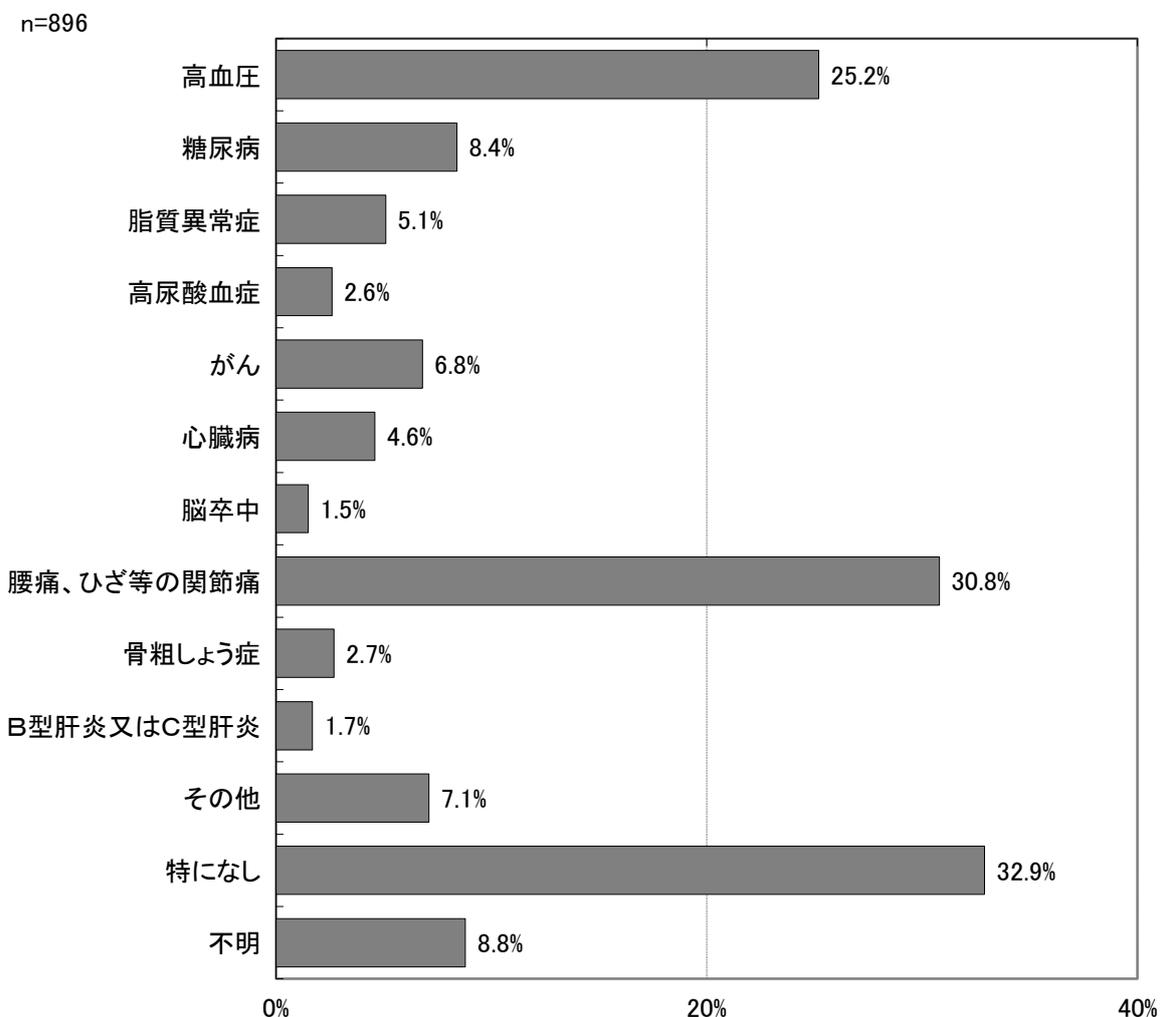


問 35 病気・症状について

問 35 あなたは、つぎの病気・症状の中で、今までにかかった、又は今かかっているものはありますか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | | |
|----------|---------------|----------------|
| 1. 高血圧 | 5. がん | 9. 骨粗しょう症 |
| 2. 糖尿病 | 6. 心臓病 | 10. B型肝炎又はC型肝炎 |
| 3. 脂質異常症 | 7. 脳卒中 | 11. その他 () |
| 4. 高尿酸血症 | 8. 腰痛、ひざ等の関節痛 | 12. 特になし |

今までにかかった、またはかかっている病気・症状については、「特になし」が 32.9%と最も高い。次いで、「腰痛、ひざ等の関節痛」(30.8%)、「高血圧」(25.2%) の順となっている。その他の病気・症状で 10%を超えるものはない。



その他：「胃潰瘍」、「喘息」、「ヘルニア」、「メニエール病」など

問 36 がん検診について

問 36 あなたは、つぎの①～⑤のがん検診を受診されていますか。それぞれのがん検診について、1～7の中からあてはまるものを1つずつ選んで数字を○で囲んでください。また、「5. その他」と回答された方はどのような機会を利用してがん検診を受診しているかその他の内容欄にお答えください。

- | | | | | | | | | | |
|-------------------|-----------------|-----------------|--|---------------------------|--|------------------------|--|--------|-----------------|
| ①胃がん | | ②肺がん | | ③大腸がん | | ④子宮頸がん | | ⑤乳がん | |
| 1. 職場の健康診断で受診している | | 2. 人間ドックで受診している | | 3. 和歌山市のがん検診制度を利用して受診している | | 4. 自覚症状があり、検査として受診している | | 5. その他 | 6. 定期的には受診していない |
| | 7. 一度も受診したことがない | | | | | | | | |

※ 定期的な検診とは、「胃がん・肺がん・大腸がん」は1年に1回、「子宮頸がん・乳がん」は2年に1回の検診を受けることです。

がん検診の受診状況は「定期的に健診している」は大きな差はみられないが、「一度も受診したことがない」は肺がんが36.8%で最も高く、次いで「大腸がん」(35.3%)となっている。子宮頸がんは23.1%で最も低くなっている。

定期的な健診は、胃がん、肺がん、大腸がんは「職場の健康診断で受診している」が最も高く、子宮頸がん、乳がんは「和歌山市のがん検診制度を利用して受診している」が最も高い。

	回答数	定期的に健診している	職場の健康診断で	人間ドックで受診	和歌山市のがん検	自覚症状があり、検査として受診し	その他	定期的に受診して	一度も受診したこと	不明
			受診している	している	診制度を利用して	ている				
胃がん	896	31.6%	11.8%	6.9%	5.4%	3.7%	3.8%	16.1%	33.7%	18.6%
肺がん	896	28.0%	14.7%	5.8%	5.0%	0.7%	1.8%	11.0%	36.8%	24.1%
大腸がん	896	28.2%	10.6%	5.6%	5.4%	2.6%	4.1%	14.7%	35.3%	21.8%
子宮頸がん	476	30.9%	3.6%	3.6%	14.5%	2.3%	6.9%	21.0%	23.1%	25.0%
乳がん	476	29.0%	4.6%	4.8%	13.0%	2.9%	3.6%	18.1%	29.6%	23.3%

胃がんその他：「個別医院で検診」、「かかりつけの病院で定期的に受診している」など

肺がんその他：「かかりつけの診療所で検診」、「自主的に」など

大腸がんその他：「かかりつけ医で受診」、「自覚症状はないが、検査する時がある」など

子宮頸がんその他：「妊娠時の定期検診」、「子宮全摘後は受けていません」、「前歴があるので(婦人病)定期的に実施」など

乳がんその他：「かかりつけ医で定期的に検診している」、「術後の治療として受診している」など

問 37 「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」の認知度

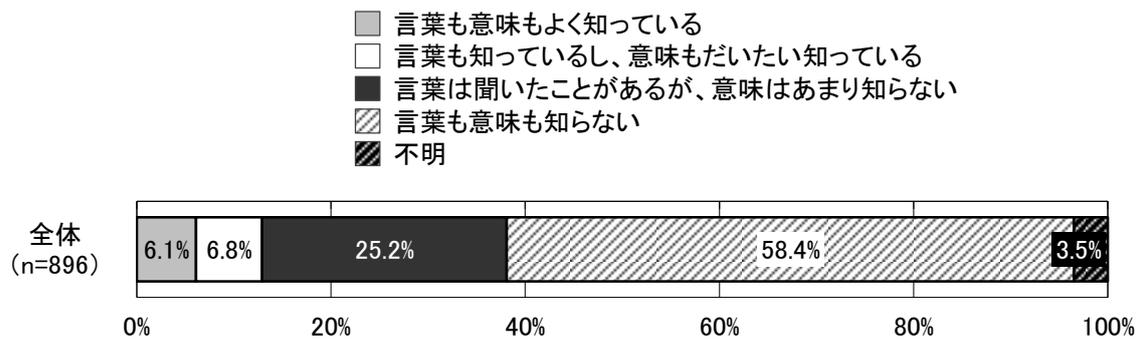
問 37 あなたは、「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」という病気を知っていますか？

1. 言葉も意味もよく知っている
2. 言葉も知っているし、意味もだいたい知っている
3. 言葉は聞いたことがあるが、意味はあまり知らない
4. 言葉も意味も知らない

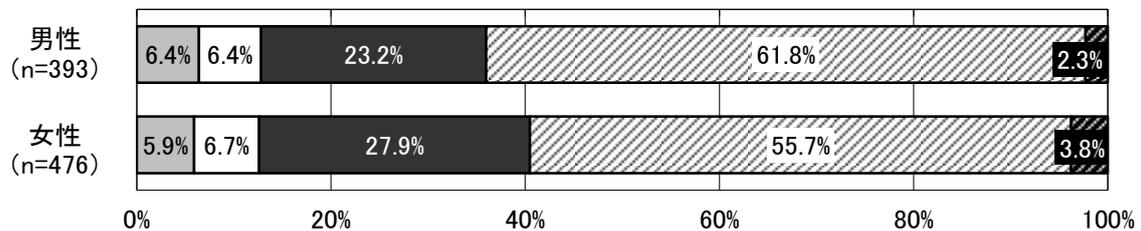
「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」については、「言葉も意味もよく知っている」(6.1%)と「言葉も知っているし、意味もだいたい知っている」(6.8%)を合わせた認知率は12.9%、「言葉は聞いたことがあるが、意味はあまり知らない」は25.2%、「言葉も意味も知らない」は58.4%となっている。

性別にみると、認知率は男性が12.8%、女性が12.6%となっている。

年代別にみると、認知率は30～39歳(21.1%)が20%を超え、他の年齢層よりやや高くなっている。

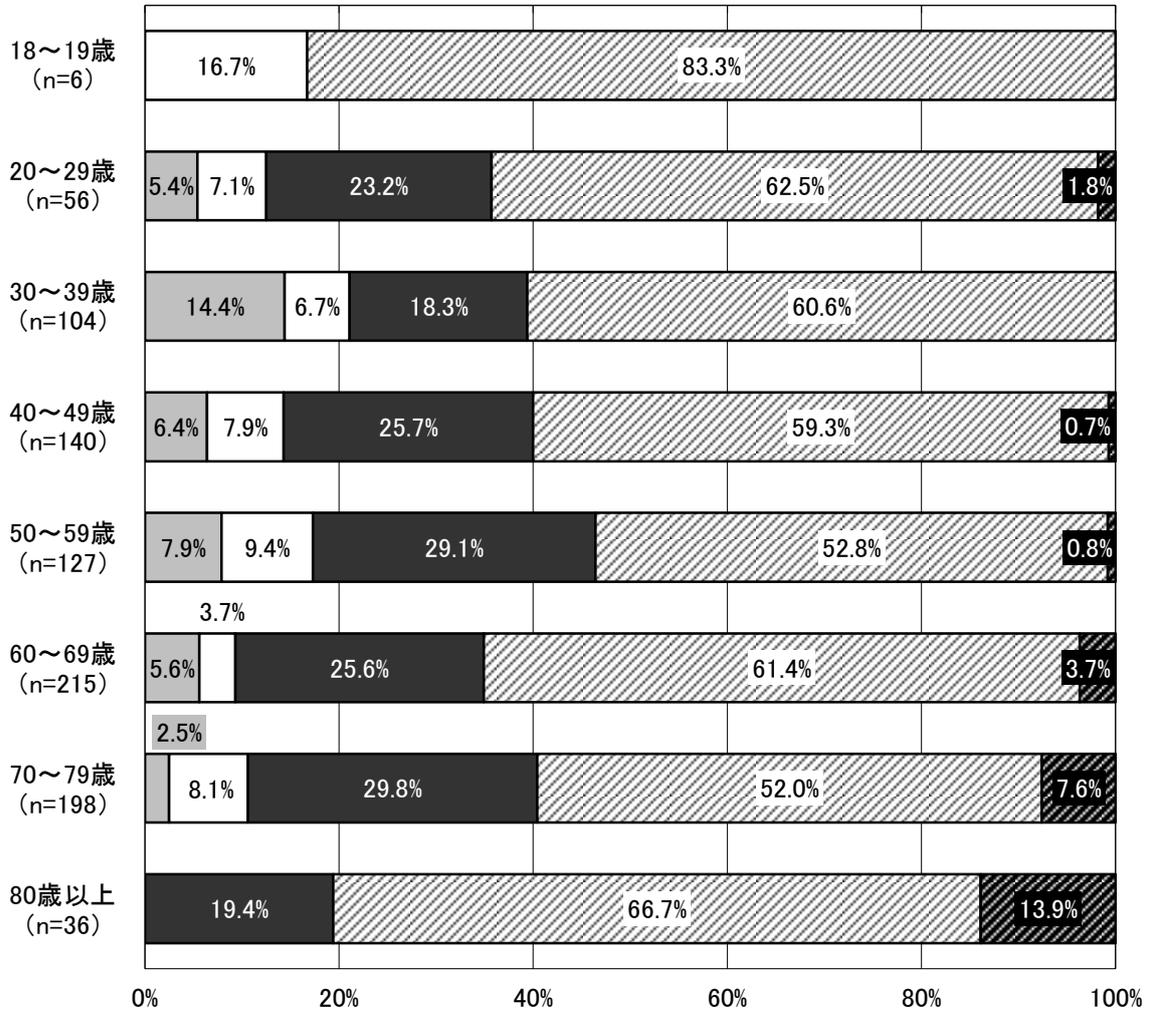


<性別>



- 言葉も意味もよく知っている
- 言葉も知っているし、意味もだいたい知っている
- 言葉は聞いたことがあるが、意味はあまり知らない
- ▨ 言葉も意味も知らない
- 不明

<年代別>



9. スポーツについて

問 38 週 1 回以上の運動やスポーツ

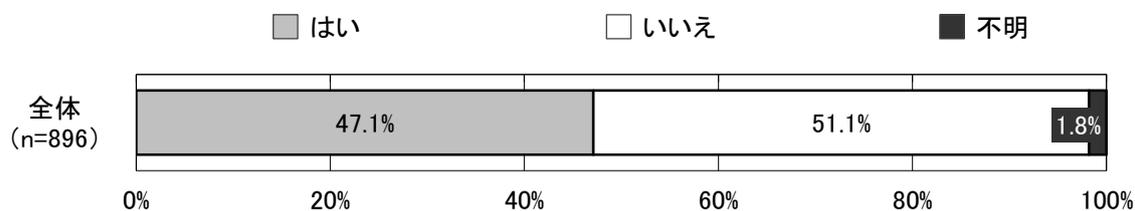
問 38 あなたは、週 1 回以上運動（ウォーキングや軽い体操などを含む）やスポーツをしていますか？

1. はい

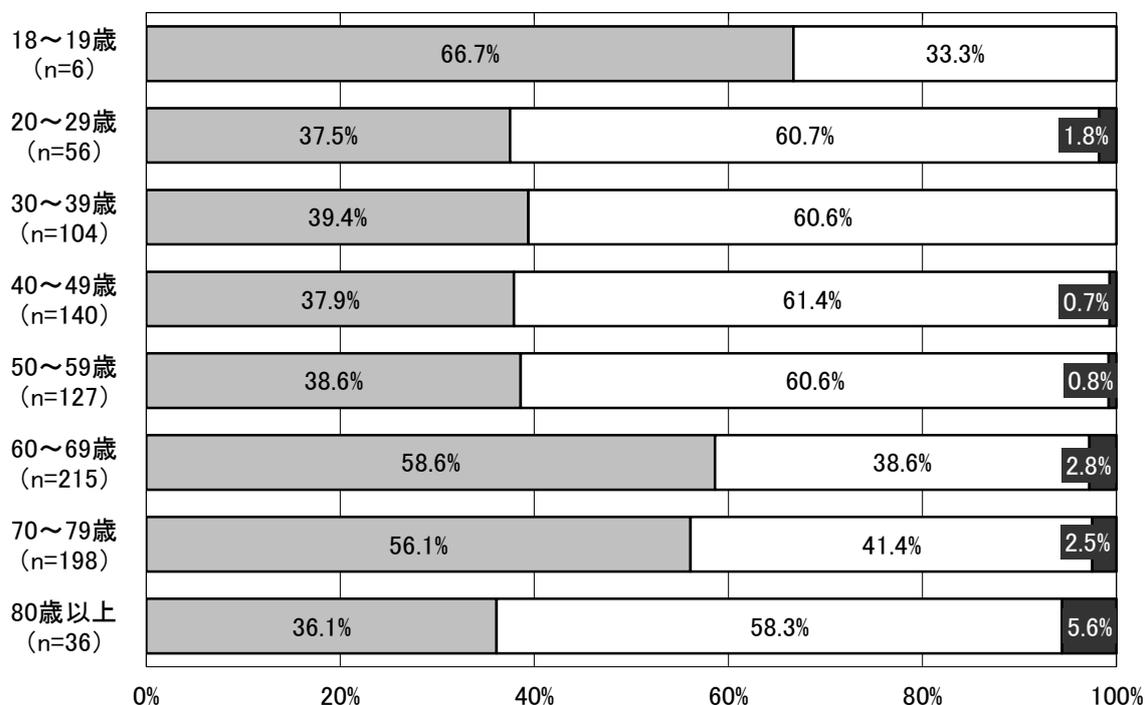
2. いいえ

週 1 回以上の運動やスポーツをしているかどうかについては、「はい」は 47.1%、「いいえ」は 51.1% となっている。

年代別にみると、「はい」の割合は 18～19 歳が 66.7%と最も高く、80 歳以上は 36.1%と最も低くなっている。



<年代別>



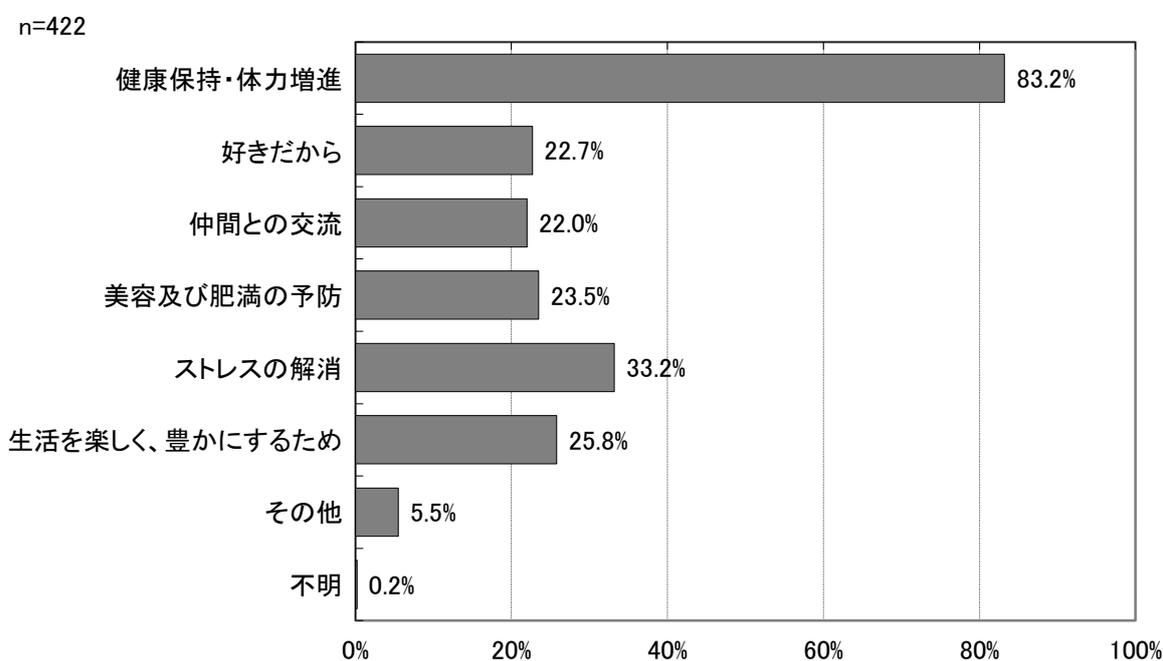
問 38-1 スポーツをしている理由

問 38-1 問 38 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。

運動やスポーツを行っている理由は何ですか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 健康保持・体力増進 | 5. ストレスの解消 |
| 2. 好きだから | 6. 生活を楽しく、豊かにするため |
| 3. 仲間との交流 | 7. その他 |
| 4. 美容及び肥満の予防 | () |

問 38 で「はい」を選択した 422 人について、スポーツを行っている理由は「健康保持・体力増進」が 83.2%で最も高く、次いで「ストレスの解消」(33.2%)、「生活を楽しく、豊かにするため」(25.8%)の順となっている。



その他：「犬の散歩」、「仕事で運動するから」、「腰痛対策」など

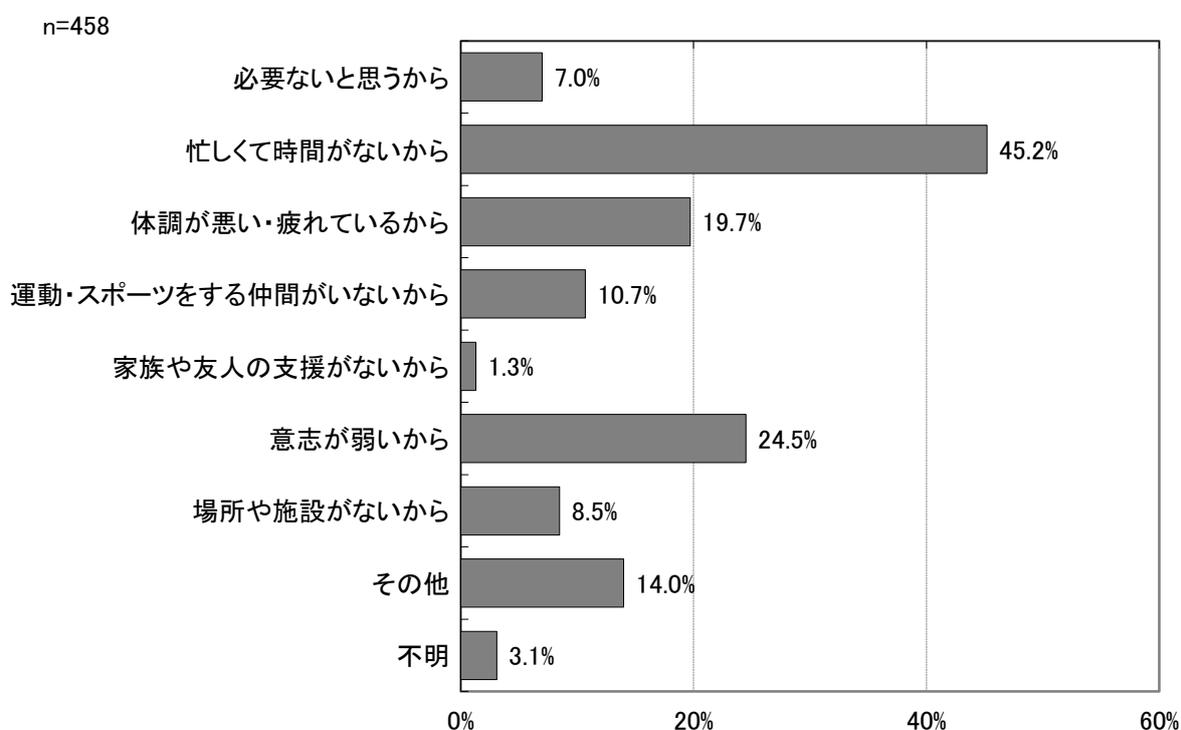
問 38-2 スポーツをしていない理由

問 38-2 問 38 で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。

運動やスポーツを行っていない理由は何ですか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1. 必要ないと思うから | 5. 家族や友人の支援がないから |
| 2. 忙しくて時間がないから | 6. 意志が弱いから |
| 3. 体調が悪い・疲れているから | 7. 場所や施設がないから |
| 4. 運動・スポーツをする
仲間がないから | 8. その他
() |

問 38 で「いいえ」を選択した 458 人について、スポーツを行っていない理由は、「忙しくて時間がないから」が 45.2%と最も高く、次いで「意志が弱いから」(24.5%)、「体調が悪い・疲れているから」(19.7%)の順となっている。



その他：「子供が小さいため」、「身体が不自由のため」、「月に 1、2 回スポーツをしている」、「面倒だから」など

問 38-3 運動やスポーツをするために必要な条件

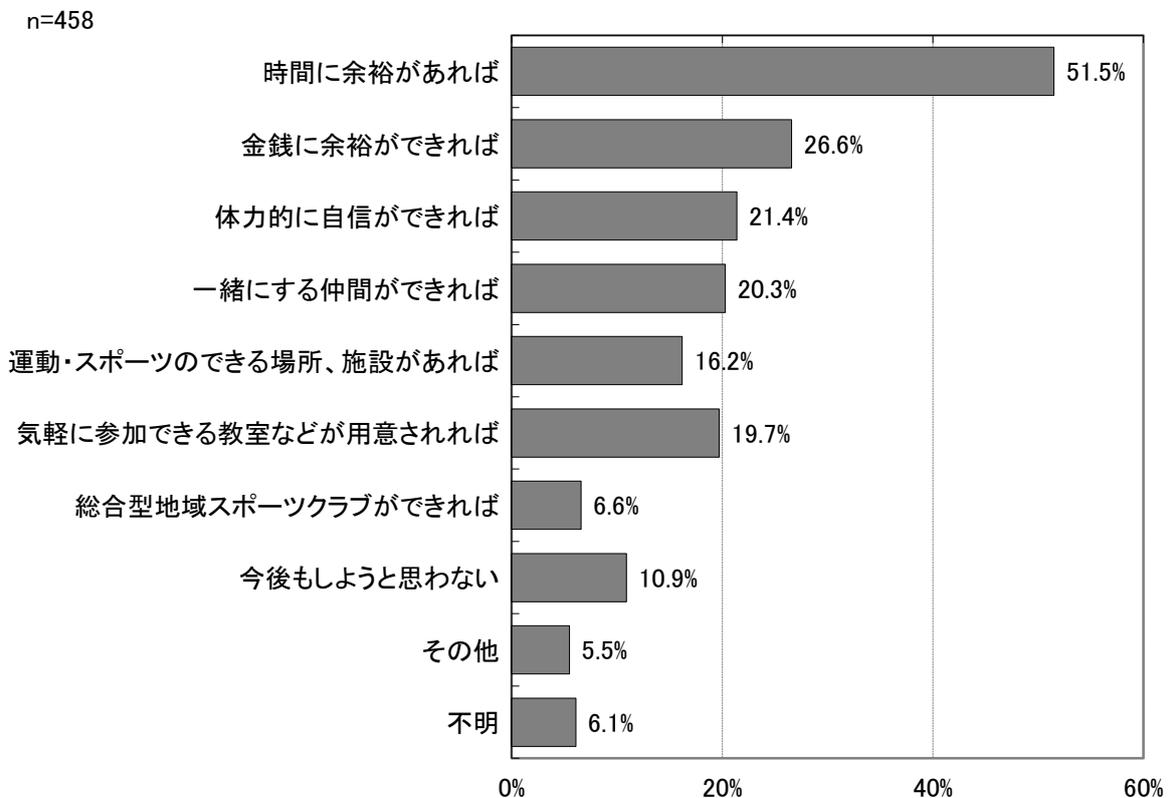
問 38-3 問 38 で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。

今後どのような状況になれば、運動やスポーツをしようと思えますか？あてはまるものをすべてお選びください。

1. 時間に余裕があれば
2. 金銭に余裕ができれば
3. 体力的に自信ができれば
4. 一緒にする仲間ができれば
5. 運動・スポーツのできる場所、施設があれば
6. 気軽に参加できる教室などが用意されれば
7. ※総合型地域スポーツクラブができれば
8. 今後もしようと思わない
9. その他 ()

※ 「総合型地域スポーツクラブ」とは、地域住民が会費などを自主財源として主体的に運営するスポーツクラブで、複数の種目が用意されており、地域の誰もが年齢、興味・関心、技術・技能レベルなどに応じて参加できるものです。

問 38 で「いいえ」を選択した 458 人について、今後運動やスポーツをするために必要な条件は、「時間に余裕があれば」が 51.5%と最も高く、次いで「金銭に余裕ができれば」(26.6%)、「体力的に自信ができれば」(21.4%)、「一緒にする仲間ができれば」(20.3%)の順となっている。



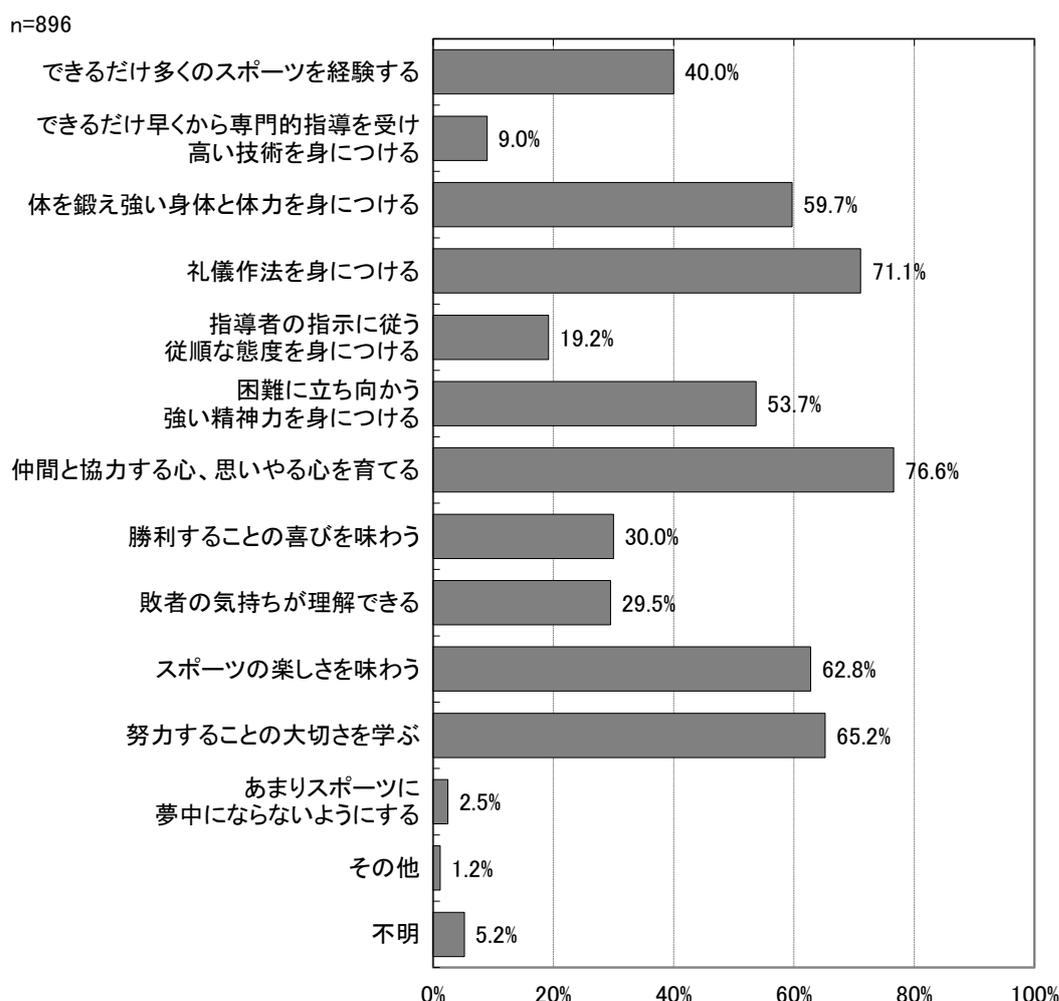
その他：「子育てが落ち着いたら」、「体調がよくなればしたい」、「安く利用できれば」など

問 39 「子どものスポーツ」について思うこと

問 39 あなたは、「子どものスポーツ」について、どのようなお考えをお持ちですか？子どものスポーツにおいて重要と思われることがらをすべてお選びください。

- | | |
|------------------------------------|------------------------------|
| 1. できるだけ多くのスポーツを経験する | 8. 勝利することの喜びを味わう |
| 2. できるだけ早くから専門的指導を受け
高い技術を身につける | 9. 敗者の気持ちが理解できる |
| 3. 体を鍛え強い身体と体力を身につける | 10. スポーツの楽しさを味わう |
| 4. 礼儀作法を身につける | 11. 努力することの大切さを学ぶ |
| 5. 指導者の指示に従う従順な態度を身につける | 12. あまりスポーツに夢中にならない
ようにする |
| 6. 困難に立ち向かう強い精神力を身につける | 13. その他 () |
| 7. 仲間と協力する心、思いやる心を育てる | |

「子どものスポーツ」について重要と思うことは、「仲間と協力する心、思いやる心を育てる」が76.6%と最も高く、次いで「礼儀作法を身につける」(71.1%)、「努力することの大切さを学ぶ」(65.2%)の順となっている。



その他：「世の中にはルールがあり、スポーツを通してルールを学ぶ」、「出来ると言う経験を得ること」、「大人が特に何も考えなくても、子供は体を動かすのが好きなので、ふつうに楽しめばよい」、「スポーツで人も体も育たないと思う」など

10. 日常の買い物環境について

問40 買い物の利便性

問40 あなたは、日常の買い物に不便を感じていますか？

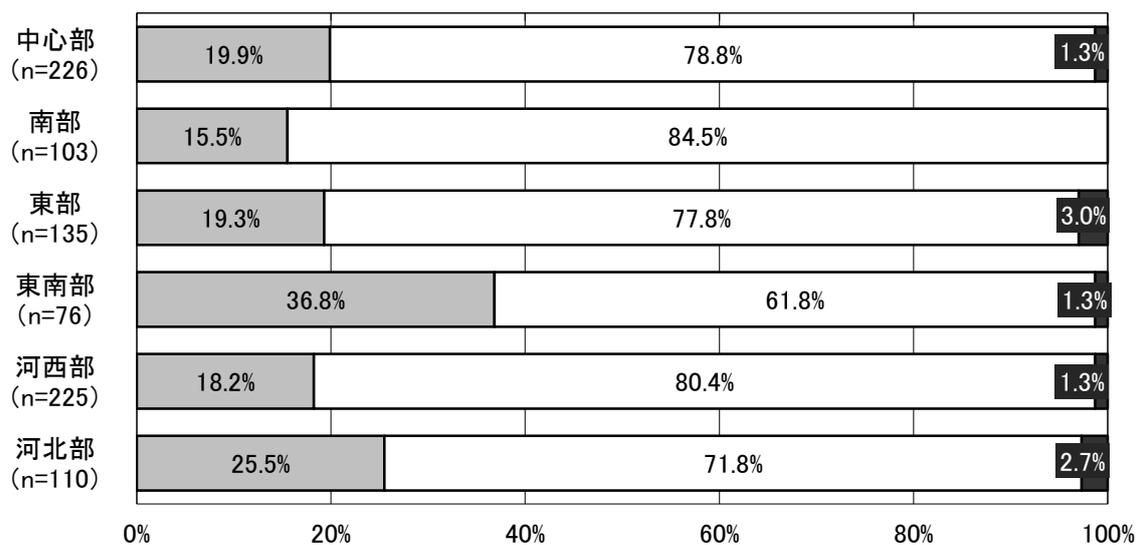
1. はい

2. いいえ

買い物に不便を感じているかについては、「はい」が21.0%、「いいえ」が77.3%となっている。地域別にみると、「はい」は東南部が36.8%と最も高く、南部が15.5%と最も低くなっている。



<地域別>



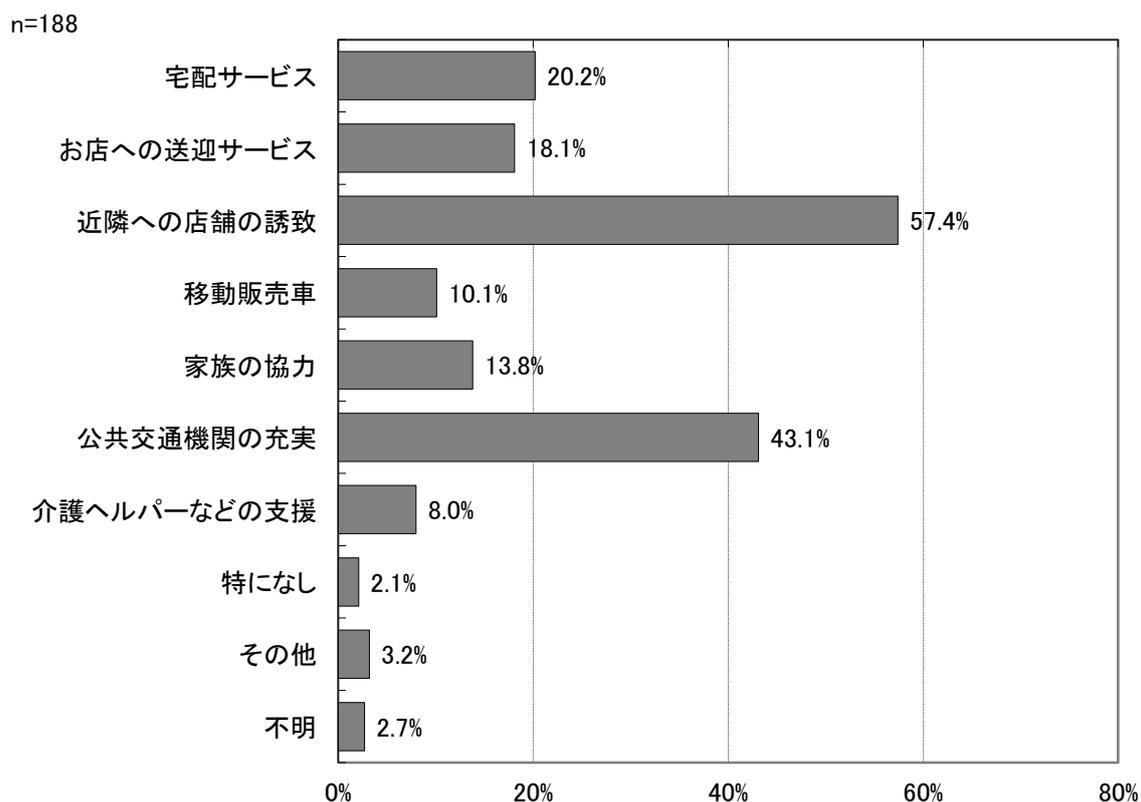
問 40-1 買い物環境をよくするために必要なこと

問 40-1 問 40 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。

あなたは、買い物環境を良くするにはどのようなことが必要だと思いますか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 宅配サービス | 6. 公共交通機関の充実 |
| 2. お店への送迎サービス | 7. 介護ヘルパーなどの支援 |
| 3. 近隣への店舗の誘致 | 8. 特になし |
| 4. 移動販売車 | 9. その他 |
| 5. 家族の協力 | () |

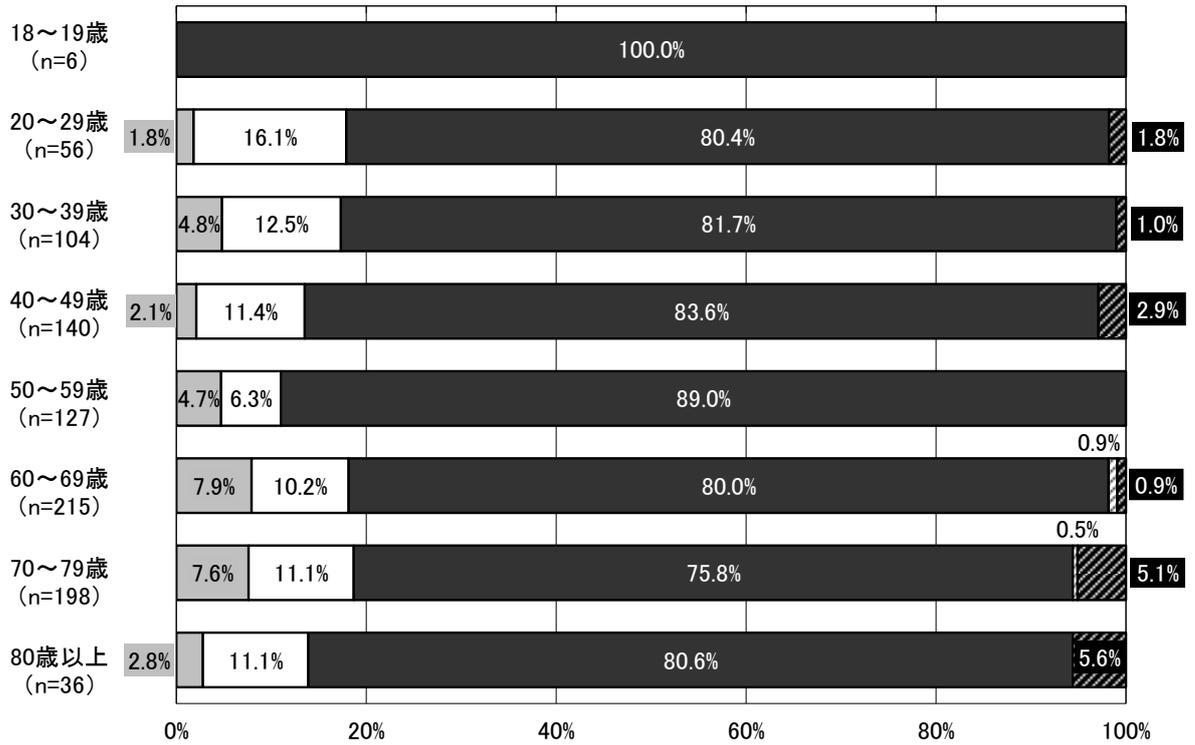
問 40 で「はい」と回答した 188 人について、買い物環境をよくするために必要なことは、「近隣への店舗の誘致」が 57.4%と最も高く、次いで「公共交通機関の充実」(43.1%)、「宅配サービス」(20.2%) の順となっている。



その他：「店が少ないので増やす」、「子どもが車で寝てしまった時に、車を見ていてくれるサービスがあれば良い」など

現在、活動している
 活動したことがある
 活動したことがない
 その他
 不明

<年代別>



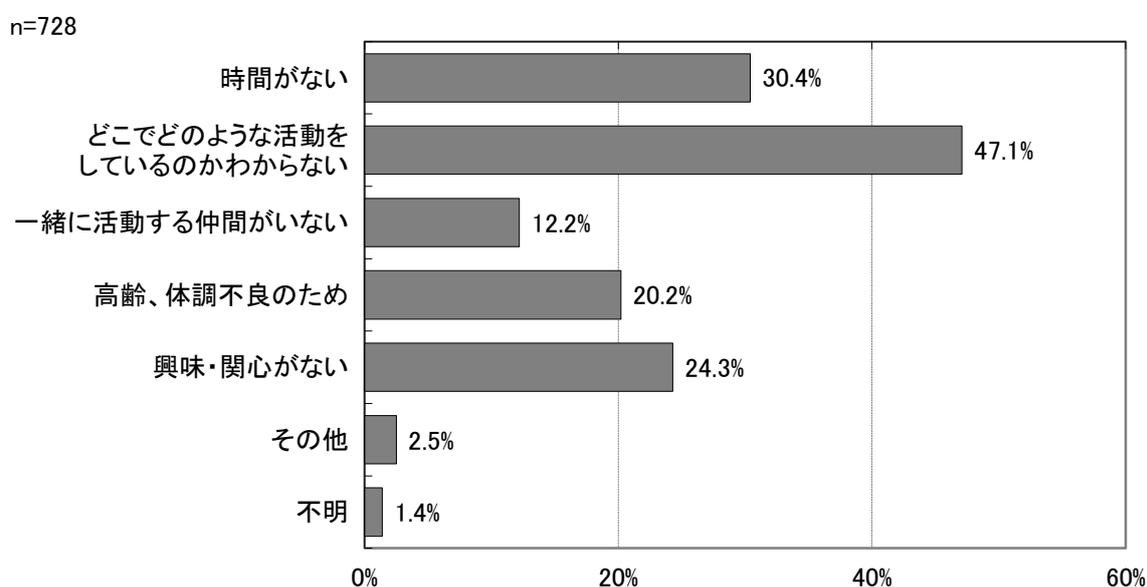
問 41-1 市民公益活動に参加しない理由

問 41-1 問 41 で「3. 活動したことがない」と回答された方のみお答えください。

活動されない理由は何ですか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1. 時間がない | 4. 高齢、体調不良のため |
| 2. どこでどのような活動をしているのかわからない | 5. 興味・関心がない |
| 3. 一緒に活動する仲間がない | 6. その他 () |

問 41-1 で「活動したことがない」と回答した 728 人について、「どこでどのような活動をしているのかわからない」が 47.1%と最も高く、次いで「時間がない」(30.4%)、「興味・関心がない」(24.3%) の順となっている。



その他：「興味をそそられる活動がない。同じ年代の人が居ない」、「怪しい団体もあるから」、「ボランティアをするなら働きたい」など

問 42 「協働」の認知度

問 42. あなたは、「協働」という言葉を知っていますか？

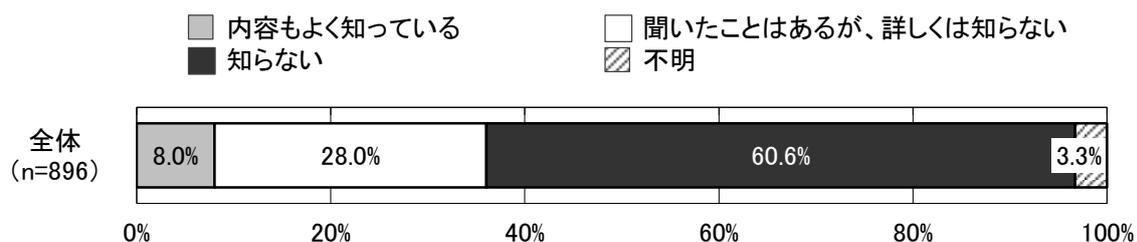
1. 内容もよく知っている
2. 聞いたことはあるが、詳しくは知らない
3. 知らない

※ 「協働」とは、公益という共通の目的のもとに、行政と市民(市民公益活動団体等)が互いの立場を認めながら、対等な関係で連携・協力し、共通課題の解決に当たる取組みです。

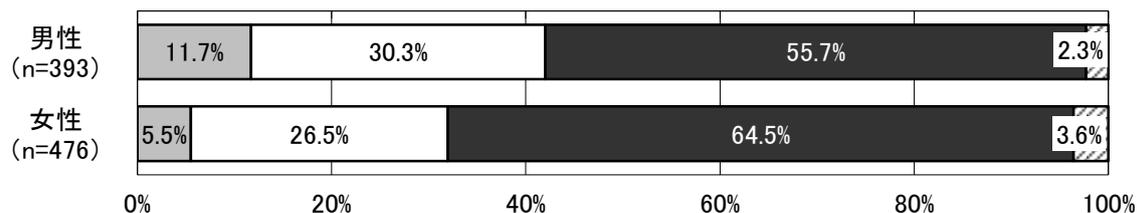
「協働」の認知状況は、「内容もよく知っている」(8.0%)と「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」(28.0%)を合わせた認知率は36.0%となり、「知らない」は60.6%となっている。

性別にみると、認知率は男性が42.0%、女性が32.0%で、男性が10.0ポイント上回っている。

年代別にみると、認知率は70~79歳が41.4%と最も高く、80歳以上は27.8%と最も低くなっている。

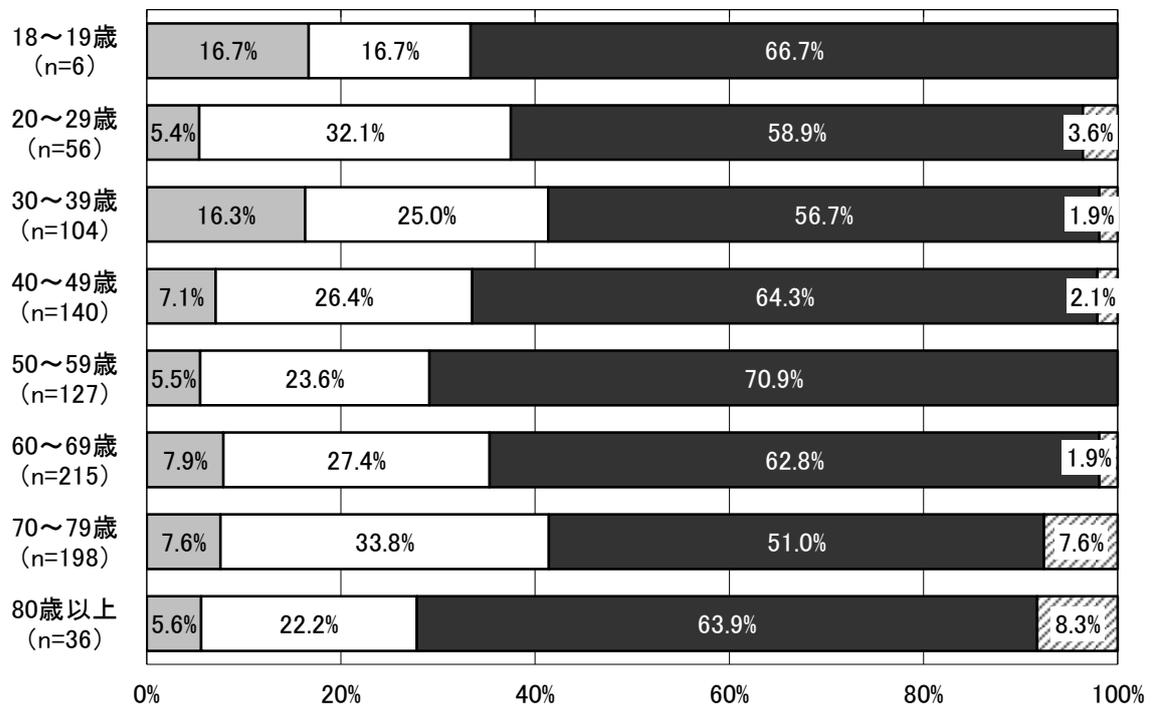


<性別>





<年代別>



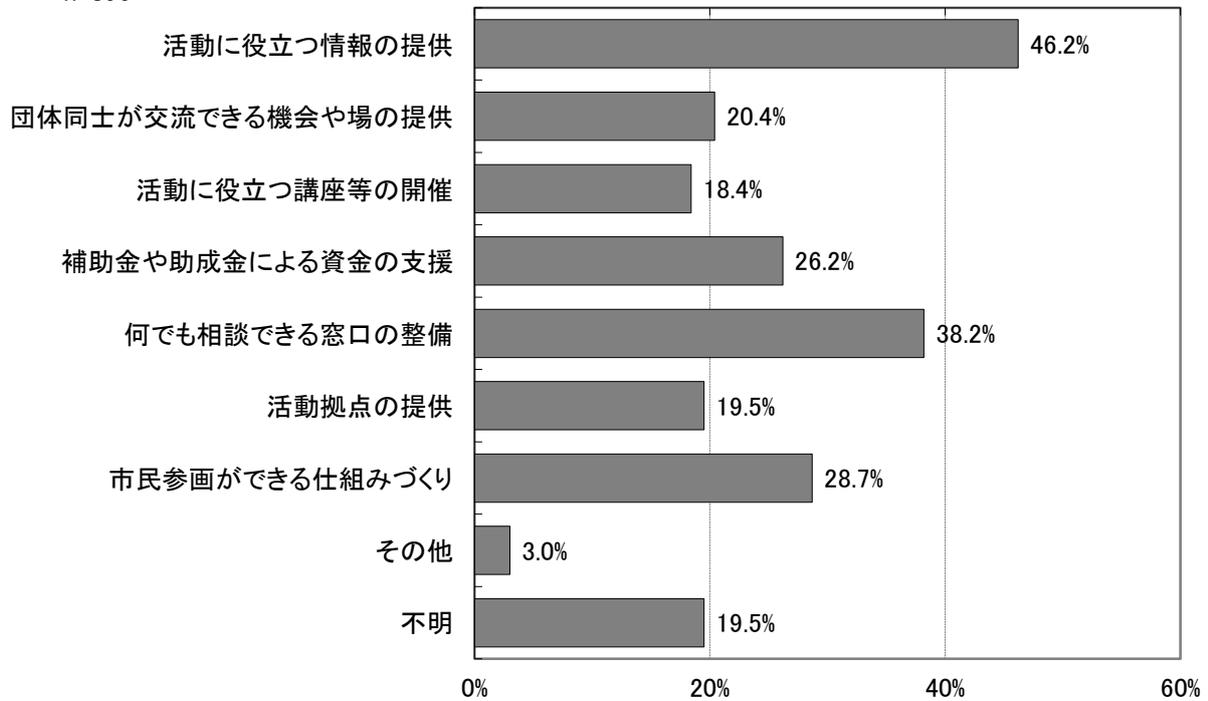
問 43 行政の市民公益活動支援施策

問 43 協働のまちづくりを進める上で、行政が市民公益活動団体支援のために行う施策として、相応しいと思うものは何ですか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 活動に役立つ情報の提供 | 5. 何でも相談できる窓口の整備 |
| 2. 団体同士が交流できる機会や場の提供 | 6. 活動拠点の提供 |
| 3. 活動に役立つ講座等の開催 | 7. 市民参画ができる仕組みづくり |
| 4. 補助金や助成金による資金の支援 | 8. その他 |
- ()

市民公益活動団体支援のためにふさわしい行政支援については、「活動に役立つ情報の提供」が46.2%と最も高く、次いで「何でも相談できる窓口の整備」(38.2%)、「市民参画ができる仕組みづくり」(28.7%)の順となっている。

n=896



その他：「信頼できる相談員」、「団体の育成」、「協働を教育の一環として小学校より授業に取り入れる」など

12. 水道について

問 44 水道水の飲用状況

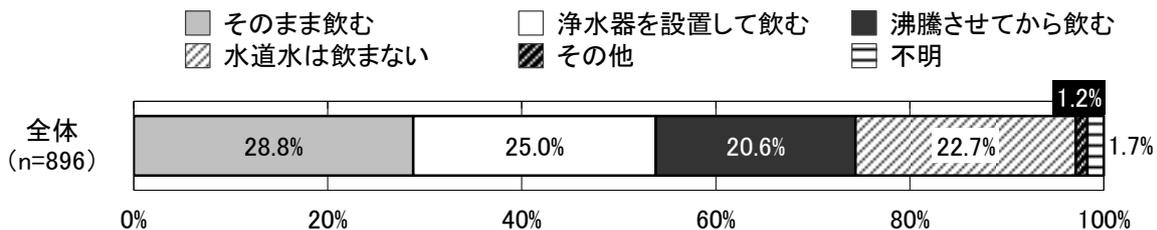
問 44 あなたは普段、水道水をどのようにして飲んでいきますか。あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. そのまま飲む | 4. 水道水は飲まない |
| 2. 浄水器を設置して飲む | 5. その他 () |
| 3. 沸騰させてから飲む | |

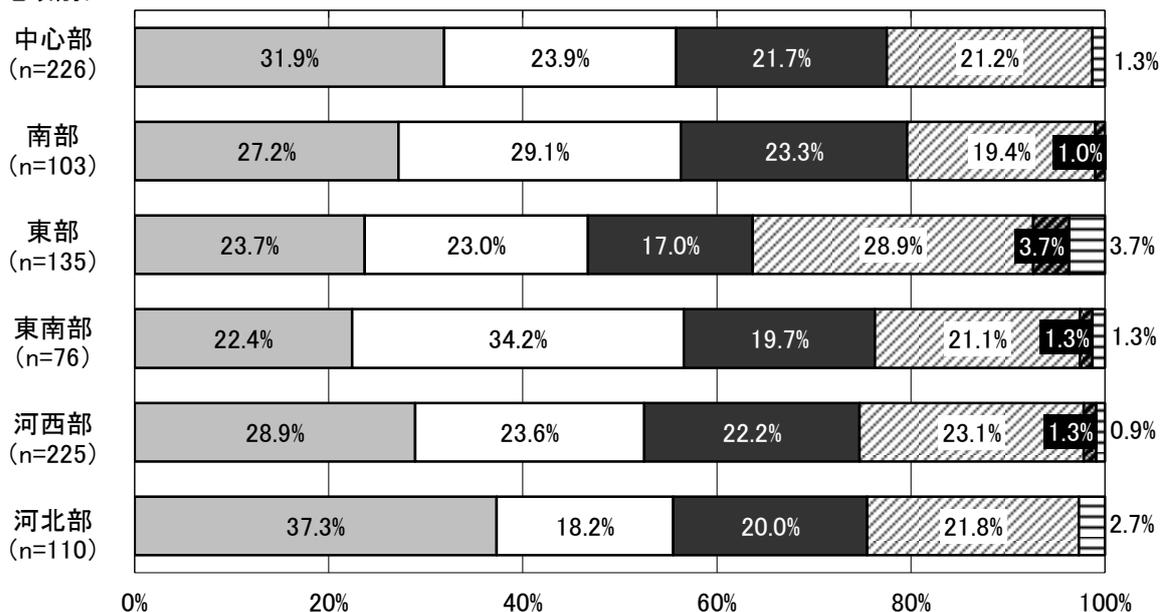
水道水の飲用状況は、「そのまま飲む」が28.8%と最も高くなっている。「浄水器を設置して飲む」(25.0%)と「沸騰させてから飲む」(20.6%)をあわせた浄水・沸騰させてから飲むは45.6%、「水道水は飲まない」は22.7%となっている。

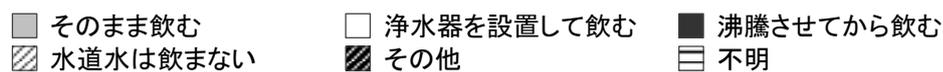
地域別にみると、「そのまま飲む」は河北部(37.3%)、「浄水器を設置して飲む・沸騰させてから飲む」は東南部(53.9%)、「水道水は飲まない」は東部(28.9%)が最も高くなっている。

年代別にみると、「そのまま飲む」は60～69歳(36.3%)、「浄水器を設置して飲む・沸騰させてから飲む」は80歳以上(55.5%)、「水道水は飲まない」は20～29歳(37.5%)が最も高くなっている。

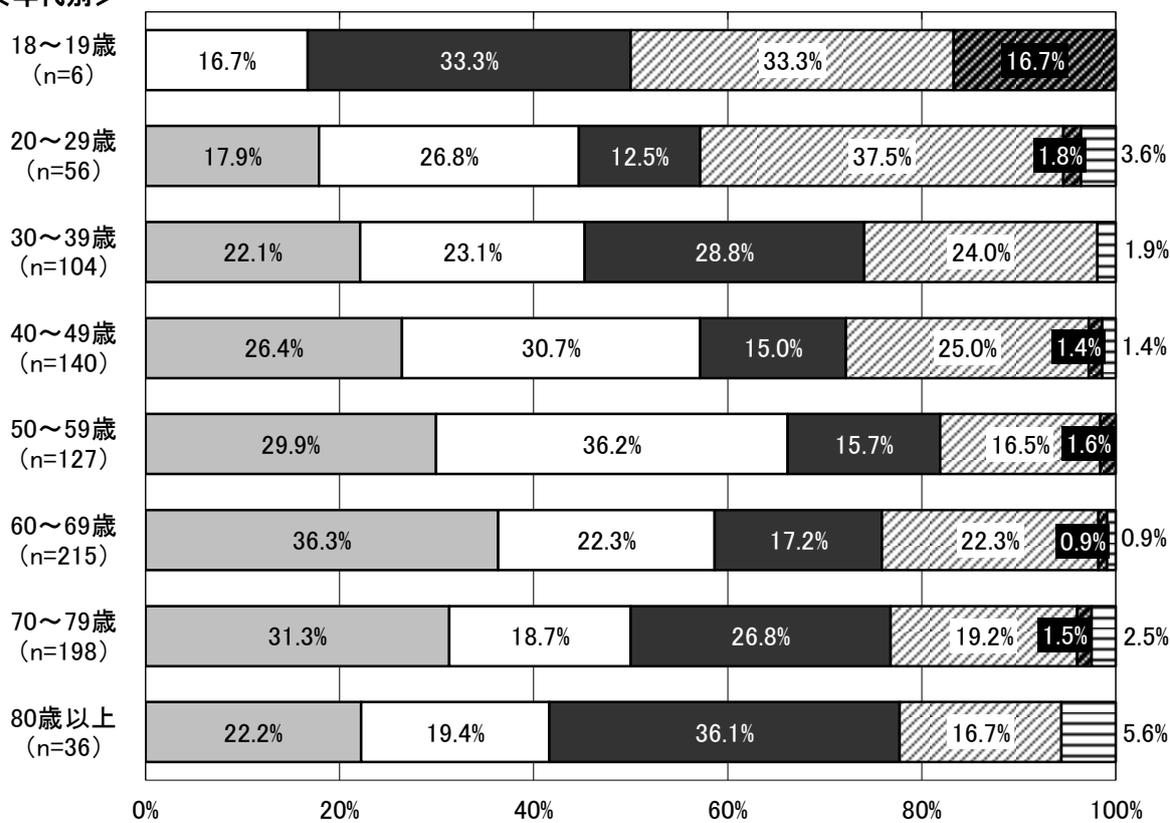


<地域別>





<年代別>



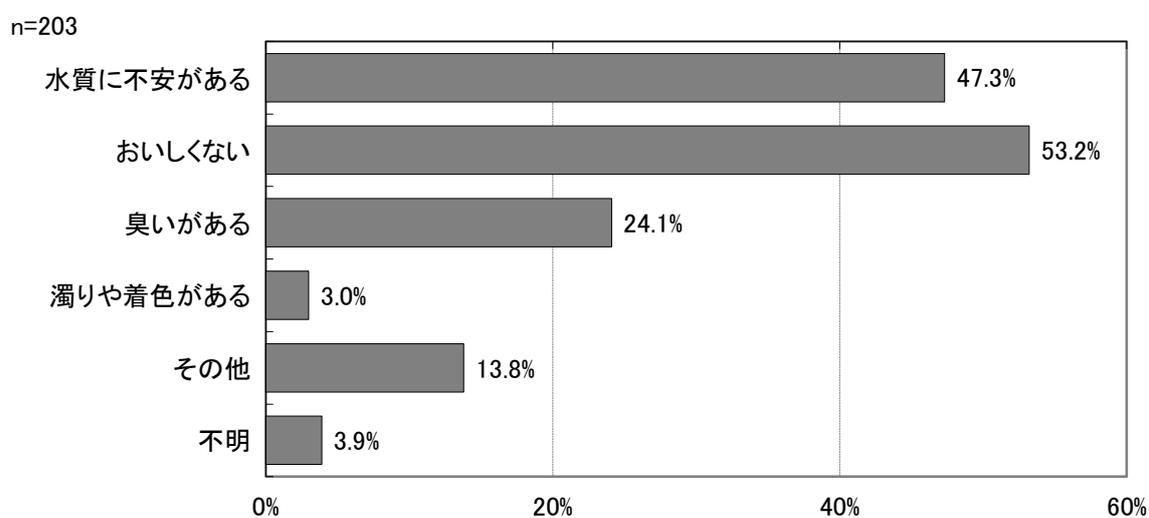
その他：「井戸水を利用している」など

問 44-1 水道水を飲まない理由

問 44-1 問 44 で「4. 水道水は飲まない」と回答された方のみお答えください。
水道水を飲まれない理由は何ですか？あてはまるものをすべてお選びください。

1. 水質に不安がある
2. おいしくない
3. 臭いがある
4. 濁りや着色がある
5. その他 ()

問 44 で「水道水を飲まない」を選択した 203 人について、水道水を飲まない理由は、「おいしくない」が 53.2%で最も高く、次いで「水質に不安がある」(47.3%)、「臭いがある」(24.1%) の順となっている。



その他：「井戸水を利用している」、「水を購入しているから」、「気分的にイヤ」など

問 45 「水道」について重要だと思うこと

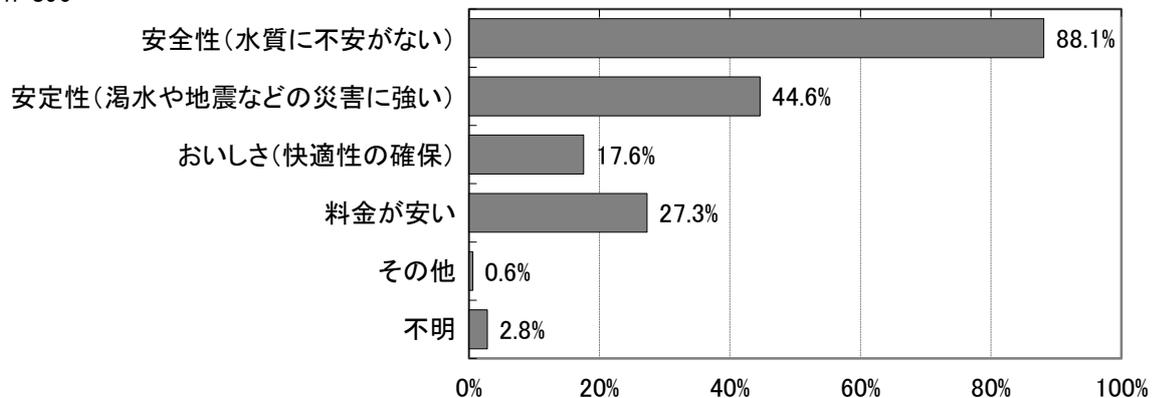
問 45 「水道」について重要だと思うことは何ですか？

より重要だと思うものを2つお選びください。

- | | |
|-----------------------|----------|
| 1. 安全性（水質に不安がない） | 4. 料金が安い |
| 2. 安定性（湧水や地震などの災害に強い） | 5. その他 |
| 3. おいしさ（快適性の確保） | () |

「水道」について重要だと思うことは、「安全性（水質に不安がない）」が88.1%で最も高く、次いで「安定性（湧水や地震などの災害に強い）」（44.6%）、「料金が安い」（27.3%）、「おいしさ（快適性の確保）」（17.6%）の順となっている。

n=896



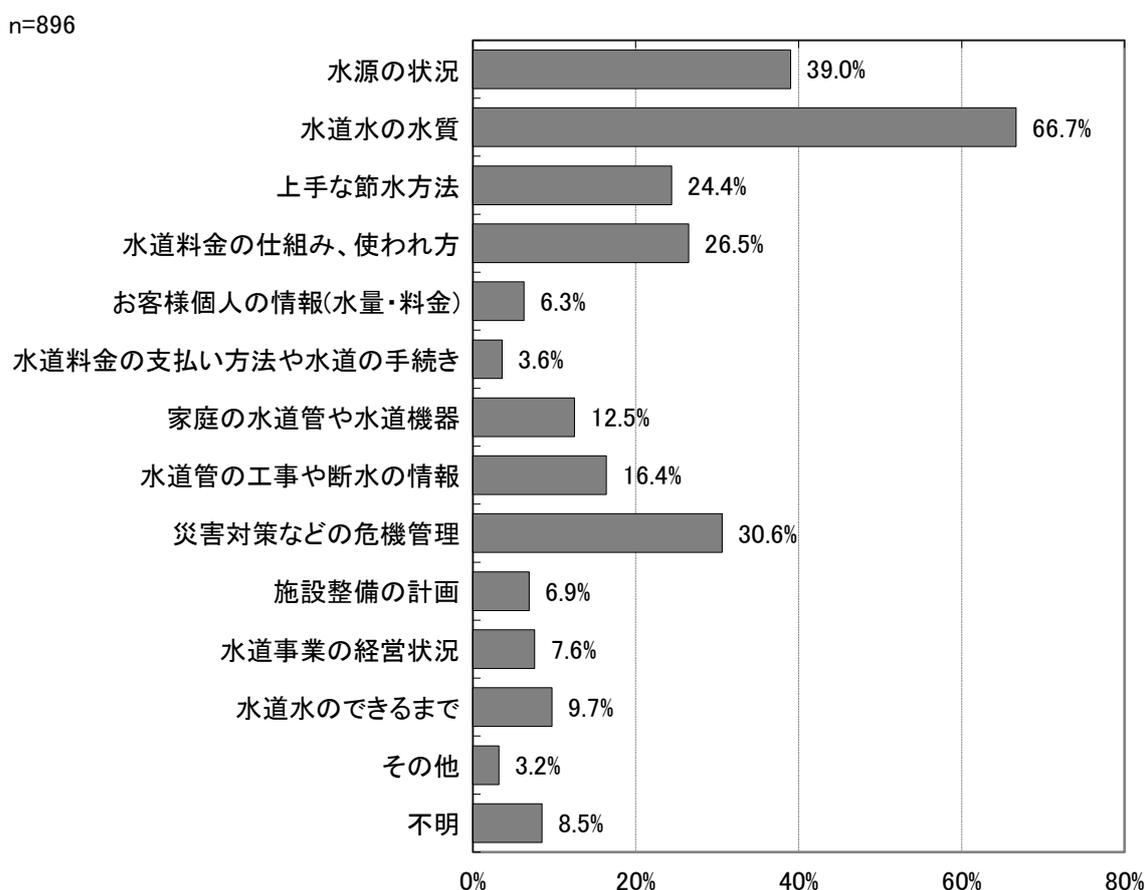
その他：「施設更新で見直した料金設定」、「料金が高い」など

問 46 「水道」について知りたいこと

問 46 「水道」について、どのようなことをもっと知りたいと思いますか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 水源の状況 | 8. 水道管の工事や断水の情報 |
| 2. 水道水の水質 | 9. 災害対策などの危機管理 |
| 3. 上手な節水方法 | 10. 施設整備の計画 |
| 4. 水道料金の仕組み、使われ方 | 11. 水道事業の経営状況 |
| 5. お客様個人の情報(水量・料金) | 12. 水道水のできるまで |
| 6. 水道料金の支払い方法や水道の手続き | 13. その他 |
| 7. 家庭の水道管や水道機器 | () |

「水道」について知りたいことは、「水道水の水質」が 66.7%で最も高く、次いで「水源の状況」(39.0%)、「災害対策などの危機管理」(30.6%)となっている。



その他：「水道に関するすごい技術や日本ならではの工夫など」、「水源地の安全管理（老廃物禁止などの対策）」、「水道管の保守状況、対応年数の情報」など

13. 和歌山市の広報について

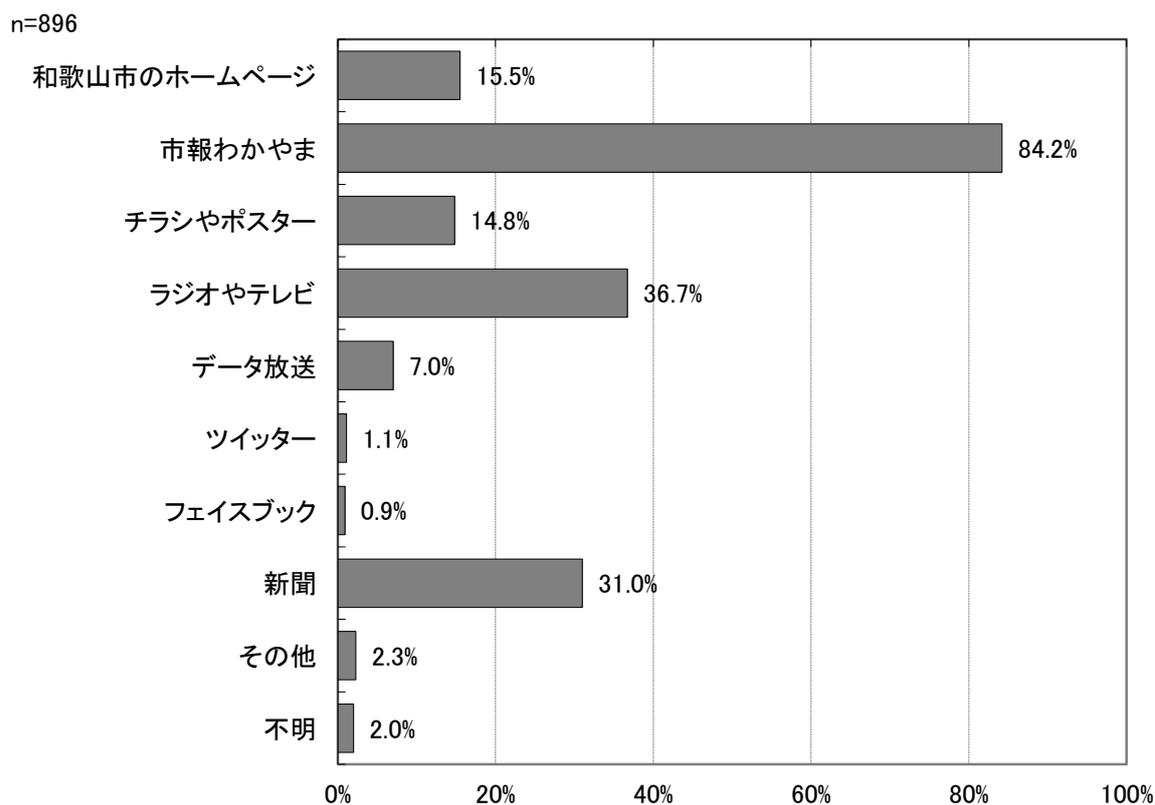
問47 行政情報収集手段

問47 あなたは、市の行政情報を何から得ていますか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|----------------|------------|
| 1. 和歌山市のホームページ | 6. ツイッター |
| 2. 市報わかやま | 7. フェイスブック |
| 3. チラシやポスター | 8. 新聞 |
| 4. ラジオやテレビ | 9. その他 () |
| 5. *データ放送 | |

※ データ放送とは、テレビ電波を使ったデータを転送させるサービスです。
各家庭にあるテレビでリモコンの【dボタン】を押すことにより、情報を取得できます。
現在は「NHK」、「テレビ和歌山」のデータ放送で和歌山市の行政情報を掲載しています。

市の行政情報を得る手段は、「市報わかやま」が84.2%と最も高く、次いで「ラジオやテレビ」(36.7%)、「新聞」(31.0%)の順となっている。



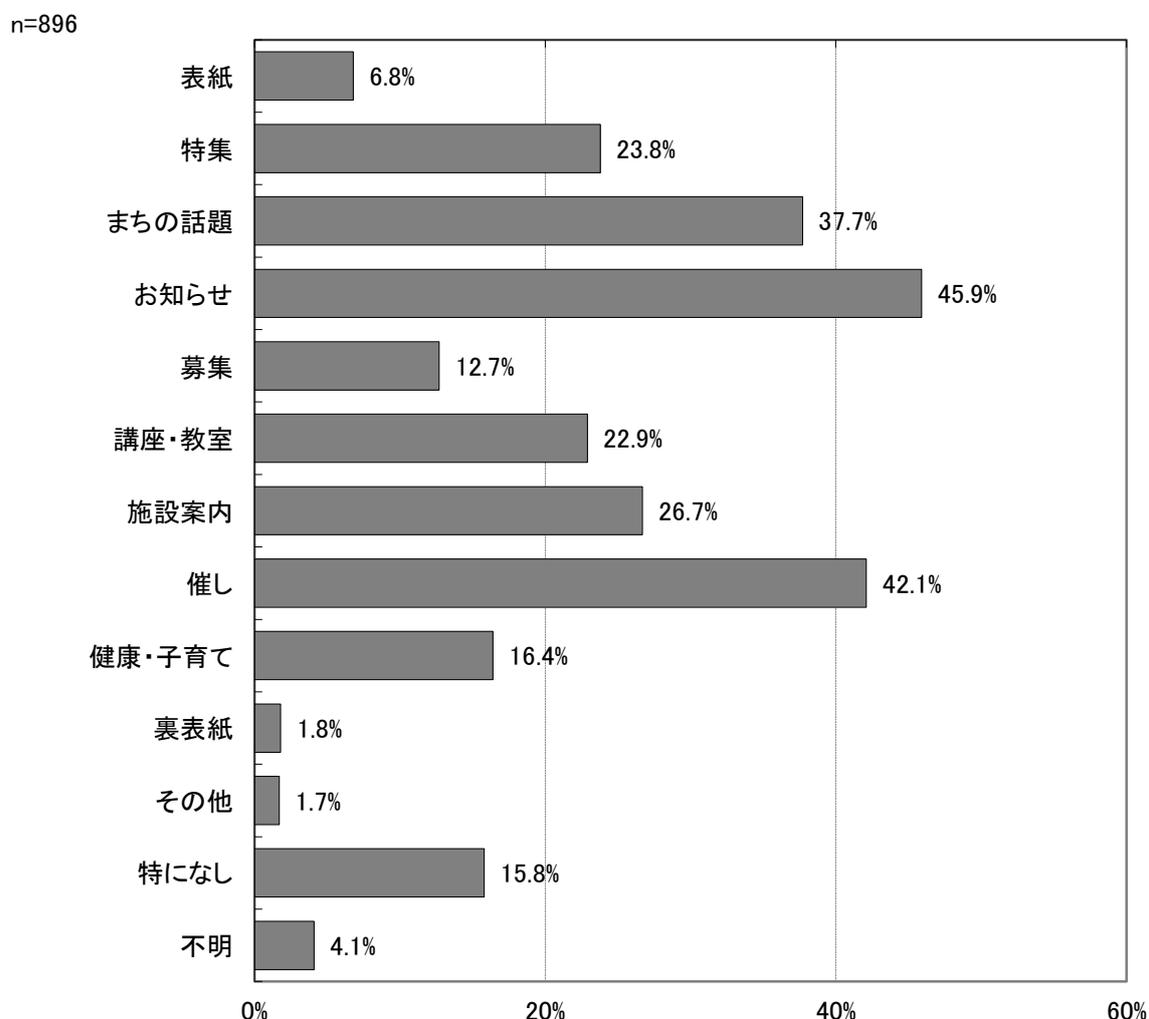
その他：「見ていない」、「情報は得ていない」、「口伝え」、「回覧板」など

問 47-1 「市報わかやま」の興味のあるコーナー

問 47-1 和歌山市では、毎月1回「市報わかやま」を発行しています。あなたが、「市報わかやま」の中で興味のある項目は何ですか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 表紙 | 7. 施設案内 |
| 2. 特集 | 8. 催し |
| 3. まちの話題 | 9. 健康・子育て |
| 4. お知らせ | 10. 裏表紙 |
| 5. 募集 | 11. その他（ |
| 6. 講座・教室 | 12. 特になし |

「市報わかやま」の興味のあるコーナーは、「お知らせ」が45.9%と最も高く、次いで「催し」(42.1%)、「まちの話題」(37.7%)の順となっている。



その他：「予算」、「市立和歌山高校の生徒のデザイン」など

問 47-2～7 「市報わかやま」の満足度

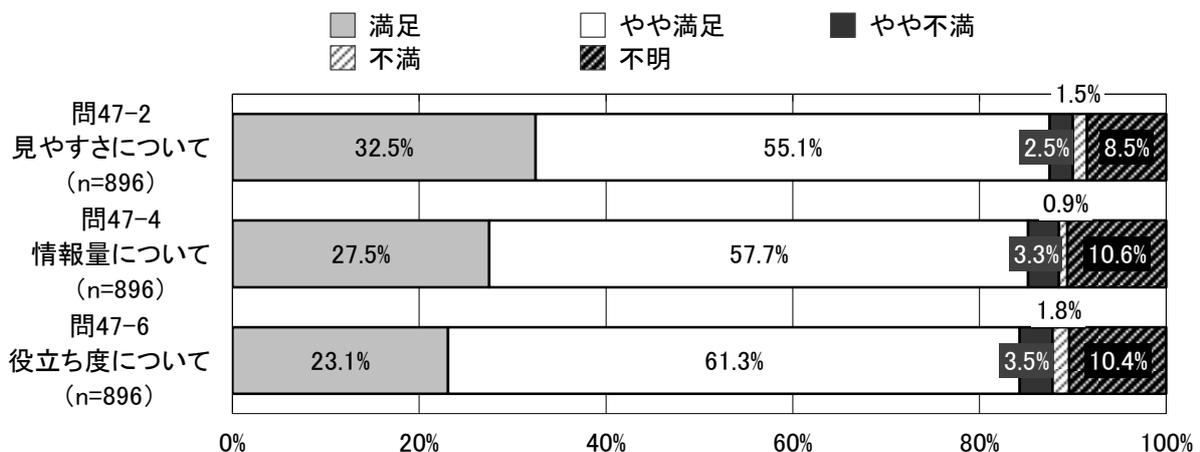
問 47-2 平成 25 年 5 月号から「市報わかやま」をフルカラーに変更しました。「市報わかやま」の見やすさについてお尋ねします。

問 47-4. 「市報わかやま」に掲載されている情報量についてお尋ねします。

問 47-6. 市の行政情報などを得る上で「市報わかやま」の役立ち度についてお尋ねします。

1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満

「市報わかやま」の満足度（「満足」と「やや満足」の割合を合わせた計）は、「見やすさ」が 87.6%、「情報量」は 85.2%、「役立ち度」は 84.4%となっている。



問 47-3 「見やすさ」の不満の理由

「結果として行政の良かった所、悪かった所を総括して反省も込めて、可否を断定した内容が少なすぎる」、「掲載構成が毎回同じで見づらい」、「大きい文字で書いて欲しい」など

問 47-5 「情報量」の不満の理由

「情報量が少ない」、「読みにくい、まとめて明確にしてほしい」、「県都の広報紙にしてはページ数が少ない」、「その時々市の重要課題が何であって、そしてその取組み状況がわかりづらい」など

問 47-7 「役立ち度」の不満の理由

「正しい現状を伝えているのか、判断できない」、「サービスの情報量が少ない」、「インターネットがあるので不用」など

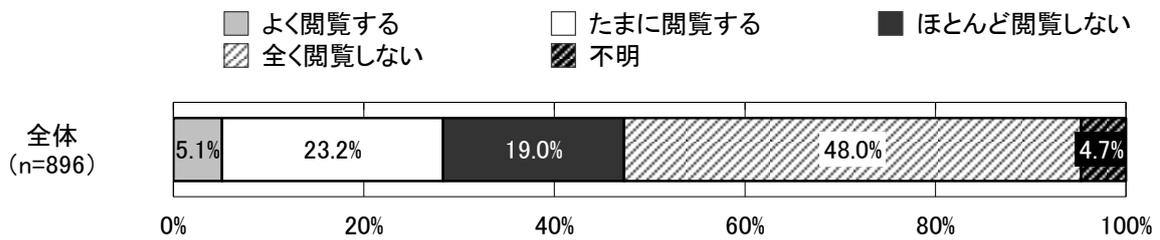
問 48 和歌山市ホームページについて

問 48 和歌山市ホームページを閲覧していますか？

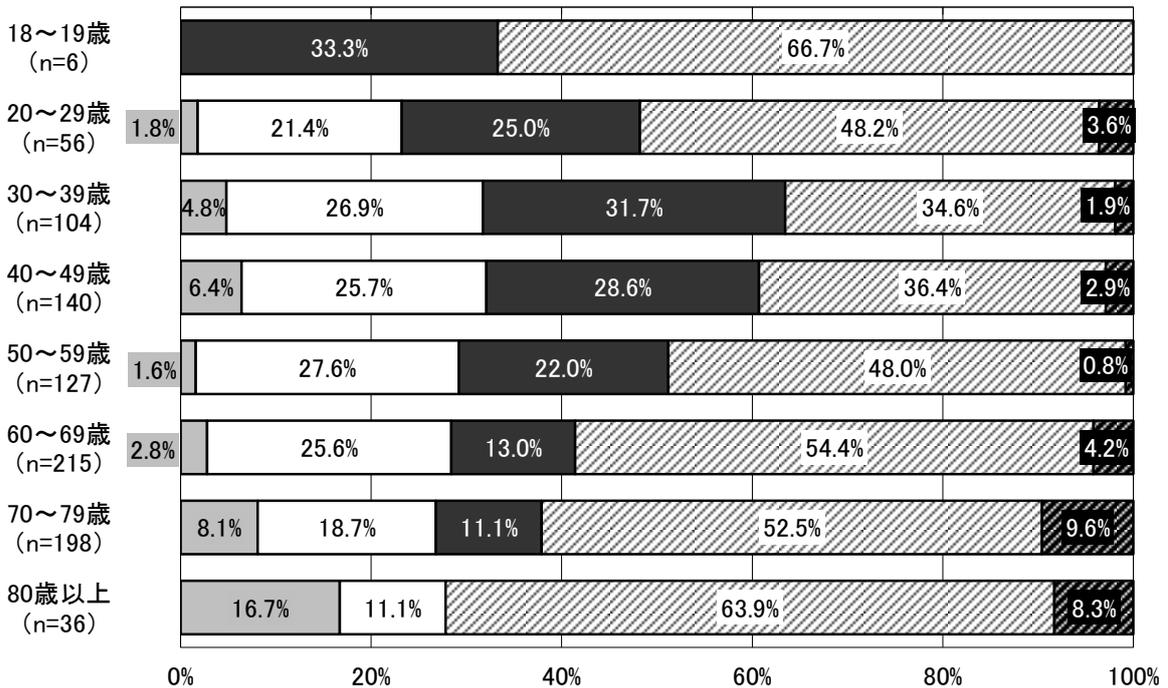
- 1. よく閲覧する
- 2. たまに閲覧する
- 3. ほとんど閲覧しない
- 4. 全く閲覧しない

和歌山市ホームページの閲覧状況は「よく閲覧する」(5.1%)と「たまに閲覧する」(23.2%)を合わせた閲覧率は28.3%、「ほとんど閲覧しない」(19.0%)と「全く閲覧しない」(48.0%)を合わせた非閲覧率は67.0%となっている。

年代別にみると、閲覧率は40～49歳が32.1%と最も高く、非閲覧率は18～19歳が100%となっている。



<年代別>



問 48-1 閲覧していない理由

「パソコンがない」、「ホームページの閲覧の仕方がわからない」、「ホームページの存在を知らなかった」、「閲覧する機会や必要性がなかった」など

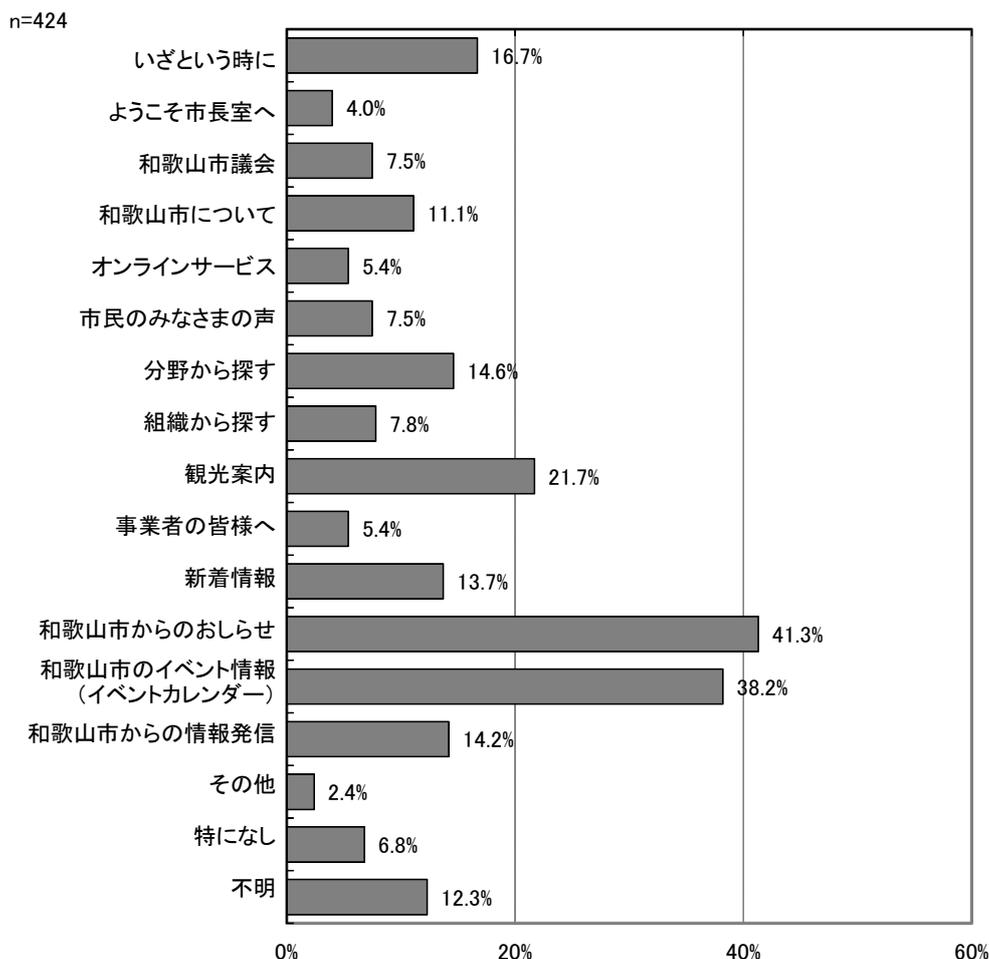
問 48-2 和歌山市ホームページのトップページでよく利用する項目

問 48-2 問 48 で「1. よく閲覧する」「2. たまに閲覧する」「3. ほとんど閲覧しない」と回答された方のみお答えください。

和歌山市ホームページのトップページでよく使う項目、興味のある項目は何ですか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|--------------|----------------------------|
| 1. いざという時に | 9. 観光案内 |
| 2. ようこそ市長室へ | 10. 事業者の皆様へ |
| 3. 和歌山市議会 | 11. 新着情報 |
| 4. 和歌山市について | 12. 和歌山市からのお知らせ |
| 5. オンラインサービス | 13. 和歌山市のイベント情報（イベントカレンダー） |
| 6. 市民のみなさまの声 | 14. 和歌山市からの情報発信 |
| 7. 分野から探す | 15. その他（ ） |
| 8. 組織から探す | 16. 特になし |

問 48 で「よく閲覧する」「たまに閲覧する」「ほとんど閲覧しない」を選択した 424 人について、よく利用するトップページは、「和歌山市からのお知らせ」が 41.3%と最も高く、次いで「和歌山市のイベント情報（イベントカレンダー）」（38.2%）、「観光案内」（21.7%）の順となっている。



その他：「ゴミ収集」、「子育て支援」、「保険等の手続きサービス」など

問 48-3~6 和歌山市ホームページの満足度

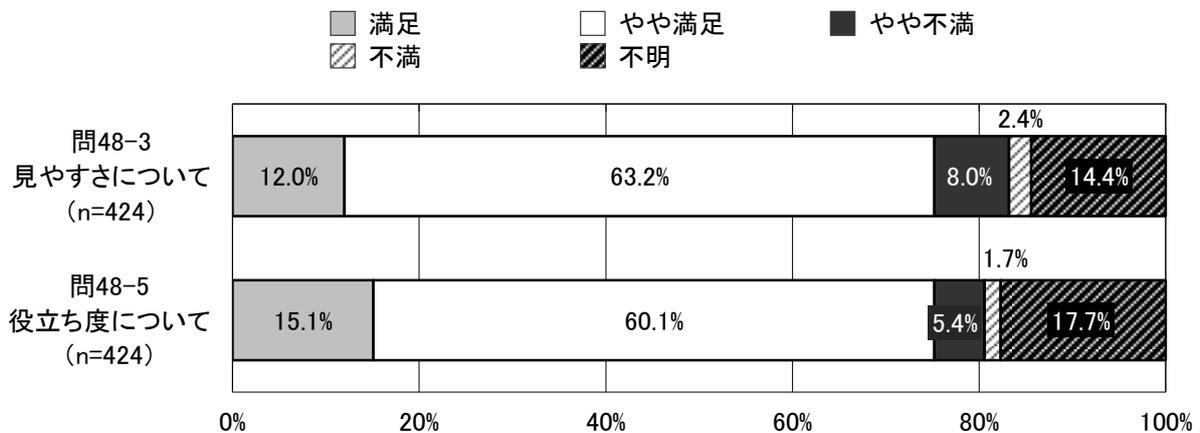
問 48-3 問 48 で「1. よく閲覧する」「2. たまに閲覧する」「3. ほとんど閲覧しない」と回答された方のみお答えください。

和歌山市ホームページの構成（分類・ジャンル）の見やすさについてお尋ねします。

問 48-5 市の行政情報を知る上で和歌山市ホームページの役立ち度についてお尋ねします。

1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満

問 48 で「よく閲覧する」「たまに閲覧する」「ほとんど閲覧しない」を選択した 424 人について、「和歌山市ホームページ」の満足度（「満足」と「やや満足」の割合を合わせた計）は、「見やすさ」が 75.2%、「役立ち度」は 75.2%となっている。



問 48-4 「見やすさ」の不満の理由

「ほしい情報がみつからない。もっとあいまいな検索でも可能にできたらいいと思います」、「見やすいジャンル分けになっていない」、「見づらい、知りたい情報が探しにくい。デザインが古い」、「目的のページを簡単に見つける事が出来ない事が多い」、「調べたい事項がどのジャンルに入るか分からないときに、探せなくて困った」など

問 48-6 「役立ち度」の不満の理由

「細かい情報が載っていない。簡単に説明している感じで、最終的には市役所、コミュニティセンターまで行かないと分からない事がたまにある」、「見にくい。わかりにくい」など

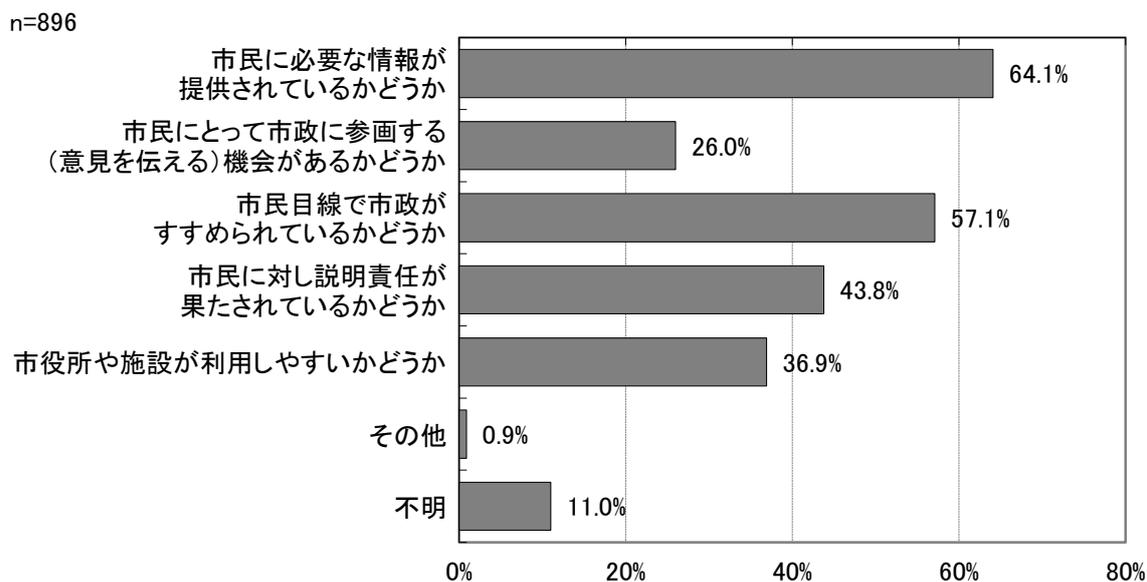
14. 市政運営について

問49 開かれた市政運営としての条件

問49 和歌山市では、市民に開かれた市政運営を目指し取り組んでいるところです。あなたにとって、開かれた市政運営であるかを判断するには何を重視しますか？あてはまるものをすべてお選びください。

1. 市民に必要な情報が提供されているかどうか
2. 市民にとって市政に参画する（意見を伝える）機会があるかどうか
3. 市民目線で市政がすすめられているかどうか
4. 市民に対し説明責任が果たされているかどうか
5. 市役所や施設が利用しやすいかどうか
6. その他（)

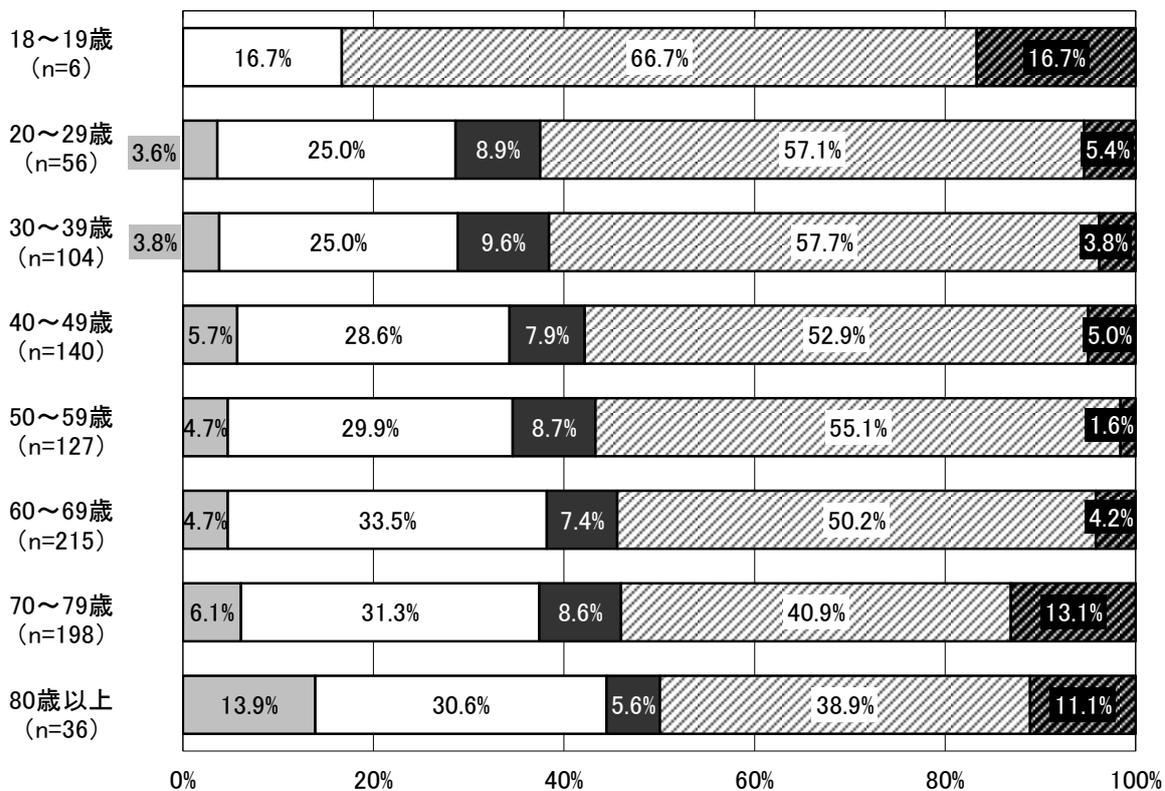
開かれた市政運営と判断する条件は、「市民に必要な情報が提供されているかどうか」が64.1%と最も高く、次いで「市民目線で市政が進められているかどうか」(57.1%)、「市民に対し説明責任が果たされているかどうか」(43.8%)の順となっている。



その他：「職員の態度と仕事の知識」、「市民目線で情報提供が行われている」、「市民の意見が政治にどう反映しているかをタイムリーに開示している」など

思う
 どちらかというと思う
 思わない
 わからない
 不明

<年代別>



「思わない」理由：「補助制度などをわかりやすく説明すべき」、「市役所等が利用しづらいと感じる」、「情報提供不足」、「説明を求めても返事が遅い」、「和歌山市の取組みの内容を具体的に知る機会がない」、「困ったときに役立つ施策について、知らないことのほうが多いと思う」など

15. 和歌山市の取り組みに対しての満足度・重要度について

問51 和歌山市の市政一般の満足度と重要度

問51 和歌山市に住んでいて、つぎのことがらについてどのように感じていますか？
 満足度と重要度から、それぞれ1つずつ選んで数字を○で囲んでください。

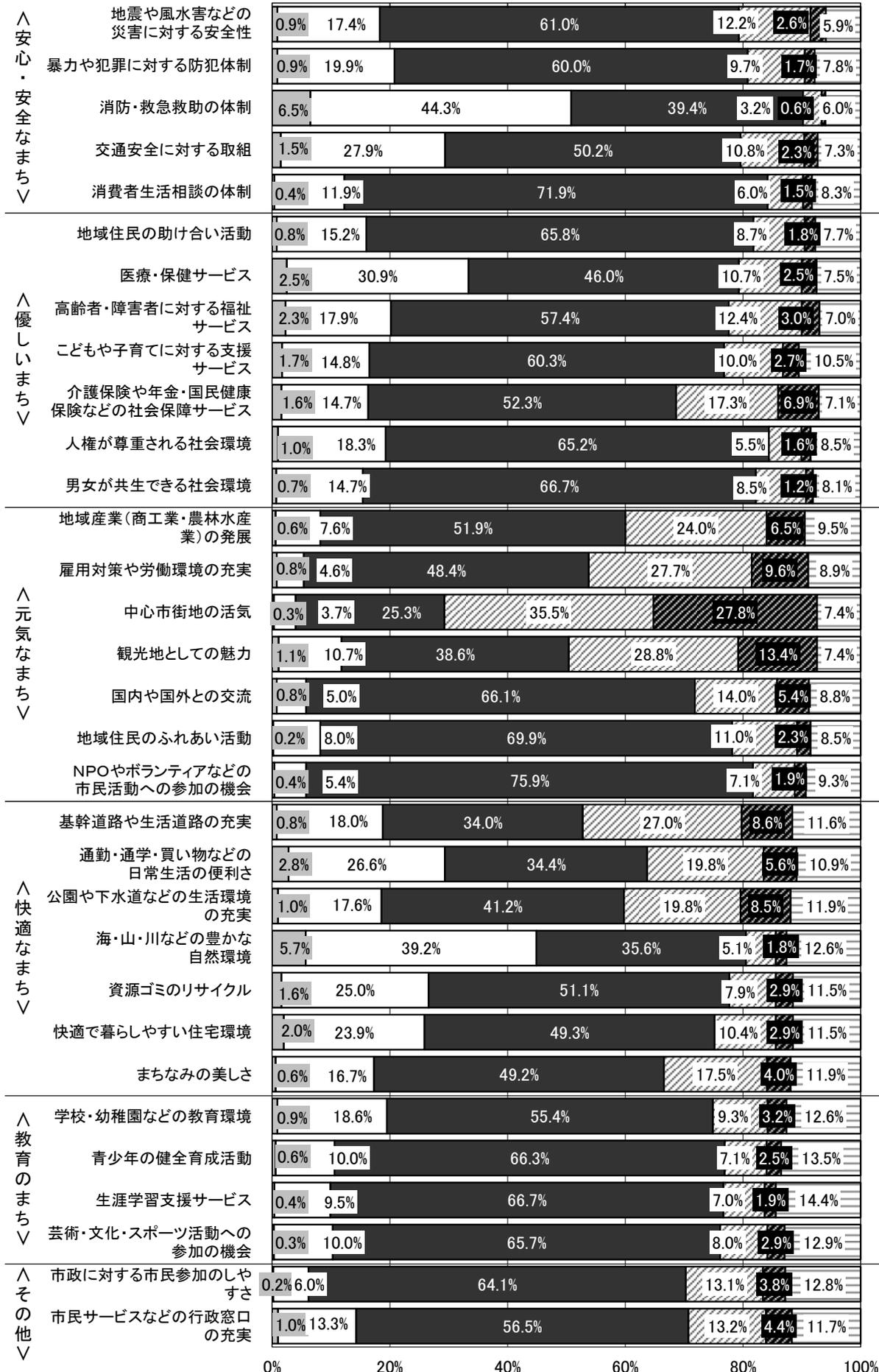
- 満足度： 1. 非常に満足 2. 満足 3. どちらとも言えない 4. 不満 5. 非常に不満
 重要度： 1. 非常に重要 2. 重要 3. どちらとも言えない 4. あまり重要ではない
 5. 全く重要ではない

安心・安全なまち	地震や風水害などの災害に対する安全性
	暴力や犯罪に対する防犯体制
	消防・救急救助の体制
	交通安全に対する取組
	消費者生活相談の体制
優しいまち	地域住民の助け合い活動
	医療・保健サービス
	高齢者・障害者に対する福祉サービス
	こどもや子育てに対する支援サービス
	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス
	人権が尊重される社会環境
	男女が共生できる社会環境
元気なまち	地域産業(商工業・農林水産業)の発展
	雇用対策や労働環境の充実
	中心市街地の活気
	観光地としての魅力
	国内や国外との交流
	地域住民のふれあい活動
	NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会
快適なまち	基幹道路や生活道路の充実
	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ
	公園や下水道などの生活環境の充実
	海・山・川などの豊かな自然環境
	資源ごみのリサイクル
	快適で暮らしやすい住宅環境
	まちなみの美しさ
教育のまち	学校・幼稚園などの教育環境
	青少年の健全育成活動
	生涯学習支援サービス
	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会
その他	市政に対する市民参加のしやすさ
	市民サービスなどの行政窓口の充実

【満足度】

n=896

非常に満足
 満足
 どちらとも言えない
 不満
 非常に不満
 不明



0% 20% 40% 60% 80% 100%

【満足率・不満率】

和歌山市の市政一般の満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた計）の高い項目は順に「消防・救急救助の体制」（50.8%）、「海・山・川などの豊かな自然環境」（44.9%）、「医療・保健サービス」（33.4%）、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」（29.4%）、「交通安全に対する取組」（29.4%）となっており、「安心・安全なまち」と「快適なまち」に係わる項目の満足率が高い傾向にある。

不満度（「不満」と「非常に不満」を合わせた計）の高い項目は順に「中心市街地の活気」（63.3%）、「観光地としての魅力」（42.2%）、「雇用対策や労働環境の充実」（37.3%）、「基幹道路や生活道路の充実」（35.6%）、「地域産業（商工業・農林水産業）の発展」（30.5%）となっており、「元気なまち」に係わる項目の不満率が高い傾向にある。

<性別>

満足率の上位5位について、性別にみると、3位までは共通しているが、4位以下で男性は「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」が女性は「快適で暮らしやすい住宅環境」が高くなっている。

不満率の上位5位について、男性はほとんど全体の項目と変わらないが、女性は「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」が高い傾向にある。

【満足率（「非常に満足」と「満足」の計の割合）】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=896)	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 50.8%	・ 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 44.9%	・ 医療・保健サービス 【優しいまち】 33.4%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 ・ 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 29.4%	
男性 (n=393)	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 52.4%	・ 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 46.9%	・ 医療・保健サービス 【優しいまち】 32.1%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 29.5%	・ 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 29.0%
女性 (n=476)	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 50.5%	・ 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 44.4%	・ 医療・保健サービス 【優しいまち】 34.8%	・ 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 ・ 快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 29.6%	

【不満率（「非常に不満」と「不満」の計の割合）】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=896)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 63.3%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 42.2%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 37.3%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 35.6%	・ 地域産業（商工業・農林水産業）の発展 【元気なまち】 30.5%
男性 (n=393)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 67.2%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 44.3%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 41.7%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 39.2%	・ 地域産業（商工業・農林水産業）の発展 【元気なまち】 35.6%
女性 (n=476)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 61.6%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 41.8%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 36.6%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 31.1%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 27.7%

注① 同率の項目は並記している。

注② この表の満足率は「非常に満足」と「満足」の合計の割合であり、前ページのグラフの「非常に満足」と「満足」の割合を合計した数値と一致しない。（不満率も同様）

※注①と②は以降のページも同様である。

<年代別>

満足率の上位5位の項目について年代別にみると、1位は、49歳以下が「海、山、川などの豊かな自然環境」で、50歳以上が「消防・救急救助の体制」となっている。29歳以下では、「まちなみの美しさ」、20歳～49歳では、「快適で暮らしやすい住宅環境」、70歳以上で「資源ゴミのリサイクル」、80歳以上で「地震や風水害などの災害に対する安全性」、「暴力や犯罪に対する防犯体制」が他の年齢層よりも上位に位置している。

【満足率(「非常に満足」と「満足」の計の割合)】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=6)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 33.4%	・子ども子育てに対する支援サービス 【優しいまち】 ・介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【優しいまち】	・人権が尊重される社会環境 【優しいまち】 ・観光地としての魅力 【元気なまち】	・国内や国外との交流 【元気なまち】 ・基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】	・まちなみの美しさ 【快適なまち】 16.7%
20～29歳 (n=56)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 55.3%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 48.2%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 44.6%	・まちなみの美しさ 【快適なまち】 34.0%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 32.2%
30～39歳 (n=104)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 53.9%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 44.2%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 38.5%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 37.5%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 33.7%
40～49歳 (n=140)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 49.3%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 47.2%	・交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 27.9%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 27.1%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 ・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 23.5%
50～59歳 (n=127)	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 49.6%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 47.2%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 28.4%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 27.6%	・交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 26.0%
60～69歳 (n=215)	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 59.0%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 44.2%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 35.8%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 34.4%	・交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 32.6%
70～79歳 (n=198)	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 52.0%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 37.3%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 35.3%	・交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 30.3%	・資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】 29.3%
80歳以上 (n=36)	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 44.4%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 41.7%	・交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 36.1%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 30.6%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 ・暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 ・基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 ・資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】 25.0%

<地域別>

満足率の上位5位の項目について地域別にみると、上位3位では「消防・救急救助の体制」、「海、山、川などの豊かな自然環境」、「医療・保健サービス」の3項目が各地域共通で、東南部は、「暴力や犯罪に対する防犯体制」が他の地域より上位に位置している。

【満足率(「非常に満足」と「満足」の計の割合)】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=226)	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 50.9%	・ 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 48.7%	・ 医療・保健サービス 【優しいまち】 35.8%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 34.5%	・ 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 31.0%
南部 (n=103)	・ 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 48.6%	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 47.6%	・ 医療・保健サービス 【優しいまち】 35.9%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 31.1%	・ 快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 26.2%
東部 (n=135)	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 54.1%	・ 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 43.7%	・ 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 ・ 医療・保健サービス 【優しいまち】 34.1%	・ 資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】 31.1%	
東南部 (n=76)	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 48.7%	・ 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 46.0%	・ 医療・保健サービス 【優しいまち】 27.6%	・ 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 26.3%	・ 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 ・ 快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 25.0%
河西部 (n=225)	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 52.0%	・ 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 43.1%	・ 医療・保健サービス 【優しいまち】 32.0%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 31.2%	・ 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 ・ 資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】 31.1%
河北部 (n=110)	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 52.8%	・ 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 42.7%	・ 医療・保健サービス 【優しいまち】 33.6%	・ 資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】 30.0%	・ 快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 28.2%

<年代別>

不満率の上位5位の項目について年代別にみると、1位は、18～19歳が、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」で、それ以外の年代は、「中心市街地の活気」となっている。

30歳未満と80歳以上は、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、20～29歳は「国内や国外との交流」、「市政に対する市民参加のしやすさ」、30～39歳と80歳以上は、「公園や下水道などの生活環境の充実」、70～79歳は「介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス」が他の年齢層より上位に位置している。

【不満率(「非常に不満」と「不満」の計の割合)】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=6)	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 66.6%	・ 医療・保健サービス 【優しいまち】 ・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 ・ 観光地としての魅力 【元気なまち】		50.0%
20～29歳 (n=56)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 64.3%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 46.5%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 44.6%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 37.5%	・ 国内や国外との交流 【元気なまち】 ・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 ・ 市政に対する市民参加のしやすさ 【その他】 33.9%
30～39歳 (n=104)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 63.5%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 45.2%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 44.3%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 38.5%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 37.5%
40～49歳 (n=140)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 65.7%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 48.5%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 40.0%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 39.3%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 35.0%
50～59歳 (n=127)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 70.1%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 45.6%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 43.3%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 ・ 観光地としての魅力 【元気なまち】	42.5%
60～69歳 (n=215)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 67.5%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 43.2%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 36.8%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 31.1%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 29.3%
70～79歳 (n=198)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 58.6%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 38.3%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 32.8%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 30.8%	・ 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【優しいまち】 23.8%
80歳以上 (n=36)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 38.9%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 30.6%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 27.8%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 22.3%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 16.7%

<地域別>

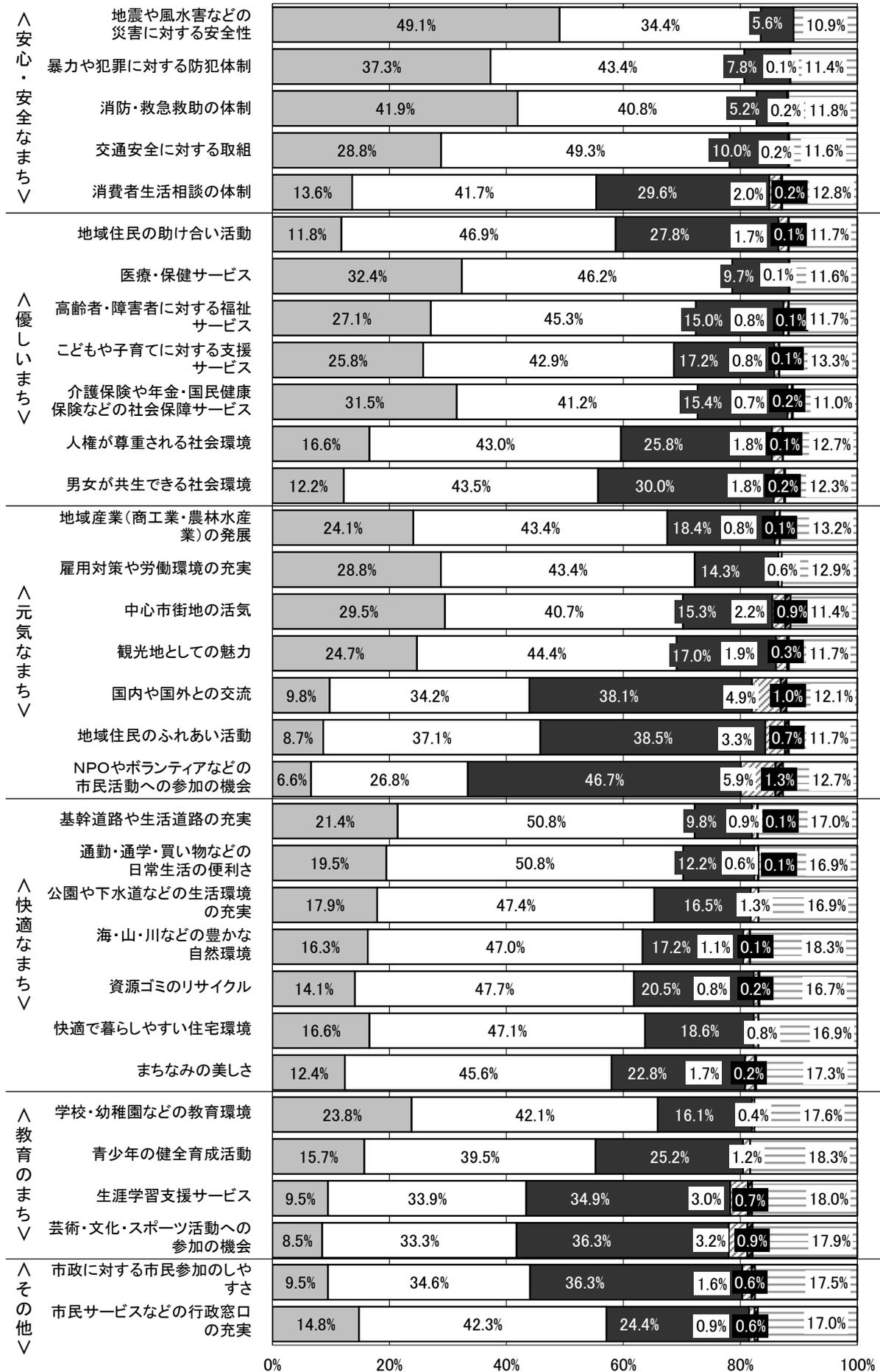
不満率の上位5位の項目について地域別でみると、1位はすべて「中心市街地の活気」であり、「観光地としての魅力」、「雇用対策や労働環境の充実」は各地域において5位以内に位置し、東南部は、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」が他の地域よりも上位に位置している。

【不満率(「非常に不満」と「不満」の計の割合)】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=226)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 70.4%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 48.3%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 38.0%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 34.5%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 33.7%
南部 (n=103)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 66.1%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 38.8%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 34.9%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 34.0%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 33.0%
東部 (n=135)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 65.2%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 42.2%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 38.5%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 36.3%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 29.6%
東南部 (n=76)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 55.3%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 40.8%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 39.4%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 35.5%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 34.2%
河西部 (n=225)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 54.2%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 42.3%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 36.4%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 36.0%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 28.9%
河北部 (n=110)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 65.5%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 39.0%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 37.3%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 37.2%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 34.5%

【重要度】

非常に重要
 重要
 どちらとも言えない
 あまり重要ではない
 全く重要ではない
 不明



【重要率】

重要率の高い項目は順に「地震や風水害などの災害に対する安全性」（83.5%）、「消防・救急救助の体制」（82.7%）、「暴力や犯罪に対する防犯体制」（80.7%）、「医療・保健サービス」（78.6%）、「交通安全に対する取組」（78.1%）となっており、“安心・安全なまち”に係わる項目の重要率が高い傾向にある。

<性別>

重要率の上位5位について、性別による大きな差はみられない。

【重要率（「非常に重要」と「重要」の計の割合）】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=896)	・ 地震や風水害などの災害 に対する安全性 【安心・安全なまち】 83.5%	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 82.7%	・ 暴力や犯罪に対する防犯 体制 【安心・安全なまち】 80.7%	・ 医療・保健サービス 【優しいまち】 78.6%	・ 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 78.1%
男性 (n=393)	・ 地震や風水害などの災害 に対する安全性 【安心・安全なまち】 87.3%	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 86.8%	・ 暴力や犯罪に対する防犯 体制 【安心・安全なまち】 84.2%	・ 医療・保健サービス 【優しいまち】 80.4%	・ 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 79.9%
女性 (n=476)	・ 地震や風水害などの災害 に対する安全性 【安心・安全なまち】 81.1%	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 80.0%	・ 暴力や犯罪に対する防犯 体制 【安心・安全なまち】 78.6%	・ 医療・保健サービス 【優しいまち】 78.0%	・ 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 77.3%

注① 同率の項目は並記している。

注② この表の重要率は「非常に重要」と「重要」の合計の割合であり、前ページのグラフの「非常に重要」と「重要」の割合を合計した数値と一致しない。

※注①と②は以降のページも同様である。

<年代別>

重要率の上位5位の項目をみると、すべての年代に共通の項目は「地震や風水害などの災害に対する安全性」であり、18～19歳で「学校・幼稚園などの教育環境」、18～19歳と80歳以上で「通勤・通学・買物などの日常生活の便利さ」、29歳以下で「雇用対策や労働環境の充実」、30～39歳で「こどもや子育てに対する支援サービス」、60～69歳で「介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス」が他の年齢層より上位に位置している。

【重要率(「非常に重要」と「重要」の計の割合)】

	1位	2位	3位	4位	5位	
18～19歳 (n=6)	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 				<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 学校・幼稚園などの教育環境 【教育のまち】
			83.4%		83.3%	
20～29歳 (n=56)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 医療・保健サービス 【優しいまち】 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 		
	82.1%	80.4%	80.3%		76.8%	
30～39歳 (n=104)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 医療・保健サービス 【優しいまち】 		<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 こどもや子育てに対する支援サービス 【優しいまち】 		
	88.5%		87.5%		85.6%	
40～49歳 (n=140)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 		<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 医療・保健サービス 【優しいまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 	
		87.1%	83.6%	82.1%	80.7%	
50～59歳 (n=127)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 医療・保健サービス 【優しいまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 	
	96.8%	94.5%	93.0%	89.7%	88.2%	
60～69歳 (n=215)	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 医療・保健サービス 【優しいまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【優しいまち】 	
	84.7%	84.2%	82.8%	80.9%	79.1%	
70～79歳 (n=198)	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 医療・保健サービス 【優しいまち】 	
	72.7%	72.2%	69.2%	68.7%	66.2%	
80歳以上 (n=36)	<ul style="list-style-type: none"> 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 		<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 	
	66.7%		66.6%	63.9%	63.8%	

<地域別>

重要率の上位5位の項目をみると、「地震や風水害などの災害に対する安全性」、「消防・救急救助の体制」、「暴力や犯罪に対する防犯体制」の3項目が各地域共通で、南部では「介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス」、東南部で「高齢者・障害者に対する福祉サービス」が他の地域よりも上位に位置している。

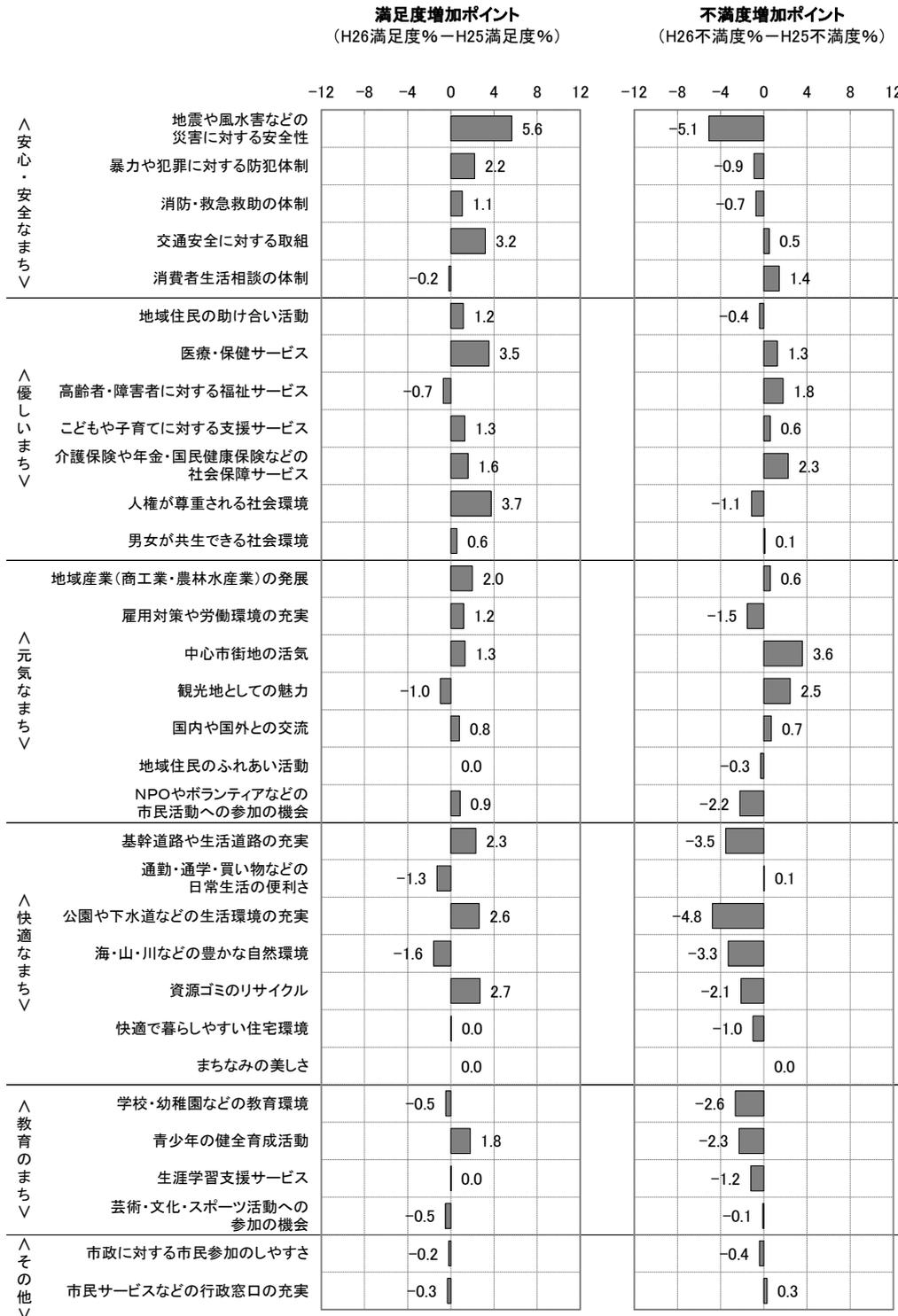
【重要率(「非常に重要」と「重要」の計の割合)】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=226)	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 85.0%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 81.9%	・暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 80.6%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 79.2%	・交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 76.1%
南部 (n=103)	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 87.3%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 85.5%	・暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 82.6%	・交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 81.6%	・介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【優しいまち】 77.7%
東部 (n=135)	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 83.7%	・暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 82.2%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 80.7%	・交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 80.0%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 79.2%
東南部 (n=76)	・暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 84.2%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 82.9%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 81.6%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 ・高齢者・障害者に対する福祉サービス 【優しいまち】 79.0%	
河西部 (n=225)	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 83.6%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 83.1%	・暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 79.1%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 78.2%	・交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 76.9%
河北部 (n=110)	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 83.7%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 80.9%	・交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 79.1%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 ・暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 77.3%	

【満足度：前年度の比較】

平成25年度と平成26年度の満足度（「非常に満足」、「満足」の割合）の変化は、「地震や風水害などの災害に対する安全性」が5.6ポイント増加し、「交通安全に対する取組」、「医療・保健サービス」、「人権が尊重される社会環境」が3.0ポイント以上増加している。

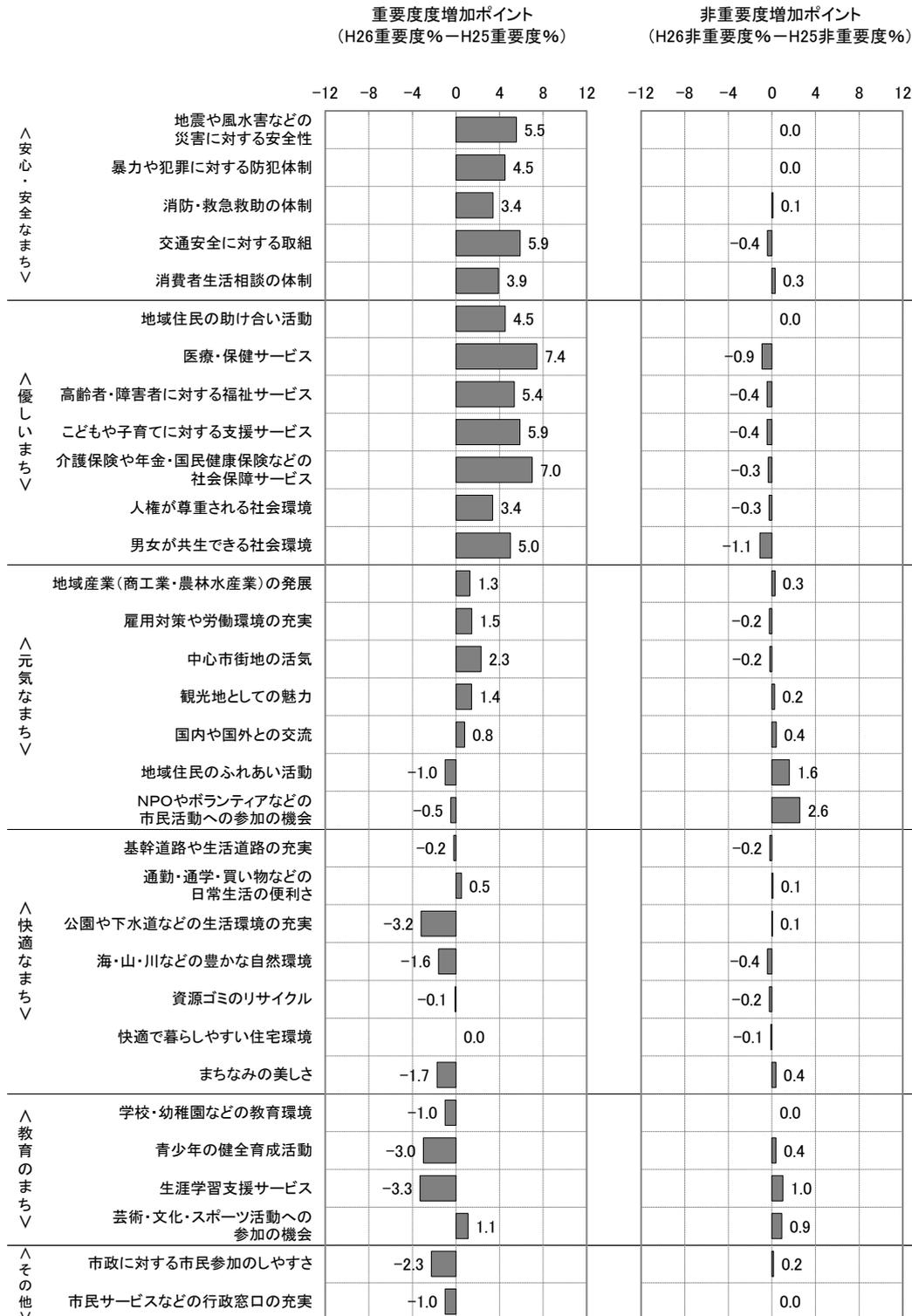
不満足度（「非常に不満」、「不満」の割合）の変化は、「地震や風水害などの災害に対する安全性」が5.1ポイント減少し、「介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス」、「中心市街地の活気」、「観光地としての魅力」が2.0ポイント以上増加している。



【重要度：前年度の比較】

平成25年度と平成26年度の重要度（「非常に重要」、「重要」の割合）の変化は、“安心・安全なまち”“優しいまち”のすべての項目について、3.0ポイント以上増加しており、「医療・保健サービス」が7.4ポイント、「介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス」が7.0ポイント増加している。

非重要度（「あまり重要でない」、「全く重要ではない」の割合）の変化は少なく、1.0ポイントを超え増加した項目は2項目で、「地域住民のふれあい活動」が1.6ポイント、「NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会」が2.6ポイントであった。1.0ポイントを超え減少したのは1項目で、「男女が共生できる社会環境」の1.1ポイントの減少であった。



【重要度と満足度ギャップ分析（ポートフォリオ）】

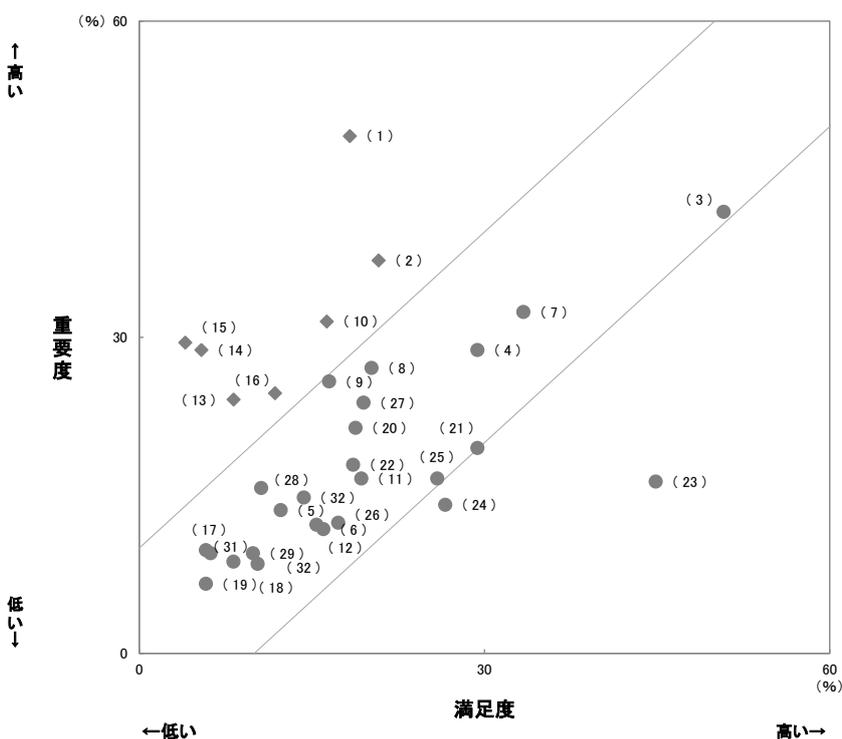
「重要度（「非常に重要」の比率）」と「満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた計）」との関係を散布図に表した。図の横軸は満足度、縦軸は重要度を表している。

重要度が満足度を 10.0 ポイント以上上回る項目は「(1) 地震や風水害などの災害に対する安全性」、「(2) 暴力や犯罪に対する防犯体制」、「(10) 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス」、「(15) 中心市街地の活気」、「(14) 雇用対策や労働環境の充実」、「(16) 観光地としての魅力」、「(13) 地域産業（商工業・農林水産業）の発展」の 7 項目である。

満足度が重要度を 10.0 ポイント以上上回る項目は「(23) 海・山・川などの豊かな自然環境」、「(24) 資源ゴミのリサイクル」の 2 項目である。

判例	項目名	満足度計	重要度
(1)	地震や風水害などの災害に対する安全性	18.3	49.1
(2)	暴力や犯罪に対する防犯体制	20.8	37.3
(3)	消防・救急救助の体制	50.8	41.9
(4)	交通安全に対する取組	29.4	28.8
(5)	消費者生活相談の体制	12.3	13.6
(6)	地域住民の助け合い活動	16.0	11.8
(7)	医療・保健サービス	33.4	32.4
(8)	高齢者・障害者に対する福祉サービス	20.2	27.1
(9)	子どもや子育てに対する支援サービス	16.5	25.8
(10)	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス	16.3	31.5
(11)	人権が尊重される社会環境	19.3	16.6
(12)	男女が共生できる社会環境	15.4	12.2
(13)	地域産業（商工業・農林水産業）の発展	8.2	24.1
(14)	雇用対策や労働環境の充実	5.4	28.8
(15)	中心市街地の活気	4.0	29.5
(16)	観光地としての魅力	11.8	24.7

判例	項目名	満足度計	重要度
(17)	国内や国外との交流	5.8	9.8
(18)	地域住民のふれあい活動	8.2	8.7
(19)	NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会	5.8	6.6
(20)	基幹道路や生活道路の充実	18.8	21.4
(21)	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ	29.4	19.5
(22)	公園や下水道などの生活環境の充実	18.6	17.9
(23)	海・山・川などの豊かな自然環境	44.9	16.3
(24)	資源ゴミのリサイクル	26.6	14.1
(25)	快適で暮らしやすい住宅環境	25.9	16.6
(26)	まちなみの美しさ	17.3	12.4
(27)	学校・幼稚園などの教育環境	19.5	23.8
(28)	青少年の健全育成活動	10.6	15.7
(29)	生涯学習支援サービス	9.9	9.5
(30)	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会	10.3	8.5
(31)	市政に対する市民参加のしやすさ	6.2	9.5
(32)	市民サービスなどの行政窓口の充実	14.3	14.8



※重要度と満足度のギャップをみるにあたり、重要度を「非常に重要」と「重要」を合わせた数値で満足度（「非常に満足」と「満足」の計）のギャップをみると項目間の差が判断しにくいいため、重要度に関しては「非常に重要」の数値を採用した。

16. 和歌山市の市政について（自由意見）

自由意見は253人の回答者より、312件の意見があった。

以下のとおり、「まちの方向性、市政全体に関して」、「政策に関して」、「具体的な事業・施策に関して」、「行政の体制、市職員等に関して」多岐にわたる記述があった。

【ご意見の概要】

1、まちの方向性、市政全体に関するご意見	<input type="checkbox"/> まちの方向性 <ul style="list-style-type: none"> ◇活気のあるまち ◇魅力のあるまち ◇住みやすいまち <input type="checkbox"/> 市政全体 <ul style="list-style-type: none"> ◇市政全体
2、政策に関するご意見	<input type="checkbox"/> 中心市街地活性化 <ul style="list-style-type: none"> ◇中心市街地の活性化 <input type="checkbox"/> 観光 <ul style="list-style-type: none"> ◇観光 <input type="checkbox"/> 景観 <ul style="list-style-type: none"> ◇まちの景観 <input type="checkbox"/> 環境 <ul style="list-style-type: none"> ◇生活環境 <input type="checkbox"/> 教育・文化 <ul style="list-style-type: none"> ◇教育・文化 <input type="checkbox"/> 景気対策 <ul style="list-style-type: none"> ◇企業誘致 <input type="checkbox"/> 産業振興 <ul style="list-style-type: none"> ◇地域産業 <input type="checkbox"/> 市民参加・市民協働 <ul style="list-style-type: none"> ◇アンケート調査の活用 ◇市民協働 <input type="checkbox"/> 福祉・医療 <ul style="list-style-type: none"> ◇子育て支援 ◇社会保障 ◇医療
3、具体的な事業・施策に関するご意見	<input type="checkbox"/> 上下水道 <ul style="list-style-type: none"> ◇上下水道 <input type="checkbox"/> 公共施設 <ul style="list-style-type: none"> ◇公共施設 <input type="checkbox"/> 道路 <ul style="list-style-type: none"> ◇道路 <input type="checkbox"/> 公共交通機関 <ul style="list-style-type: none"> ◇公共交通機関 <input type="checkbox"/> 防災 <ul style="list-style-type: none"> ◇防災 <input type="checkbox"/> 安心安全なまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ◇安心安全なまちづくり
4、行政の体制、市職員等に関するご意見	<input type="checkbox"/> 行政システム <ul style="list-style-type: none"> ◇行政システム <input type="checkbox"/> 財政 <ul style="list-style-type: none"> ◇財政

～ご意見内容～

1、まちの方向性、市政全体に関するご意見

まちの方向性

◇活気のあるまち

▼もっと積極的に活気あふれる和歌山市にしてほしい。

【類似意見 18 件】

◇魅力のあるまち

▼若者が集まるまちをつくり、特に 20 代を中心としたまちづくりを目指してほしいです。

【類似意見 13 件】

◇住みやすいまち

▼子供や高齢者が安心して生活できる仕組みを充実させてほしい。

【類似意見 13 件】

市政全体

◇市政全体

▼もう少し市民にとってわかりやすく、市政運営などの情報を発信して行ってほしいです。

【類似意見 11 件】

▼非常に良い市政です。

【類似意見 5 件】

▼まだまだ改革してほしい。改革に当たってはスピードも必要。

【類似意見 7 件】

▼市政の進もうとしている方向性がわからない。

【類似意見 6 件】

▼和歌山市の市政に自分自身が前向きに取り組み、参加する姿勢でありたいと思いました。

【類似意見 1 件】

▼和歌山市民の人口減少に歯止めできるよう対策してほしい。

【類似意見 4 件】

2、政策に関するご意見

中心市街地の活性化

◇中心市街地の活性化

▼ぶらくり丁や美園商店街など、活気づけてほしい。

【類似意見 9 件、主に女性からのご意見】

▼中心市街地の活性化に力を入れてほしい。

【類似意見 8 件】

観光

◇観光

▼観光都市としての整備とPRをもっと積極的に実施すべきである。

【類似意見 5 件】

▼和歌山市は海に近いので、それを活かした観光面に力を入れてほしい。

【類似意見 3 件】

景観

◇まちの景観

▼公園内のトイレなど毎日チェックはしているようですが、場所によっては、全く清掃がされていません。

【類似意見 1 件、男性からのご意見】

▼道路の花壇等の草が伸び放題で見苦しい。

【類似意見 2 件、女性からのご意見】

▼電線をもっと地下に埋設したらどうか。

【類似意見 1 件、男性からのご意見】

環境

◇生活環境

▼プラスチック製品のリサイクルは大切なことと思いますが、洗剤で洗う機会が増え、逆に水をたくさん使いますし、負担に感じることもあります。

【類似意見 8 件、主に女性からのご意見】

▼道路に犬の糞などが多い。

【類似意見 1 件、男性からのご意見】

▼中心部の河川は濁りきっています。

【類似意見 1 件、男性からのご意見】

▼歩道がゴミ置場となっているが、風のある日は道に飛んでくるし、非常に危険であるので、ゴミ置場を設置すべきである。

【類似意見 1 件、女性からのご意見】

▼紀の川の少し上流の水を水上スクーター等で汚さないでほしい。

【類似意見 1 件、男性からのご意見】

▼産業廃棄物の処理について考えてほしい。

【類似意見 3 件、女性からのご意見】

▼ごみの有料化を考えたらどうか。

【類似意見 2 件】

教育・文化

◇教育・文化

▼教育・文化を大切にす市政をお願いします。

【類似意見 5 件】

▼私立学校を無償化にしてください。

【類似意見 1 件、女性からのご意見】

景気対策

◇企業誘致

▼活発で便利のよい和歌山にするためには、若い人も、失業している人も働く場所が必要。大企業を和歌山に誘致してください。

【類似意見 11 件】

産業振興

◇地域産業

▼西日本有数のリゾートである和歌山マリーナシティをもっと活用してほしい。

【類似意見 1 件、女性からのご意見】

▼商店の活性化、大型デパートの誘致など。

【類似意見 4 件】

市民参加・市民協働

◇アンケート調査の活用

▼アンケートを参考にして、いい行政をつくってほしいです。

【類似意見 2 件】

▼このアンケートの設問が多すぎる。

【類似意見 12 件】

▼中心市街地に関するアンケートが必要ではないか。

【類似意見 1 件】

◇市民協働

▼市政と市民が一体になり、昔のような活気を取り戻すような環境をつくるべき。特に若い人が中心になって頑張してほしい。

【類似意見 3 件】

福祉・医療

◇子育て支援

▼少子化対策にもっと力を入れてほしい。

【類似意見 6 件】

▼子供の医療費を小学校卒業まで無料にしてほしい。

【類似意見 5 件、20～30 歳代の女性からのご意見】

◇社会保障

▼高齢者二人の生活なので、色々相談できる窓口があればと思います。

【類似意見 1 件、70 歳代・女性からのご意見】

▼福祉を大切にする市政をお願いします。

【類似意見 7 件、40～60 歳代からのご意見】

▼高齢者が特別養護老人ホームに入所しやすいようにしてほしい。特別養護老人ホームを増やしてほしい。

【類似意見 1 件、20 歳代・男性からのご意見】

▼一人暮らしの高齢者が近所にたくさん生活されています。行政の方で見回りをしていただければと思います。

【類似意見 1 件、60 歳代からのご意見】

▼国民健康保険料、介護保険料が高すぎるのではないか。

【類似意見 6 件、60～70 歳代からのご意見】

◇医療

▼医療の充実をしてほしい。特に紀の川より北側はふじと台の人口が増加しているため、ふじと台あたりに市民病院規模の病院が必要である。全国的な問題だが土、日曜日の大病院の救急体制を全国に先駆けて充実してほしい。

【類似意見 2 件】

▼休日夜間の医療診療サービスを利用者側のニーズを重視したものに見直してほしい。

【類似意見 1 件、40 歳代・女性からのご意見】

3、具体的な事業・施策に関するご意見

上下水道

▼特に望みたいのは、県庁所在地の和歌山市の“下水道”設備の改善に取り組んでほしいです。非常に不満です。

【類似意見 5 件】

▼水道管がいまだに配管されていない家庭がある。

【類似意見 1 件、50 歳代・東南部・男性からのご意見】

公共施設

▼学校の設備が古く、エアコンがない、トイレが汚いなど、改善の余地がたくさんあると思われます。

【類似意見 1 件、50 歳代・男性からのご意見】

▼中央駐車場や市民会館駐車場等市営駐車場の料金が、他都市に比較して高い。少なくとも近辺の民間駐車場並みにすべきである。

【類似意見 1 件、70 歳代・男性からのご意見】

▼公園が少ない。ボール遊びができないなど、子供の遊び場があまりにも少ない。

【類似意見 3 件】

▼公園など公共施設の整備をしてほしい。

【類似意見 3 件】

道路

▼道路の整備を優先してください。

【類似意見 16 件】

▼和歌山城のまわりをジョギングするが、一部の歩道が狭いので改善してほしい。

【類似意見 1 件、30 歳代・女性・中心部からのご意見】

▼街路樹にイチョウの木を植えているが、葉が落ちた時の掃除が大変。雨が降った時、側溝にたまって水が道路にたまる。

【類似意見 1 件、60 歳代・男性からのご意見】

▼歩道や自転車道路が少なく、狭い。

【類似意見 2 件、男性からのご意見】

▼国体道路、国道 26 号線の渋滞の改善をお願いします。

【類似意見 2 件】

▼和歌山駅周辺で、車椅子、ベビーカーが通りやすい道にしてほしい。段差をなくしてほしい。

【類似意見 1 件、女性・30 歳代・中心部からのご意見】

公共交通機関

▼自家用車を持たなくても市民が使えるバス・電車の公共交通を充実していただきたい。

【類似意見 10 件】

防災

▼災害に強い市にしてほしい。

【類似意見 6 件】

▼高齢者の二人暮らしで、災害発生時（津波）の避難場所までの所要時間を心配しています。和歌山市防災マップを見ますと避難場所（学校）への入口が大体一か所になっているように思います。入口は限定しないで出入口はすべて開放してほしい。

【類似意見 1 件、80 歳代以上・男性からのご意見】

▼ハザードマップ全戸配布をお願いしたい。

【類似意見 1 件、60 歳代・女性・中心部からのご意見】

安心安全なまちづくり

▼犯罪のないまちにしてください。

【類似意見 1 件、60 歳代・女性・東部からのご意見】

▼住宅地周辺での長期にわたる不法駐車の実施してほしい。

【類似意見 1 件、60 歳代・女性・河西部からのご意見】

4、行政の体制、市職員等に関するご意見

行政システム

▼職員の窓口の対応が悪い。

【類似意見 12 件】

▼市民が市政運営に対する意見を述べる場を設定してほしい。

【類似意見 5 件】

▼議員数、職員数、行政システムなどを見直すべきである。

【類似意見 25 件】

▼昔と比べて窓口の方が、優しく親切になった気がしています。

【類似意見 6 件】

▼積極的に情報を提供してほしい。

【類似意見 4 件】

財政

▼税金のムダを省いて、市民のために使ってほしい。

【類似意見 8 件】

▼子育てしやすいまちづくり、将来に希望が持て、若者が住みたいまちになるように、お金の配分を考えてほしいと思います。

【類似意見 1 件、60 歳代・男性からのご意見】

調查票

Ⅲ. 調査票

和歌山市政世論調査(平成26年度)アンケート調査票

このアンケートは、**8月3日(日)まで**に返信用封筒に入れて、切手を貼らずにお出してください。

1. あなたご自身のことについてお尋ねします。

問1 あなたの居住区はどこですか？

1. 中心部

本町・城北・広瀬・雄湊・大新・新南・吹上・砂山・今福・高松・芦原・宮前・中之島・宮北

2. 南部

雑賀・雑賀崎・和歌浦・名草・田野

3. 東部

四箇郷・宮・西和佐・和佐・小倉

4. 東南部

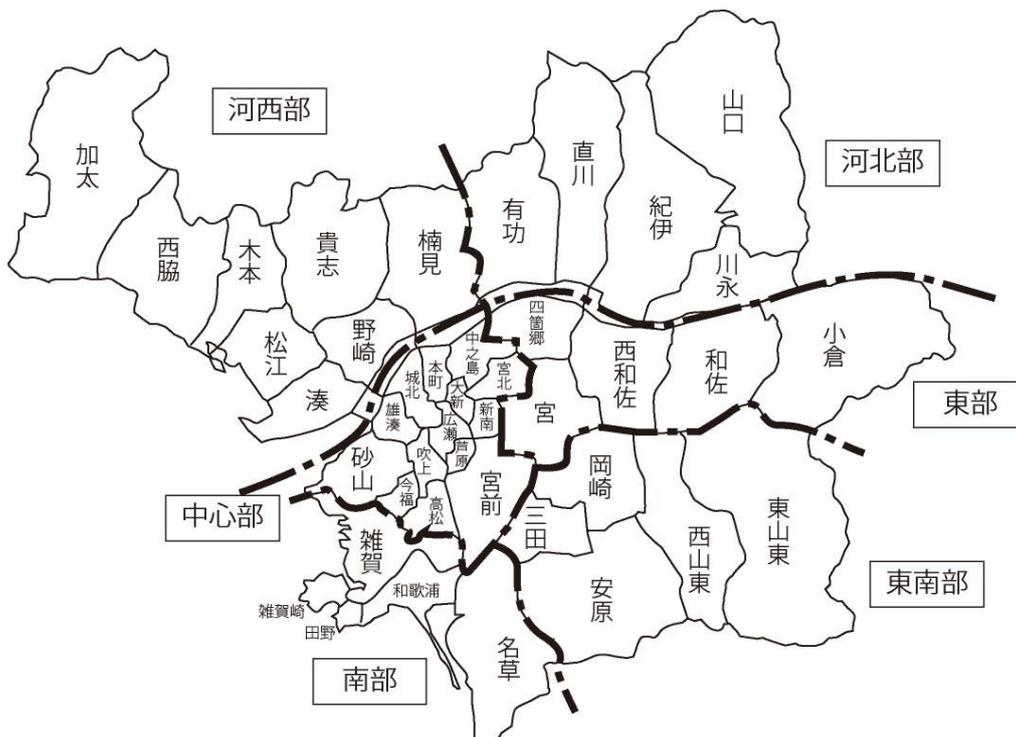
岡崎・三田・安原・西山東・東山東

5. 河西部

野崎・湊・松江・楠見・貴志・木本・西脇・加太

6. 河北部

有功・直川・紀伊・川永・山口



問2 あなたの性別は？

1. 男性 2. 女性

問3 あなたの年齢は？

1. 18～19歳 3. 30～39歳 5. 50～59歳 7. 70～79歳
2. 20～29歳 4. 40～49歳 6. 60～69歳 8. 80歳以上

問4 あなたの職業は？

1. 会社員 6. 専業主婦
2. 自営業 7. 学生
3. 農林水産業 8. 無職
4. 公務員 9. その他
5. パート・アルバイト ()

問5 あなたが和歌山市に住んでいる年数は？

1. 1年未満 5. 10～20年未満
2. 1～3年未満 6. 20～30年未満
3. 3～5年未満 7. 30年以上
4. 5～10年未満

問6 あなたは現在、結婚をしていますか？

1. 結婚している 3. 結婚していない
2. 配偶者と離・死別した

**問6-1 問6で「1. 結婚している」と回答された方のみお答えください。
夫婦ともに働いていますか？**

1. 夫婦共働きである 3. 妻のみ働いている
2. 夫のみ働いている 4. どちらも働いていない

問7 あなたは現在、どなたと一緒に住まいますか？あてはまるものをすべてお選びください。

1. 自分ひとり 7. 自分の親
2. 配偶者 8. 配偶者の親
3. 子ども（未婚） 9. 兄弟姉妹
4. 子ども（既婚） 10. 祖父母
5. 子どもの配偶者 11. その他
6. 孫 ()

問 10 あなたは自宅の防火対策を実施していますか？

1. はい 2. いいえ

問 10-1 問 10 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。

どのような防火対策を実施していますか？あてはまるものをすべてお選びください。

1. 自宅内ではたばこを吸わないようにしている
2. 寝たばこをしない
3. たばこの吸い殻やローソクなど、確実に火が消えたことを確認する
4. こたつやストーブで洗濯物を乾かさないようにしている
5. 揚げ物をするときは、その場を離れないようにしている
6. ガスコンロの周りには、燃えやすい物は置かないようにしている
7. 消火器を設置している
8. 使わない電源コードはコンセントから抜いている
9. タコ足配線をしていない
10. 電源コードは、椅子等の重量物に踏まれないようにしている
11. マッチやライターは子供の手の届く場所に置かないようにしている
12. 寝る前には火の元点検を行っている
13. 自宅の外周部には燃えやすい物を置かないようにしている
14. ごみは早くに出し過ぎないようにしている
15. 旧式の電気製品は使用しない
16. その他 ()

問 11 和歌山市消防局では、火災の件数を減らすため、つぎに挙げるメディアを利用し広報を実施していますが、今まで一度でも見たことや聞いたことがあるものはどれですか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | | |
|-----------|----------------|---------------|
| 1. 市報わかやま | 3. ラジオ放送 | 5. 消防局前の電光掲示板 |
| 2. テレビ放送 | 4. 和歌山市のホームページ | 6. どれも見たことがない |

4. 災害対策についてお尋ねします。

問 12 あなたは現在、災害に対し、備えを行っていますか？

1. はい 2. いいえ

問 12-1 問 12 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。

**災害の発生に備えてどのようなことをしていますか？
あてはまるものをすべてお選びください。**

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 家具が倒れないように固定している | 8. 非常持出品や備蓄品を用意している |
| 2. 防災について家族で役割を決めている | 9. 自主防災組織の活動に参加している |
| 3. 風呂にいつも水を入れている | 10. ご近所同士でいざというときの
助け合いについて話をしている |
| 4. 消火器や水を入れたバケツなどを用意している | 11. ご近所の方で一人では
避難できない人を把握している |
| 5. 火気器具の周りを整理している | 12. その他
() |
| 6. ガラス飛散防止をしている | |
| 7. 寝室などに履物（くつ・サンダル等）
を用意している | |

問 12-2 問 12-1 で「1. 家具が倒れないように固定している」を回答されていない方のみお答えください。

家具を固定していない理由は何ですか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|---------------------------------|-------------------------|
| 1. 面倒くさい | 7. 固定しても大地震の時には効果がないと思う |
| 2. お金がかかる | 8. 地震が起きても転倒しないと思う |
| 3. 壁や家具等に傷をつける | 9. 部屋の見た目が悪くなる |
| 4. 固定する方法がわからない | 10. 特に理由はない |
| 5. 固定する方法はわかっても、
自分ではできないと思う | 11. その他 () |
| 6. 転倒しても危険ではないと思う | |

問 12-3 問 12-1 で「8. 非常持出品や備蓄品を用意している」と回答された方のみお答えください。

あなたは、どのようなものを用意していますか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 乾パン、缶詰などの食料品 | 6. 救急医薬品 |
| 2. 飲料水 | 7. カセットコンロ |
| 3. 携帯ラジオ | 8. 予備の乾電池 |
| 4. 手ぶくろ、ヘルメット、防災頭巾 | 9. 携帯用トイレ |
| 5. 懐中電灯、ローソク | 10. その他 () |

問13 家族や近所の方と防災に関して取り決めていることはありますか？

あてはまるものをすべてお選びください。

- | | | |
|---------|---------|------------|
| 1. 連絡方法 | 3. 避難経路 | 5. 特になし |
| 2. 集合場所 | 4. 役割分担 | 6. その他 () |

問14 和歌山市では昭和56年（1981年）以前に建てられた木造住宅に、無料で木造住宅耐震診断士を派遣し、耐震診断をする制度があります。お住まいの耐震診断についてお答えください。

1. すでに耐震診断を受けている
2. すでに耐震改修を行った
3. 耐震診断を受けたが、耐震改修はしていない
4. 耐震診断を受ける気持ちはあるが、まだ受けていない
5. 耐震診断の制度を知らなかった、ぜひ受けてみたい
6. 耐震診断を受けるつもりはない
7. 賃貸なのでわからない、または勝手にできない
8. 昭和57以降に建てられた木造住宅である
9. 木造住宅ではない
10. その他 ()

問 15 あなたは、お住まいの地域の避難場所を知っていますか？

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 16 あなたは、避難所が*開設されるタイミングを知っていますか？

1. 知っている 2. 知らない

※ 開設のタイミングは、災害が発生し、または二次災害が発生するおそれがあり、避難者の収容を必要と認めるときや、災害が発生し自主的な避難があったときなどです。

問 17 あなたは、和歌山市が作成しているハザードマップを知っていますか？
あてはまるものをすべてお選びください。

1. 和歌山市防災マップ 3. 亀の川洪水ハザードマップ
2. 紀の川洪水ハザードマップ 4. 和田川洪水ハザードマップ
5. 1～4のマップは知らない

問 18 あなたは、地震の大きな揺れを感じたら、津波に備えてどう行動しますか？
沿岸地域にいる場合を想定して、あてはまるものを1つお選びください。

1. 津波を警戒してすぐ避難する
2. テレビやラジオの情報を確認してから避難する
3. 行政から避難勧告などがあれば避難する
4. 特になにもしない
5. その他 ()

問 19 和歌山市では、災害から「わが家わが町を守るため」地域の人々が結成した自主防災組織の育成を推進しています。

あなたは災害発生に備え、地域の自主防災組織に参加したいと思いますか？

1. 積極的に参加したい 3. 参加したくない
2. 行政機関や自治会などから
要請があれば参加したい 4. わからない
5. その他 ()

問 20 災害発生時や災害が発生するおそれがある時、防災行政無線等によって市から情報を発信していますが、その情報はあなたに伝わっていますか？

1. 伝わっている
2. 伝わっていない【理由： 】

問 21 あなたは、災害発生時や災害が発生するおそれがある時、その情報をどこから得ていますか。あてはまるものをすべてお選びください。

1. テレビ・ラジオ 5. 防災情報メール
2. テレビのデータ放送 6. 防災情報電話案内サービス
3. インターネット(県・市のホームページ) 7. その他
4. 防災行政無線 ()

5. 防犯対策についてお尋ねします。

問 22 あなたは、和歌山市の治安状況についてどう感じていますか？

1. 治安が良い
2. どちらかといえば治安が良い
3. どちらかといえば治安が悪い
4. 治安が悪い
5. わからない

問 22-1 問 22 で「3. どちらかといえば治安が悪い」「4. 治安が悪い」とお答えの方のみお答えください。

あなたが、治安が悪いと感じる理由は何ですか。

つぎからあてはまるものをすべてお選びください。

1. テレビなどで犯罪事件の報道が多いように感じるから
2. 不審者などが増えているように感じるから
3. 暗がりが多いように感じるから
4. 見通しの悪い場所などが多いから
5. 地域のコミュニティが希薄になったように感じるから
6. 特に理由はないが、不安を感じる
7. その他 ()

問 23 犯罪被害を防止するためには、日常生活において市民一人ひとりが防犯について意識することが大切です。あなたが犯罪の被害にあわないために、日常生活で心がけていることは何ですか。つぎの中からあてはまるものをすべて選んでください。

1. 振り込め詐欺等の被害にあわないように啓発資料やニュースなどをよく確認している
2. 家や車の鍵は少しの時間でも必ず施錠している
3. 玄関や窓には鍵を二重にしている
4. 少し遠回りになっても、明るい道を通る
5. 防犯ブザーなどの防犯機器を携帯している
6. 道を歩くときは、道路側にカバンを持たないなどひったくりに注意している
7. 自転車のカゴにはひったくり防止のカバーやネットをつけている
8. 地域の犯罪発生状況に注意している
9. 見守り活動や、近所の人との挨拶を積極的にするなど、
不審者を近づけにくい環境作りを意識している
10. 自転車には鍵を2つ以上つけている
11. 自動車内には荷物を置かないようしている
12. 自動車やオートバイに警報機等の盗難防止装置をつけている
13. 門灯などを点灯して、防犯を意識している
14. その他 ()
15. 特に何もしていない

問 24 あなたは、和歌山市が青色回転灯付防犯パトロール車（通称：青パト）「まもるくん」により、各種防犯活動を行っていることを知っていますか？

1. 知っている
2. なんとなく知っている
3. 知らない

※ 青色回転灯付防犯パトロール車（通称：青パト）とは、一定の要件のもとで、警察から証明を受け、青色回転灯を装備して巡回パトロール等を行う車両です。現在、全国の自治体や自主防犯団体等で運用が進められています。

8. 男女共生についてお尋ねします。

問 30 あなたは、「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方についてどのように思いますか？つぎの中から1つお選びください。

1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対
4. 反対
5. わからない

9. 健康についてお尋ねします。

問 31 あなたの健康状態はいかがですか？

1. よい
2. まあまあよい
3. ふつう
4. あまりよくない
5. 悪い

問 32 あなたは、意識的に健康づくりに取り組んでいますか？

1. はい
2. いいえ

問 33～問 34-2 までは 20 歳以上の方のみお答えください

問 33 あなたは週に何日位お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲みますか？

1. 毎日
2. 週 5～6 日
3. 週 3～4 日
4. 週 1～2 日
5. 月に 1～3 日
6. ほとんど飲まない（飲めない）

問 33-1 問 33 で「6. ほとんど飲まない（飲めない）」以外を回答された方のみお答えください。
お酒を飲む日は1日あたり、どれくらいの量を飲みますか。清酒に換算し、あてはまるものを1つお選びください。

※ 清酒 1 合（180ml）は、つぎの量にほぼ相当します。
ビール・発泡酒中瓶 1 本（約 500ml）、焼酎 20 度（135ml）、焼酎 25 度（110ml）、焼酎 35 度（80ml）
チューハイ 7 度（350ml）、ウイスキーダブル 1 杯（60ml）ワイン 2 杯（240ml）

1. 1 合（180ml）未満
2. 1 合以上 2 合（360ml）未満
3. 2 合以上 3 合（540ml）未満
4. 3 合以上 4 合（720ml）未満
5. 4 合以上 5 合（900ml）未満
6. 5 合（900ml）以上

問 34 あなたは、タバコを吸っていますか？

1. 現在吸っている
2. 吸ったことはあるが今は吸っていない
3. 吸ったことがない

問 34-1 問 34 で「1. 現在吸っている」又は「2. 吸ったことはあるが今は吸っていない」と回答された方のみお答えください。

「一日の平均喫煙本数」は何本ですか () 本
「喫煙期間」は何年ですか () 年

問 34-2 問 34 で「1. 現在吸っている」と回答された方のみお答えください。
 最もあてはまるものを1つお選びください。

- 1. やめる気はない
- 2. やめたいがやめられない
- 3. 簡単な方法やきっかけがあればやめたい

問 35 あなたは、つぎの病気・症状の中で、今までにかかった、又は今かかっているものはありますか？あてはまるものをすべてお選びください。

- 1. 高血圧
- 2. 糖尿病
- 3. 脂質異常症
- 4. 高尿酸血症
- 5. がん
- 6. 心臓病
- 7. 脳卒中
- 8. 腰痛、ひざ等の関節痛
- 9. 骨粗しょう症
- 10. B型肝炎又はC型肝炎
- 11. その他 ()
- 12. 特になし

問36 あなたは、つぎの①～⑤のがん検診を受診されていますか。それぞれのがん検診について、1～7の中からあてはまるものを1つずつ選んで数字を○で囲んでください。また、「5. その他」と回答された方はどのような機会を利用してがん検診を受診しているかその他の内容欄にお答えください。

※ 定期的な検診とは、「胃がん・肺がん・大腸がん」は1年に1回、「子宮頸がん・乳がん」は2年に1回の検診を受けることです。

回答方向 →		※定期的に検診している					定期的には受診していない	一度も受診したことがない
		職場の健康診断で受診している	人間ドックで受診している	和歌山市のがん検診制度を利用して受診している	自覚症状があり、検査として受診している	その他		
①	胃がん	1	2	3	4	5	6	7
②	肺がん	1	2	3	4	5	6	7
③	大腸がん	1	2	3	4	5	6	7
④	子宮頸がん	1	2	3	4	5	6	7
⑤	乳がん	1	2	3	4	5	6	7

「5. その他」を選んだ方はその他の内容をご記入ください。

	その他の内容	
①	胃がん	
②	肺がん	
③	大腸がん	
④	子宮頸がん	
⑤	乳がん	

問 37 あなたは、「COPD (慢性閉塞性肺疾患)」という病気を知っていますか？

1. 言葉も意味もよく知っている
2. 言葉も知っているし、意味もだいたい知っている
3. 言葉は聞いたことがあるが、意味はあまり知らない
4. 言葉も意味も知らない

10. スポーツについてお尋ねします。

問 38 あなたは、週 1 回以上運動（ウォーキングや軽い体操などを含む）やスポーツをしていますか？

1. はい
2. いいえ

問 38-1 問 38 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。

運動やスポーツを行っている理由は何ですか？あてはまるものをすべてお選びください。

1. 健康保持・体力増進
2. 好きだから
3. 仲間との交流
4. 美容及び肥満の予防
5. ストレスの解消
6. 生活を楽しく、豊かにするため
7. その他
- ()

問 38-2 問 38 で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。

運動やスポーツを行っていない理由は何ですか？あてはまるものをすべてお選びください。

1. 必要ないと思うから
2. 忙しくて時間がないから
3. 体調が悪い・疲れているから
4. 運動・スポーツをする仲間がないから
5. 家族や友人の支援がないから
6. 意志が弱いから
7. 場所や施設がないから
8. その他
- ()

問 38-3 問 38 で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。

今後どのような状況になれば、運動やスポーツをしようと思えますか？あてはまるものをすべてお選びください。

1. 時間に余裕があれば
2. 金銭に余裕ができれば
3. 体力的に自信ができれば
4. 一緒にする仲間ができれば
5. 運動・スポーツのできる場所、施設があれば
6. 気軽に参加できる教室などが用意されれば
7. *総合型地域スポーツクラブができれば
8. 今後もしようと思わない
9. その他 ()

※「総合型地域スポーツクラブ」とは、地域住民が会費などを自主財源として主体的に運営するスポーツクラブで、複数の種目が用意されており、地域の誰もが年齢、興味・関心、技術・技能レベルなどに応じて参加できるものです。

問 39 あなたは、「子どものスポーツ」について、どのようなお考えをお持ちですか？
子どものスポーツにおいて重要と思われることがらをすべてお選びください。

1. できるだけ多くのスポーツを経験する
2. できるだけ早くから専門的指導を受け高い技術を身につける
3. 体を鍛え強い身体と体力を身につける
4. 礼儀作法を身につける
5. 指導者の指示に従う従順な態度を身につける
6. 困難に立ち向かう強い精神力を身につける
7. 仲間と協力する心、思いやる心を育てる
8. 勝利することの喜びを味わう
9. 敗者の気持ちが理解できる
10. スポーツの楽しさを味わう
11. 努力することの大切さを学ぶ
12. あまりスポーツに夢中にならないようにする
13. その他 ()

1 1. 日常の買い物環境についてお尋ねします。

問 40 あなたは、日常の買い物に不便を感じていますか？

1. はい
2. いいえ

問 40-1 問 40 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。あなたは、買い物環境を良くするにはどのようなことが必要だと思いますか？
あてはまるものをすべてお選びください。

1. 宅配サービス
2. お店への送迎サービス
3. 近隣への店舗の誘致
4. 移動販売車
5. 家族の協力
6. 公共交通機関の充実
7. 介護ヘルパーなどの支援
8. 特になし
9. その他 ()

1 2. 市民公益活動についてお尋ねします。

※ 「市民公益活動」とは、NPO活動やボランティア活動等のように、市民が自発的に行う公益的で非営利の活動とします。

問 41 あなたは、市民公益活動の経験はありますか？

1. 現在、活動している
2. 活動したことがある
3. 活動したことがない
4. その他 ()

問 41-1 問 41 で「3. 活動したことがない」と回答された方のみお答えください。
活動されない理由は何ですか？あてはまるものをすべてお選びください。

1. 時間がない
2. どこでどのような活動をしているのかわからない
3. 一緒に活動する仲間がいない
4. 高齢、体調不良のため
5. 興味・関心がない
6. その他 ()

問 42 あなたは、「協働」という言葉を知っていますか？

1. 内容もよく知っている
2. 聞いたことはあるが、詳しくは知らない
3. 知らない

※「協働」とは、公益という共通の目的のもとに、行政と市民(市民公益活動団体等)が互いの立場を認めながら、対等な関係で連携・協力し、共通課題の解決に当たる取組みです。

問 43 協働のまちづくりを進める上で、行政が市民公益活動団体支援のために行う施策として、相応しいと思うものは何ですか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 活動に役立つ情報の提供 | 5. 何でも相談できる窓口の整備 |
| 2. 団体同士が交流できる機会や場の提供 | 6. 活動拠点の提供 |
| 3. 活動に役立つ講座等の開催 | 7. 市民参画ができる仕組みづくり |
| 4. 補助金や助成金による資金の支援 | 8. その他 |
- ()

13. 水道についてお尋ねします。

問 44 あなたは普段、水道水をどのようにして飲んでいますか。あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. そのまま飲む | 4. 水道水は飲まない |
| 2. 浄水器を設置して飲む | 5. その他 () |
| 3. 沸騰させてから飲む | |

問 44-1 問 44 で「4. 水道水は飲まない」と回答された方のみお答えください。水道水を飲まれない理由は何ですか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 水質に不安がある | 4. 濁りや着色がある |
| 2. おいしくない | 5. その他 |
| 3. 臭いがある | () |

問 45 「水道」について重要だと思われることは何ですか？より重要だと思うものを2つお選びください。

- | | |
|-----------------------|----------|
| 1. 安全性（水質に不安がない） | 4. 料金が安い |
| 2. 安定性（湯水や地震などの災害に強い） | 5. その他 |
| 3. おいしさ（快適性の確保） | () |

問 46 「水道」について、どのようなことをもっと知りたいと思いますか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 水源の状況 | 8. 水道管の工事や断水の情報 |
| 2. 水道水の水質 | 9. 災害対策などの危機管理 |
| 3. 上手な節水方法 | 10. 施設整備の計画 |
| 4. 水道料金の仕組み、使われ方 | 11. 水道事業の経営状況 |
| 5. お客様個人の情報(水量・料金) | 12. 水道水のできるまで |
| 6. 水道料金の支払い方法や水道の手続き | 13. その他 |
| 7. 家庭の水道管や水道機器 | () |

14. 和歌山市の広報についてお尋ねします。

問 47 あなたは、市の行政情報を何から得ていますか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|----------------|------------|
| 1. 和歌山市のホームページ | 6. ツイッター |
| 2. 市報わかやま | 7. フェイスブック |
| 3. チラシやポスター | 8. 新聞 |
| 4. ラジオやテレビ | 9. その他 () |
| 5. *データ放送 | |

※ データ放送とは、テレビ電波を使ったデータを転送させるサービスです。
各家庭にあるテレビでリモコンの【dボタン】を押すことにより、情報を取得できます。
現在は「NHK」、「テレビ和歌山」のデータ放送で和歌山市の行政情報を掲載しています。

問 47-1 和歌山市では、毎月1回「市報わかやま」を発行しています。
あなたが、「市報わかやま」の中で興味のある項目は何ですか？
あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 表紙 | 7. 施設案内 |
| 2. 特集 | 8. 催し |
| 3. まちの話題 | 9. 健康・子育て |
| 4. お知らせ | 10. 裏表紙 |
| 5. 募集 | 11. その他 () |
| 6. 講座・教室 | 12. 特になし |

問 47-2 平成 25 年 5 月号から「市報わかやま」をフルカラーに変更しました。
「市報わかやま」の見やすさについてお尋ねします。

- | | | | |
|-------|---------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満 | 4. 不満 |
|-------|---------|---------|-------|

問 47-3 問 47-2 で「3. やや不満」「4. 不満」と回答された方のみお答えください。
不満と感じた理由をお答えください。

.....

問 47-4 「市報わかやま」に掲載されている情報量についてお尋ねします。

- | | | | |
|-------|---------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満 | 4. 不満 |
|-------|---------|---------|-------|

問 47-5 問 47-4 で「3. やや不満」「4. 不満」と回答された方のみお答えください。
不満と感じた理由をお答えください。

.....

問 47-6 市の行政情報などを得る上で「市報わかやま」の役立ち度についてお尋ねします。

1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満

問 47-7 問 47-6 で「3. やや不満」「4. 不満」と回答された方のみお答えください。
不満と感じた理由をお答えください。

問 48 和歌山市ホームページを閲覧していますか？

1. よく閲覧する 3. ほとんど閲覧しない
2. たまに閲覧する 4. 全く閲覧しない

問 48-1 問 48 で「3. ほとんど閲覧しない」「4. 全く閲覧しない」と回答された方のみ
お答えください。
閲覧しない理由をお答えください。

問 48-2 問 48 で「1. よく閲覧する」「2. たまに閲覧する」「3. ほとんど閲覧しない」
と回答された方のみお答えください。

和歌山市ホームページのトップページでよく使う項目、興味のある項目は何ですか？あ
てはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|--------------|----------------------------------|
| 1. いざという時に | 9. 観光案内 |
| 2. ようこそ市長室へ | 10. 事業者の皆様へ |
| 3. 和歌山市議会 | 11. 新着情報 |
| 4. 和歌山市について | 12. 和歌山市からのおしらせ |
| 5. オンラインサービス | 13. 和歌山市のイベント情報(イベントカレンダー) |
| 6. 市民のみなさまの声 | 14. 和歌山市からの情報発信 |
| 7. 分野から探す | 15. その他 () |
| 8. 組織から探す | 16. 特になし |

問 48-3 問 48 で「1. よく閲覧する」「2. たまに閲覧する」「3. ほとんど閲覧しない」
と回答された方のみお答えください。

和歌山市ホームページの構成(分類・ジャンル)の見やすさについてお尋ねします。

1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満

16. 和歌山市の取組みに対しての満足度・重要度についてお尋ねします。

問51 和歌山市に住んでいて、つぎのことがらについてどのように感じていますか？
満足度と重要度から、それぞれ1つずつ選んで数字を○で囲んでください。

回答方向 		どの程度満足していますか？					どの程度重要だと思われますか？				
		非常に満足	満足	言え どちら ないとも	不満	非常に不満	非常に重要	重要	言え どちら ないとも	重要 あまり ではない	全く ではない
安心・安全なまち	地震や風水害などの災害に対する安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	暴力や犯罪に対する防犯体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	消防・救急救助の体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	交通安全に対する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	消費者生活相談の体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
優しいまち	地域住民の助け合い活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	医療・保健サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	高齢者・障害者に対する福祉サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	こどもや子育てに対する支援サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	人権が尊重される社会環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	男女が共生できる社会環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
元気なまち	地域産業（商工業・農林水産業）の発展	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	雇用対策や労働環境の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	中心市街地の活気	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	観光地としての魅力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	国内や国外との交流	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	地域住民のふれあい活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

回答方向 		どの程度満足していますか？					どの程度重要だと思われますか？				
		非常に満足	満足	どちらとも言えない	不満	非常に不満	非常に重要	重要	どちらとも言えない	あまり重要ではない	全く重要ではない
快適なまち	基幹道路や生活道路の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	公園や下水道などの生活環境の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	海・山・川などの豊かな自然環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	資源ゴミのリサイクル	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	快適で暮らしやすい住宅環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	まちなみの美しさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
教育のまち	学校・幼稚園などの教育環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	青少年の健全育成活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	生涯学習支援サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
その他	市政に対する市民参加のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	市民サービスなどの行政窓口の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

和歌山市の市政についてご意見をお聞かせください。

*****ご協力ありがとうございました*****さい